

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(平成23年度)

平成24年 10月

名古屋市市民経済局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2. 調査の集計結果	6
2-1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	8
2-2 宿泊客の現状	30
(1) 調査の概要	30
(2) 調査結果	31
2-3 宿泊施設調査	50
(1) 調査の概要	50
(2) 宿泊施設の現状	51
(3) 宿泊客数	53
2-4 全国から見た名古屋の観光に関する評価	63
(1) 調査の概要	63
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	64
(3) 名古屋に対する評価	75
(4) 観光振興について	87
3. 資料編	93
(1) 主要観光施設への入込動向	93
(2) 名古屋のまちの印象	97

巻末 調査票

注1：本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、イタリア村、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、名古屋港イタリア村、ミッドランドスクエア スカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成8年3月に社団法人日本観光協会（現 日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が5万人以上かつ、市外の観光入込客数が2割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間5万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成23年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

①調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

②全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成17年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成23年度については、全国観光統計基準に適合する84地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成23年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約5,487万人であり、平成22年度と比較して約122万人増加（対前年度比率102.3%）した。

増加の要因としては、平成23年3月に開館した「リニア・鉄道館」、プラネタリウムをリニューアルした「名古屋市科学館」が人気を博したこと、また東日本大震災の影響により、平成22年度は中止になった「名古屋国際女子マラソン」が新たに「名古屋ウィメンズマラソン」として開催されたことなどがある。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(25) 20,510,622	(25) 21,251,645	(25) 21,187,666	(26) 20,983,337
	産業観光	(5) 1,615,170	(5) 1,499,021	(7) 1,617,800	(6) 2,509,590
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(18) 11,231,946	(16) 11,992,827	(16) 11,350,923	(16) 11,573,957
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,772,812	(15) 7,929,956	(15) 7,943,392	(15) 7,003,732
	イベント	(19) 11,345,439	(23) 11,931,312	(22) 11,555,221	(21) 12,800,144
計		(82) 52,475,989	(84) 54,604,761	(85) 53,655,002	(84) 54,870,760

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 23 年度の観光入込客実人数は 3,326 万人であり、平成 22 年度と比較して 204 万人減少（対前年度比率 94.2%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
観光入込客延べ人数（人）	52,475,989	54,604,761	53,655,002	54,870,760
平均訪問観光地点数	1.64	1.66	1.52	1.65
観光入込客実人数（万人）	3,200 万人	3,289 万人	3,530 万人	3,326 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	36.1%	63.9%
観光入込客実人数	3,326 万人	1,201 万人	2,125 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
延べ宿泊客数（人）	6,238,020	5,786,316	5,960,567	6,674,019
宿泊客実人数（人）	4,719,502	4,604,248	4,608,978	5,192,149
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.32	1.26	1.29	1.29

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

宿泊客の現状調査の回答により、宿泊客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	4.8%	95.2%
宿泊客実人数	519 万人	25 万人	494 万人

⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 23 年度の名古屋市内客は 1,201 万人であり、平成 22 年度と比較して 204 万人減少した。また、名古屋市外客は 2,125 万人であり、前年度と同じであった。

また、平成 23 年度の宿泊客実人数は 519 万人であり、前年度と比較して 58 万人増加した。一方、平成 23 年度の日帰り客実人数は 2,807 万人であり、前年度と比較して 262 万人減少した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
観光入込客実人数	計	3,200 万人	3,289 万人	3,530 万人	3,326 万人
	名古屋市内客	1,142 万人	1,270 万人	1,405 万人	1,201 万人
	名古屋市外客	2,058 万人	2,019 万人	2,125 万人	2,125 万人
宿泊客実人数	計	472 万人	460 万人	461 万人	519 万人
	名古屋市内客	36 万人	29 万人	33 万人	25 万人
	名古屋市外客	436 万人	431 万人	428 万人	494 万人
日帰り客実人数	計	2,728 万人	2,829 万人	3,069 万人	2,807 万人
	名古屋市内客	1,106 万人	1,241 万人	1,372 万人	1,176 万人
	名古屋市外客	1,622 万人	1,588 万人	1,697 万人	1,631 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 23 年度の名古屋市内の観光総消費額は 2,406 億円であり、平成 22 年度と比較して 183 億円減少している。

宿泊客の総消費額は 876 億円であり、前年度と比較して 139 億円減少している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較すると、名古屋市内は 30 億円、名古屋市外は 14 億円ともに減少している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 22 年度	平成 23 年度
宿泊客実人数		461 万人	519 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,372 万人	1,176 万人
	名古屋市外客	1,697 万人	1,631 万人
宿泊客一人あたり消費額		22,016 円	16,870 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,540 円	3,875 円
	名古屋市外客	6,411 円	6,582 円
宿泊客総消費額		1,015 億円	876 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	486 億円	456 億円
	名古屋市外客	1,088 億円	1,074 億円
名古屋市内観光総消費額		2,589 億円	2,406 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

その他消費額は、総消費額から各項目別の消費額を差し引いた金額である。

平成 22 年度に比べ、食事費は 71 億円、宿泊費は 46 億円、交通費は 46 億円、土産費は 16 億円それぞれ増加し、その他消費額が 362 億円減少している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 22 年度	平成 23 年度
食事費消費額	797 億円	868 億円
交通費消費額	330 億円	376 億円
土産費消費額	576 億円	592 億円
宿泊費消費額	480 億円	526 億円
その他消費額	406 億円	44 億円
総消費額	2,589 億円	2,406 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		名古屋市内客	名古屋市外客
食事費	6,949 円	1,462 円	2,052 円
交通費	2,069 円	503 円	1,287 円
土産費	4,920 円	576 円	1,651 円
宿泊費	10,132 円		

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		名古屋市内客	名古屋市外客	
食事費総消費額	361 億円	172 億円	335 億円	868 億円
交通費総消費額	107 億円	59 億円	210 億円	376 億円
土産費総消費額	255 億円	68 億円	269 億円	592 億円
宿泊費総消費額	526 億円			526 億円

2. 調査の集計結果

2-1 観光客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内主要観光地点における観光客の入込・遊覧状況等を把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●観光施設（名古屋城、熱田神宮、ノリタケの森、名古屋港水族館）調査

- ・秋期調査：平成23年 11月 2日（水）9：30～16：30 天候：晴後曇
11月 5日（土）9：30～16：30 天候：曇後雨
11月 6日（日）9：30～16：30 天候：曇時々雨
- ※ノリタケの森は 11月 9日（水）9：30～16：30 天候：曇

- ・春期調査：平成24年 3月 1日（木）9：30～16：30 天候：薄曇時々晴
3月 3日（土）9：30～16：30 天候：晴
3月 4日（日）9：30～16：30 天候：曇後雨

●名古屋まつり調査：平成23年10月16日（日）10：30～16：00 天候：晴

●イベント会場（ポートメッセなごや）調査

- ・名古屋モーターショー：

平成23年12月23日（祝）10：30～16：00 天候：晴

- ・NAGOYA オートトレンド：

平成24年3月3日（土）10：30～16：00 天候：晴

③調査方法

それぞれの調査地点を訪れた観光入込客のうち、10歳以上と思われる観光入込客に対して、等間隔無作為抽出法により調査対象を抽出し、対面聞き取りにより年齢を確認した上で調査を行った。

④調査場所及び調査サンプル数

観光地点を全国観光統計基準に基づく分類（注）や施設・催し物の特性、所在地を勘案して、以下の地点で調査を実施した。

観光地点名称	秋期調査（11月）			春期調査（3月）			合 計
	平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜	
名古屋城	102	107	106	105	114	102	636
熱田神宮	102	108	114	105	100	105	634
ノリタケの森	107	100	107	104	105	105	628
名古屋港水族館	100	107	101	102	102	110	622
名古屋まつり	611						611
イベント会場 (ポートメッセなごや)	(名古屋モーターショー) 313			(NAGOYA オートトレンド) 310			623
全 体							

（注）大分類「学ぶ（見る・体験する）」・中分類「文化・歴史」として「名古屋城」と「熱田神宮」、「名古屋港水族館」、同・中分類「産業観光」として「ノリタケの森」、大分類「触れ合う（交流する）」・中分類「行・祭事」として「名古屋まつり」、同・中分類「イベント」として「ポートメッセなごや」に協力していただいた。

(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

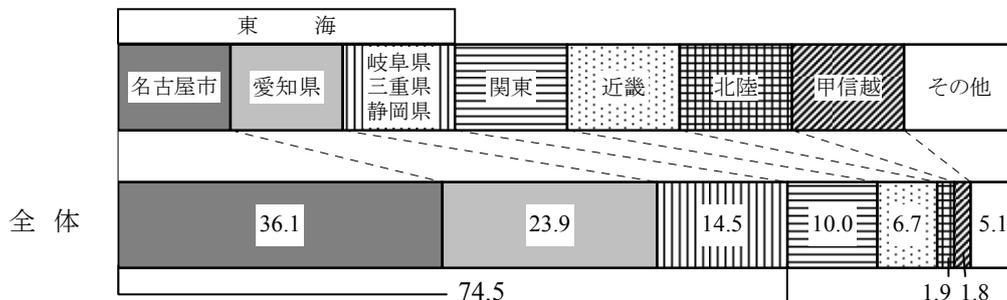
観光入込客の居住地は、全体では「名古屋市」が36.1%と最も多く、次いで「愛知県（名古屋市を除く）」（23.9%）で、「岐阜県」（5.9%）、「三重県」（5.1%）、「静岡県」（3.5%）を合計した「東海」が74.5%を占め、「関東」（10.0%）、「近畿」（6.7%）など「東海以外」の地域からの入込客は全体で25.5%である。

観光地点別にみると、「名古屋まつり」の入込客では「名古屋市」（60.3%）居住者の構成比が高く、また、「名古屋まつり」（94.0%）、「イベント会場」（92.4%）の入込客では大半が「東海」居住となっている。一方、「名古屋城」では「関東」（25.7%）をはじめ「東海以外」の地域が47.0%と広域的に集客している。

表 2-1-1 入込客の居住地構成（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	東海				関東	近畿	北陸	甲信越	その他	合計
		名古屋市	愛知県 (名古屋市を除く)	岐阜県・三重県・静岡県						
名古屋城	53.0	29.6	14.6	8.8	25.7	7.2	1.4	1.7	11.0	100.0
熱田神宮	67.1	41.1	16.7	9.3	13.4	5.7	1.4	4.4	8.0	100.0
ノリタケの森	61.1	29.7	19.1	12.3	13.7	14.5	3.5	1.8	5.4	100.0
名古屋港水族館	80.6	33.6	24.6	22.4	4.3	6.0	4.3	1.6	3.2	100.0
名古屋まつり	94.0	60.3	21.1	12.6	1.6	2.8	0.0	0.3	1.3	100.0
イベント会場	92.4	23.4	47.3	21.7	1.0	3.7	1.0	0.6	1.3	100.0
全体	74.5	36.1	23.9	14.5	10.0	6.7	1.9	1.8	5.1	100.0



注：愛知県は名古屋市を除く

- 東海—名古屋市・愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
- 関東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
- 近畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
- 北陸—福井県・石川県・富山県
- 甲信越—新潟県・長野県・山梨県

図 2-1-1 入込客の居住地構成

b. 性・年齢構成

全体では「30～39歳」(20.9%)と「20～29歳」(19.6%)が約2割と多く、「40～49歳」(16.7%)、「50～59歳」(14.7%)、「60～69歳」(14.2%)が14～16%台で続き、以下「70歳以上」(8.8%)、「10～19歳」(5.1%)となっている。

性別は、男性が46.6%、女性が53.4%と、女性の方が男性より若干多い。

男性では「30～39歳」が最も多く、女性では「20～29歳」と「30～39歳」が多く、それぞれ2割以上となっている。

観光地点別にみると、「29歳以下」の若い世代の割合は「名古屋港水族館」(44.5%)で特に高く、「名古屋城」(33.6%)でも比較的高い。一方、「60歳以上」の割合は「熱田神宮」(33.1%)、「ノリタケの森」(28.7%)では3割前後みられる。

性別の割合は、「名古屋港水族館」では男性女性ほぼ半々である。「熱田神宮」と「名古屋まつり」では若干、「名古屋城」と「ノリタケの森」ではかなり、女性の方が多い。一方、「イベント会場」では2回とも自動車関係のイベントであったため男性の方が非常に多い。

表 2-1-2 入込客の地点別性・年齢構成

(単位：%)

性別	観光地点	年 齢							
		10～ 19歳	20～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上	合 計
全 体	名古屋城	7.5	26.1	18.9	10.2	10.2	15.3	11.8	100.0
	熱田神宮	2.1	18.0	19.1	11.5	16.2	16.2	16.9	100.0
	ノリタケの森	2.2	13.5	14.5	17.4	23.7	20.1	8.6	100.0
	名古屋港水族館	11.2	33.3	26.2	12.9	5.8	7.4	3.2	100.0
	名古屋まつり	4.4	14.7	20.3	21.8	17.7	13.4	7.7	100.0
	イベント会場	3.2	11.9	26.9	27.0	14.3	12.5	4.2	100.0
	合 計	5.1	19.6	20.9	16.7	14.7	14.2	8.8	100.0
男 性	名古屋城	6.9	25.5	17.1	9.7	10.2	14.8	15.8	34.0
	熱田神宮	1.4	13.9	20.1	13.6	17.7	16.3	17.0	46.4
	ノリタケの森	4.3	13.5	14.1	14.1	20.5	22.7	10.8	29.5
	名古屋港水族館	10.3	31.0	26.4	12.3	5.7	10.0	4.3	48.2
	名古屋まつり	4.0	13.6	17.3	23.5	19.1	11.8	10.7	44.5
	イベント会場	3.1	11.0	24.7	26.7	15.4	14.1	5.0	77.4
	合 計	4.8	17.4	21.0	18.1	14.6	14.4	9.7	46.6
女 性	名古屋城	7.9	26.4	19.7	10.5	10.2	15.5	9.8	66.0
	熱田神宮	2.6	21.5	18.2	9.7	15.0	16.2	16.8	53.6
	ノリタケの森	1.4	13.5	14.7	18.7	25.0	19.0	7.7	70.5
	名古屋港水族館	12.1	35.4	26.1	13.3	5.9	5.0	2.2	51.8
	名古屋まつり	4.7	15.6	22.7	20.4	16.5	14.8	5.3	55.5
	イベント会場	3.5	14.9	34.8	27.7	10.6	7.1	1.4	22.6
	合 計	5.4	21.5	21.0	15.5	14.7	14.0	7.9	53.4

注：男性・女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

旅行の主な目的は、「観光施設の見学」(35.5%)と「イベント」(34.9%)が多く、これらをはじめとする「観光・娯楽」目的者の割合は合わせて82.5%を占めている。

時系列にみても、「観光・娯楽」の割合は8割台で推移している。

観光地点別にみると、「名古屋港水族館」(81.7%)、「ノリタケの森」(57.7%)、「名古屋城」(38.5%)の入込客では「観光施設の見学」目的が、「イベント会場」(93.2%)と「名古屋まつり」(73.1%)の入込客では「イベント」目的が、「熱田神宮」では「七五三」など「その他」(48.0%)目的が、それぞれ最も高くなっている。また、「ノリタケの森」(14.0%)と「名古屋まつり」(10.3%)では「ショッピング」目的の割合も1割以上みられる。

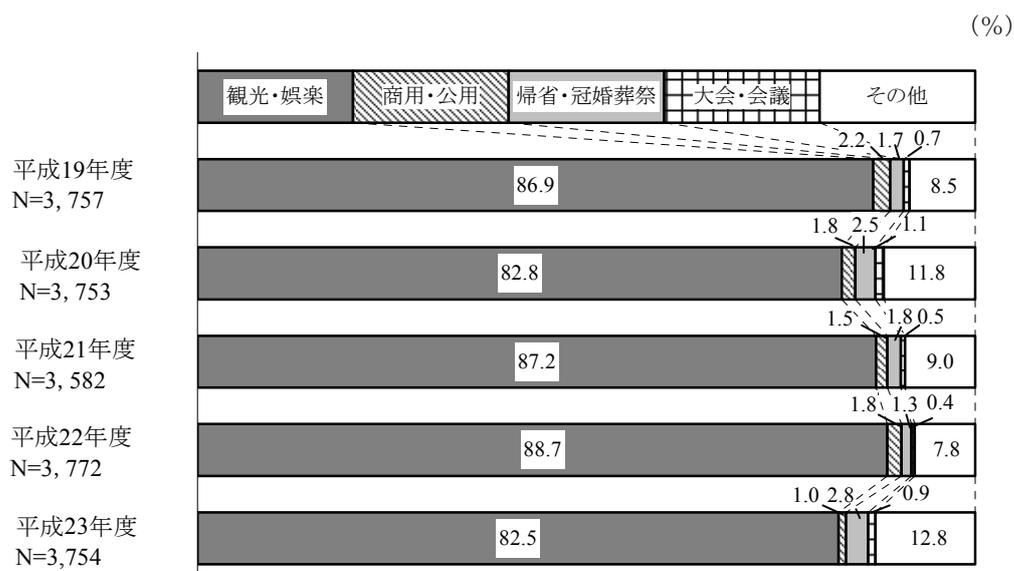


図 2-1-2 入込客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-1-3 入込客の主な旅行目的（観光地点別）

(単位：%)

旅行目的	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
観光地点											
名古屋城	38.5	1.9	4.9	29.5	1.6	12.7	1.4	1.6	3.0	4.9	100.0
熱田神宮	26.1	3.0	2.5	3.2	1.7	0.9	1.1	12.1	1.4	48.0	100.0
ノリタケの森	57.7	14.0	1.0	5.4	4.0	1.0	1.3	1.9	0.8	12.9	100.0
名古屋港水族館	81.7	2.3	1.1	6.1	0.3	1.3	0.5	0.6	0.0	6.1	100.0
名古屋まつり	4.4	10.3	2.0	73.1	3.3	1.3	0.7	0.3	0.3	4.3	100.0
イベント会場	3.9	1.1	0.2	93.2	0.3	0.0	0.8	0.2	0.0	0.3	100.0
全 体	35.5	5.4	1.9	34.9	1.9	2.9	1.0	2.8	0.9	12.8	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」目的で来訪した方（全体の 82.5%）が名古屋を選んだきっかけは、「雑誌・新聞をみて」（17.4%）が最も高く、「前に来たことがあり良かったから」（16.3%）、「友人・知人に薦められた」（14.6%）、「テレビやラジオ番組の情報」（12.6%）、「インターネットホームページの情報」（10.5%）と続いている。また、「特になし」（19.9%）の割合も 2 割みられる。

観光地点別にみると、「雑誌・新聞をみて」は「イベント会場」、「名古屋まつり」で、「前に来たことがあり良かったから」は「名古屋港水族館」、「ノリタケの森」で、「友人・知人に薦められた」は「ノリタケの森」、「名古屋城」で多くなっている。また、「熱田神宮」と「名古屋港水族館」では「特になし」が 3 割程度みられる。

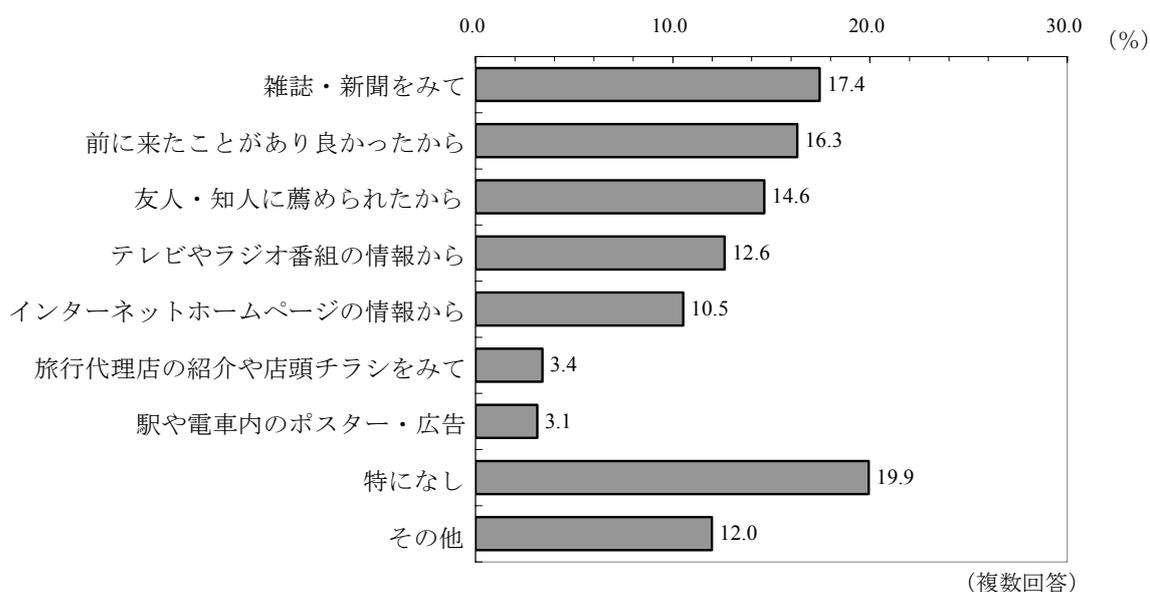


図 2-1-3 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳

表 2-1-4 入込客の名古屋を選んだきっかけの内訳（観光地点別）

(単位：%)

観光地点	きっかけ	雑誌・新聞をみて	前に来たことがあり良かったから	友人・知人に薦められたから	テレビやラジオ番組の情報から	インターネットホームページの情報から	旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて	駅や電車内のポスター・広告	特になし	その他	合計
名古屋城		10.1	12.3	18.3	15.2	5.1	3.2	1.4	24.9	18.9	109.4
熱田神宮		5.1	11.8	9.7	4.2	10.1	16.5	1.7	28.7	14.8	102.6
ノリタケの森		7.9	21.1	20.7	4.0	9.4	4.4	1.7	17.8	17.0	104.0
名古屋港水族館		5.0	29.6	10.4	6.6	5.0	2.4	0.5	30.5	12.7	102.7
名古屋まつり		27.4	12.3	12.8	18.7	12.8	0.5	7.5	14.0	9.0	115.0
イベント会場		39.5	8.9	13.7	20.8	19.7	1.3	4.9	9.4	2.4	120.6
全 体		17.4	16.3	14.6	12.6	10.5	3.4	3.1	19.9	12.0	109.8

(複数回答)

c. 観光施設への遊覧状況

観光地点相互の立ち寄り状況を見ると、「ノリタケの森」や「熱田神宮」、「名古屋まつり」および「名古屋港水族館」の入込客は「名古屋城」にも、「ノリタケの森」の入込客は「熱田神宮」にも、「名古屋城」の入込客は「熱田神宮」、「ノリタケの森」にも訪れる人が多い。

観光地点ごとに他の観光施設への訪問状況を見ると、上記のほか「名古屋城」の入込客は「徳川園」にも訪れる人が多く、一人あたりの（以下 平均）訪問施設数は1.61施設である。「熱田神宮」の入込客では「名古屋城」以外に4%に達する施設はなく、平均訪問施設数は1.53施設と少ない。「ノリタケの森」の入込客は「徳川美術館」や「産業技術記念館」、「徳川園」にも訪れる人が多く、平均訪問施設数は1.79施設と多い。「名古屋港水族館」の入込客では「名古屋港」、「シートレインランド」にも訪れる人が多く、平均訪問施設数は1.61施設である。

「名古屋まつり」の入込客では、「テレビ塔」をはじめ「ランの館」など当日無料開放される施設にも訪れる人が多く、平均訪問施設数は1.86施設と他の施設への立ち寄り最も多い。

「イベント会場」の入込客は「リニア・鉄道館」、「名古屋港」にも訪れる人が多く、平均訪問施設数は1.53施設である。

全般に調査場所の近隣にある観光施設にも立ち寄っているケースが多い。

表 2-1-5 他の観光施設への遊覧状況（観光地点別）

（単位：％）

訪問施設 観光地点	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ボストン美術館
	名古屋城		2.0	5.5	4.4	6.8	9.3	0.0	2.8	0.5	4.2	1.3	0.5
熱田神宮	19.9	1.9	2.2	3.3	1.9		2.8	0.6	0.0	1.1	0.6	0.0	0.3
ノリタケの森	20.9	6.2		7.0	6.2	6.1	0.5	0.6	0.0	2.7	0.6	0.0	0.5
名古屋港水族館	7.9	0.5	0.8	0.3	0.5	2.3	0.3	4.5	0.5	2.1	0.2	0.0	0.0
名古屋まつり	17.5	0.2	2.0	3.4	3.1	2.5	0.7	2.6	0.8	16.2	0.5	1.1	0.2
イベント会場	4.0	1.4	0.5	0.5	0.8	1.8	0.2	1.1	1.8	1.9	0.5	0.5	0.5

訪問施設 観光地点	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	平均訪問施設数
	名古屋城	3.1	0.9	0.5	0.8	2.0	1.7	0.0	0.3	1.4	2.4	10.7
熱田神宮	1.1	0.3	0.6	0.2	1.4	1.7	0.2	0.0	2.5	1.7	8.5	1.53
ノリタケの森	3.5	0.8	0.3	1.3	1.8	0.3	0.3	0.3	4.1	3.0	12.3	1.79
名古屋港水族館	3.5	0.6	0.6	0.3		14.0	8.5	0.2	3.9	3.4	6.4	1.61
名古屋まつり	2.1	0.5	0.0	8.5	1.1	0.5	0.2	0.3	1.8	1.6	18.5	1.86
イベント会場	1.9	1.4	0.2	1.0	5.0	7.5	1.1	0.0	4.0	13.6	1.6	1.53

（複数回答）

※一人あたりの平均訪問施設数

平均訪問施設数は、各観光地点での調査サンプル数（a）とその観光地点・施設以外へ訪れた数及び訪れる予定数（b）の合計を調査サンプル数（a）で除した数値。

$$\text{平均訪問施設数} : 1.65 = \{3,754 (a) + 2,458 (b)\} \div 3,754 (a)$$

d. 旅行形態

全体では、「友人・知人」が33.3%で、「夫婦」（16.7%）や「幼児・小学生連れ」（11.2%）など「家族連れ」が合計で44.5%、「ひとり」が17.4%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」、「ノリタケの森」、「名古屋港水族館」の入込客は「友人・知人」の割合が4割前後と高い。「名古屋港水族館」と「名古屋まつり」の入込客は「家族連れ」が過半数を占める。「熱田神宮」では「友人・知人」、「夫婦」、「ひとり」など比較的分散している。また、「イベント会場」の入込客は「ひとり」の割合が最も高い。

表 2-1-6 入込客の旅行形態（観光地点別）

（単位：％）

観光地点	旅行形態	ひとり	友人・知人	家族連れ			団体		その他	合計
				幼児・小学生連れ	夫婦	その他	一般	学生		
名古屋城		14.2	44.1	4.4	14.8	14.0	4.9	0.9	2.7	100.0
熱田神宮		22.4	23.9	8.0	23.2	17.5	4.7	0.0	0.3	100.0
ノリタケの森		10.0	41.0	4.0	19.4	17.8	5.7	0.0	2.1	100.0
名古屋港水族館		3.5	37.8	27.3	10.3	15.8	5.0	0.0	0.3	100.0
名古屋まつり		17.8	29.5	14.7	17.8	19.3	0.2	0.0	0.7	100.0
イベント会場		36.3	23.6	9.3	14.6	15.4	0.3	0.0	0.5	100.0
全体		17.4	33.3	11.2	16.7	16.6	3.5	0.2	1.1	100.0

パッケージ旅行の割合は、全体では5.1%である。

観光地点別にみると、「パッケージ旅行」の割合は「ノリタケの森」、「名古屋城」、「熱田神宮」の入込客では1割程度みられるものの、「名古屋港水族館」では僅かであり、「名古屋まつり」と「イベント会場」ではほぼ全員が「パッケージ旅行ではない」としている。

地域別にみると、パッケージ旅行を利用する割合は、「甲信越」(37.9%)をはじめ、「北陸」、「その他」からの入込客では2割台と多く、「関東」、「近畿」からの入込客でも1割台が利用している。

宿泊客では「パッケージ旅行」を16.6%が利用している。

表 2-1-7 入込客のパッケージ旅行利用有無（地点・地域・宿泊別）

(単位：%)

観光地点・地域・宿泊		旅行形態		合 計
		パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	
観 光 地 点	名古屋城	9.7	90.3	100.0
	熱田神宮	8.4	91.6	100.0
	ノリタケの森	10.7	89.3	100.0
	名古屋港水族館	1.3	98.7	100.0
	名古屋まつり	0.3	99.7	100.0
	イベント会場	0.0	100.0	100.0
地 域	東 海	1.0	99.0	100.0
	名古屋市	0.0	100.0	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	0.2	99.8	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	4.6	95.4	100.0
	関 東	13.8	86.2	100.0
	近 畿	11.6	88.4	100.0
	北 陸	23.3	76.7	100.0
	甲信越	37.9	62.1	100.0
	その他	22.0	78.0	100.0
宿 泊	宿泊客	16.6	83.4	100.0
	日帰り客	2.2	97.8	100.0
全 体		5.1	94.9	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

旅行予算をみると、全体では「5,000円未満」が40.9%と最も多く、次いで「5,000～10,000円未満」(23.9%)、「10,000～30,000円未満」(22.6%)がそれぞれ23%前後みられる。旅行予算の平均額は13,753円である。昨年度(12,379円)と比較すると1,374円の増額となっている。

観光地点別にみると、「ノリタケの森」の入込客では「30,000円以上」の割合が合わせて21.2%で平均額は19,000円を超えている。一方、「10,000円未満」の割合は合わせて「名古屋まつり」(82.5%)では8割以上、「名古屋港水族館」(74.6%)、「イベント会場」(71.5%)では7割以上を占め、平均額は10,000円前後となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「10,000～30,000円未満」が最も多く、かつ「30,000円以上」が半数弱みられ、平均額は32,346円と高額である。「名古屋市外からの日帰り客」では「5,000円未満」が最も多いものの、その割合は4割未満であり平均額は11,486円である。一方、「名古屋市内」では「5,000円未満」が64.9%と多く、平均額は6,246円となっている。

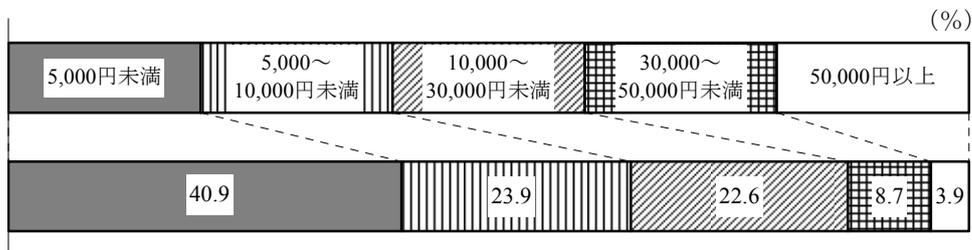


図 2-1-4 入込客の旅行予算

表 2-1-8 入込客の旅行予算(地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

旅行予算		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額(円)
観光地点	名古屋城	38.1	15.1	30.0	12.6	4.2	100.0	16,305
	熱田神宮	46.3	14.7	18.8	13.9	6.3	100.0	16,297
	ノリタケの森	23.6	23.4	31.8	14.8	6.4	100.0	19,415
	名古屋港水族館	41.2	33.4	19.6	3.9	1.9	100.0	10,450
	名古屋まつり	49.9	32.6	12.1	2.9	2.5	100.0	9,133
	イベント会場	46.7	24.8	22.8	3.5	2.2	100.0	10,678
地域×宿泊	名古屋市内	64.9	24.5	8.7	1.0	0.9	100.0	6,246
	宿泊客	20.0	20.0	40.0	0.0	20.0	100.0	25,000
	日帰り客	65.1	24.5	8.6	1.0	0.8	100.0	6,177
	名古屋市外	27.3	23.5	30.5	13.0	5.7	100.0	18,007
	宿泊客	1.6	7.6	44.8	33.4	12.6	100.0	32,346
日帰り客	38.9	30.8	23.9	3.8	2.6	100.0	11,486	
全体		40.9	23.9	22.6	8.7	3.9	100.0	13,753

注: 平均額の計算式: $\{(2,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000～50,000円未満」の回答者数}) + (75,000 \text{ 円}) \times (\text{「50,000円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

b. 名古屋市内消費額

観光入込客が名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、全体では「5,000 円未満」が 45.5%と最も多く、次いで「5,000～10,000 円未満」が 23.3%、「10,000～20,000 円未満」が 17.7%、「20,000～30,000 円未満」が 8.0%、「30,000 円以上」が 5.5%となっている。名古屋市内消費額の平均額は 7,666 円である。昨年度（7,802 円）と比較すると 136 円の減額となっている。

観光地点別にみると、平均額は、「ノリタケの森」の入込客では 10,749 円と比較的高額である。一方、「名古屋まつり」（5,165 円）の入込客では相対的に低額となっている。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「20,000 円以上」が 44.6%で、平均額は 16,875 円と高額であり、「名古屋市外からの日帰り客」では平均額は 6,582 円である。一方、「名古屋市内」では「5,000 円未満」が 7 割を占め、平均額は 3,921 円となっている。

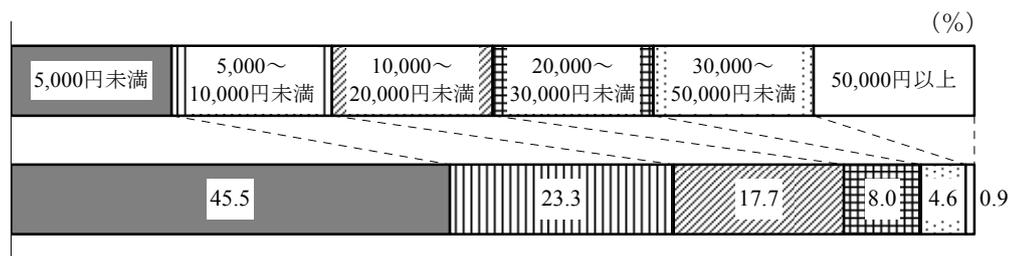


図 2-1-5 入込客の名古屋市内消費額

表 2-1-9 入込客の名古屋市内消費額（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内消費額		消費額区分						合計	平均額 (円)
		5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上		
地点	名古屋城	42.8	17.5	24.3	9.9	4.9	0.6	100.0	8,173
	熱田神宮	48.1	16.1	20.2	8.7	6.1	0.8	100.0	7,882
	ノリタケの森	29.5	25.0	21.1	15.0	7.3	2.1	100.0	10,749
	名古屋港水族館	46.8	29.7	14.1	5.5	3.4	0.5	100.0	6,785
	名古屋まつり	57.1	28.3	9.2	2.6	2.1	0.7	100.0	5,165
	イベント会場	49.2	23.2	16.9	6.0	3.9	0.8	100.0	7,155
	名古屋市	68.6	22.0	7.0	1.3	0.6	0.5	100.0	3,921
地域×宿泊	宿泊客	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	100.0	16,200
	日帰り客	68.8	22.0	6.9	1.3	0.6	0.4	100.0	3,875
	名古屋市外	32.5	24.0	23.8	11.7	6.9	1.1	100.0	9,792
	宿泊客	3.1	12.6	39.7	25.0	17.2	2.4	100.0	16,875
	日帰り客	45.8	29.1	16.5	5.7	2.3	0.6	100.0	6,582
全体		45.5	23.3	17.7	8.0	4.6	0.9	100.0	7,666

c. 市内交通費

名古屋市内の移動や駐車などで支出する交通費は、全体では「1,000円未満」が41.3%と最も多く、次いで、「1,000～3,000円未満」が26.3%、「交通費はかからない」が23.1%となっている。市内交通費の平均額は1,152円であり、昨年度(946円)と比較すると206円の増額となっている。

観光地点別にみると、全地点とも「1,000円未満」が最も多くなっている。「イベント会場」や「名古屋港水族館」などでは「1,000～3,000円未満」の割合も3割以上みられ、平均額は1,400円程度と高額である。

地域・宿泊別にみると、「名古屋市外からの宿泊客」では「1,000～3,000円未満」の割合が最も多く、平均額も2,071円となっている。一方、「名古屋市内」では「交通費はかからない」(39.4%)の割合が比較的多く、平均額は508円と低額である。

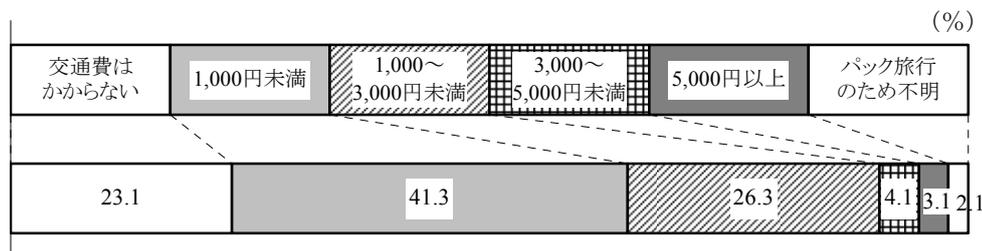


図 2-1-6 入込客の市内交通費

表 2-1-10 入込客の市内交通費（地点・地域×宿泊別）

(単位：%)

市内交通費		交通費の範囲						合計	平均額 (円)
		交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	パック旅行のため不明		
観光地点	名古屋城	23.9	35.2	26.0	5.0	4.7	5.2	100.0	1,318
	熱田神宮	36.8	37.2	18.1	3.6	3.2	1.1	100.0	941
	ノリタケの森	23.7	45.9	21.5	1.6	2.2	5.1	100.0	938
	名古屋港水族館	13.7	43.2	33.1	5.1	3.9	1.0	100.0	1,387
	名古屋まつり	24.5	48.5	23.2	2.0	1.8	0.0	100.0	921
	イベント会場	15.6	38.5	35.9	7.4	2.6	0.0	100.0	1,400
	地域×宿泊	名古屋市内	39.4	48.9	10.5	1.0	0.1	0.1	100.0
宿泊客		20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	100.0	1,700
日帰り客		39.4	49.0	10.4	1.0	0.1	0.1	100.0	503
名古屋市外		13.9	37.1	35.2	5.9	4.7	3.2	100.0	1,528
宿泊客		12.0	29.8	34.7	8.0	10.8	4.7	100.0	2,071
日帰り客	14.7	40.4	35.5	4.9	1.9	2.6	100.0	1,287	
全体		23.1	41.3	26.3	4.1	3.1	2.1	100.0	1,152

注：平均額の計算式： $\{(0 \text{円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{円}) \times (\text{「1,000円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{円}) \times (\text{「1,000～3,000円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{円}) \times (\text{「3,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{円}) \times (\text{「5,000円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

d. 市内での土産代

「名古屋市内で土産を購入する」という回答が全体では52.5%と過半数を占め、支出額としては、「2,000円未満」(26.5%)が最も多く、次いで「2,000～5,000円未満」(16.8%)となっている。土産代の平均額は1,921円であり、昨年度(1,729円)と比較すると192円の増額となっている。

観光地点別にみると、「土産を購入する」割合は、「名古屋城」(67.3%)と「ノリタケの森」(60.5%)の入込客では高く、「名古屋港水族館」(51.0%)や「イベント会場」(49.7%)、「熱田神宮」(48.6%)でも半数前後を占めている。一方、「名古屋まつり」の入込客では購入する割合は36.8%と低く、平均額は1,000円に満たない。

地域・宿泊別にみると、「土産を購入する」割合、金額とも、「名古屋市」居住者より「名古屋市外」からの入込客の方が高く、「名古屋市外」からの入込客では「日帰り客」より「宿泊客」の方がかなり高く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「購入する」割合は9割近くを占め、平均額は4,941円と高額である。

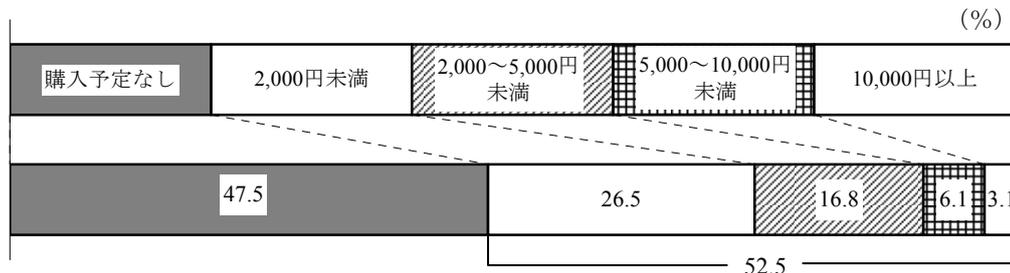


図 2-1-7 入込客の市内での土産代

表 2-1-11 入込客の市内での土産代 (地点・地域×宿泊別)

(単位: %)

地点・地域×宿泊		土産代					合計	平均額 (円)
		買わない	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
観光地点	名古屋城	32.7	32.4	24.3	7.9	2.7	100.0	2,301
	熱田神宮	51.4	18.8	15.0	8.2	6.6	100.0	2,652
	ノリタケの森	39.5	22.1	24.4	10.2	3.8	100.0	2,603
	名古屋港水族館	49.0	30.1	15.3	4.0	1.6	100.0	1,458
	名古屋まつり	63.2	26.9	7.2	1.1	1.6	100.0	934
	イベント会場	50.3	28.9	14.1	4.8	1.9	100.0	1,530
地域×宿泊	名古屋市	69.6	23.2	5.8	1.0	0.4	100.0	581
	宿泊客	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	100.0	1,800
	日帰り客	69.8	23.1	5.7	1.0	0.4	100.0	576
	名古屋市外	35.0	28.4	23.0	9.0	4.6	100.0	2,680
	宿泊客	11.6	23.2	37.0	17.8	10.4	100.0	4,941
	日帰り客	45.7	30.7	16.7	5.0	1.9	100.0	1,651
全体		47.5	26.5	16.8	6.1	3.1	100.0	1,921

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{円}) \times (\text{「2,000円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{円}) \times (\text{「2,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{円}) \times (\text{「5,000～10,000円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{円}) \times (\text{「10,000円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出をみると、全体では「2,000 円未満」(47.5%) が最も多く半数近くを占める。次いで「2,000～5,000 円未満」が 27.2% で、「ジュース程度」は 13.9% である。食事代の平均額は 2,823 円であり、昨年度 (2,454 円) と比較すると 369 円の増額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「熱田神宮」、「ノリタケの森」の入込客では平均額は 3,000 円以上であるが、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では「ジュース程度」の割合が 2 割前後みられ、平均額は 2,000 円程度となっている。

地域・宿泊別にみると、「宿泊客」では「2,000～5,000 円未満」の割合が最も多く、特に「名古屋市外からの宿泊客」では「5,000 円以上」も合わせて 4 割以上と多く、平均額は 6,953 円と高額である。一方、「日帰り客」では「2,000 円未満」の割合が過半数を占めている。

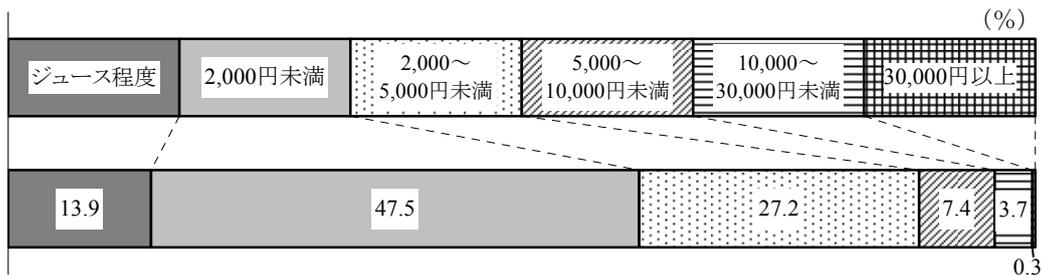


図 2-1-8 入込客の市内での食事代

表 2-1-12 入込客の市内での食事代 (地点・地域×宿泊)

(単位: %)

市内食事代		ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上	合計	平均額 (円)
観光地点	名古屋城	13.2	42.6	27.0	12.3	4.6	0.3	100.0	3,330
	熱田神宮	7.9	46.0	30.9	8.7	6.2	0.3	100.0	3,550
	ノリタケの森	12.2	40.3	31.2	9.9	6.2	0.2	100.0	3,541
	名古屋港水族館	12.7	46.4	31.8	6.6	2.3	0.2	100.0	2,588
	名古屋まつり	20.5	52.3	21.6	3.3	1.8	0.5	100.0	2,082
	イベント会場	17.5	57.4	20.5	3.4	1.0	0.2	100.0	1,803
	地域×宿泊	名古屋市	21.2	58.5	17.5	2.2	0.6	0.0	100.0
宿泊客		0.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	100.0	6,300
日帰り客		21.3	58.7	17.3	2.2	0.5	0.0	100.0	1,462
名古屋市外		9.8	41.3	32.8	10.3	5.4	0.4	100.0	3,584
宿泊客		3.7	15.9	38.6	25.2	15.4	1.2	100.0	6,953
日帰り客	12.6	52.8	30.1	3.5	0.9	0.1	100.0	2,052	
全体		13.9	47.5	27.2	7.4	3.7	0.3	100.0	2,823

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「ジュース程度」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000 円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

f. 宿泊代

「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は 20.1%であり、1泊あたりの宿泊代は、「5,000～15,000 円未満」（10.1%）の割合が多い。

なお、名古屋市内の宿泊施設に宿泊する方の1泊あたりの宿泊代の平均額は 10,132 円であり、昨年度（10,418 円）と比較すると 286 円の減額となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市内に宿泊する」と回答した割合は「名古屋城」の入込客で 37.8%と最も多く、「熱田神宮」（28.7%）と「ノリタケの森」（25.8%）でも3割弱みられ、「名古屋港水族館」では 15.7%となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では大半が「宿泊しない」としている。

「名古屋市外からの宿泊客」では、「5,000～15,000 円未満」の割合は 50.3%と半数を占める。

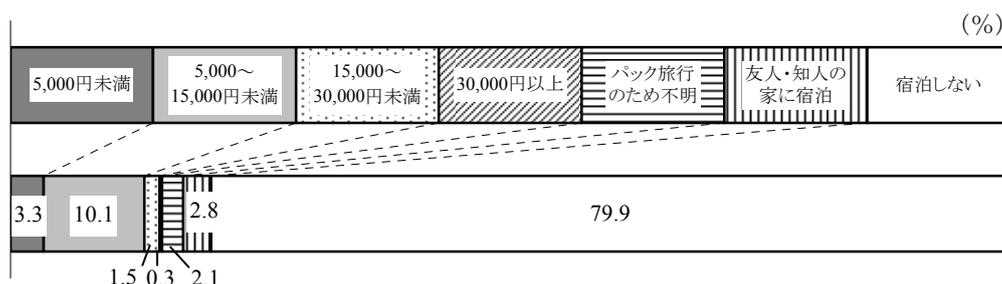


図 2-1-9 入込客の宿泊代

表 2-1-13 入込客の宿泊代（地点・地域×宿泊別）

（単位：%）

市内宿泊代		5,000円未満	5,000～15,000円未満	15,000～30,000円未満	30,000円以上	バック旅行のため不明	友人・知人の家に宿泊	宿泊しない	合計	平均額（円）
観光地点	名古屋城	9.9	19.0	1.1	0.8	3.5	3.5	62.2	100.0	8,801
	熱田神宮	2.7	14.5	2.7	0.3	5.5	3.0	71.3	100.0	11,133
	ノリタケの森	2.2	14.2	2.1	0.2	3.3	3.8	74.2	100.0	10,748
	名古屋港水族館	3.1	7.9	1.6	0.0	0.2	2.9	84.3	100.0	9,776
	名古屋まつり	1.3	1.3	1.5	0.2	0.2	2.4	93.1	100.0	13,173
	イベント会場	0.6	3.0	0.2	0.2	0.0	1.0	95.0	100.0	10,500
地域×宿泊	名古屋市	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	99.6	100.0	6,250
	宿泊客	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	100.0	6,250
	日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—
	名古屋市外	5.2	15.7	2.4	0.4	3.3	4.2	68.8	100.0	10,145
宿泊客	16.6	50.3	7.6	1.3	10.7	13.5	0.0	100.0	10,145	
日帰り客	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	—	
全体		3.3	10.1	1.5	0.3	2.1	2.8	79.9	100.0	10,132

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (10,000 円) × (「5,000～15,000 円未満」の回答者数) + (22,500 円) × (「15,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000 円以上」の回答者数)} / {(全回答者数) - (「バック旅行のため不明」の回答者数) - (「友人・知人の家に宿泊」の回答者数) - (「宿泊しない」の回答者数)}

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

名古屋市外に居住する方（全体の63.9%）の来名回数としては、「10回以上」が55.3%と最も多く、「今回はじめて」訪れた割合は15.1%である。

「10回以上」の割合は、「イベント会場」の入込客や「愛知県（名古屋市を除く）」居住者では9割弱を占める。一方、「今回はじめて」訪れた割合は、「名古屋城」（35.9%）の入込客や「東海以外」（33.9%）からの入込客では比較的多い。

表 2-1-14 名古屋市外からの入込客の来名回数（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		回数					合計
		はじめて	2回目	3回目	4～9回目	10回以上	
観光地点	名古屋城	35.9	14.1	8.7	13.4	27.9	100.0
	熱田神宮	19.5	11.8	12.3	15.5	40.9	100.0
	ノリタケの森	15.0	11.1	12.2	15.6	46.1	100.0
	名古屋港水族館	9.7	7.7	7.3	12.1	63.2	100.0
	名古屋まつり	5.3	6.6	6.6	9.1	72.4	100.0
	イベント会場	1.7	2.5	3.6	6.9	85.3	100.0
地域	東海	1.3	1.8	2.2	6.0	88.7	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	2.0	2.3	3.3	4.4	88.0	100.0
	岐阜県・三重県・静岡県	3.5	3.5	5.5	13.6	73.9	100.0
	東海以外	33.9	18.4	14.8	18.7	14.2	100.0
全体		15.1	9.0	8.4	12.2	55.3	100.0

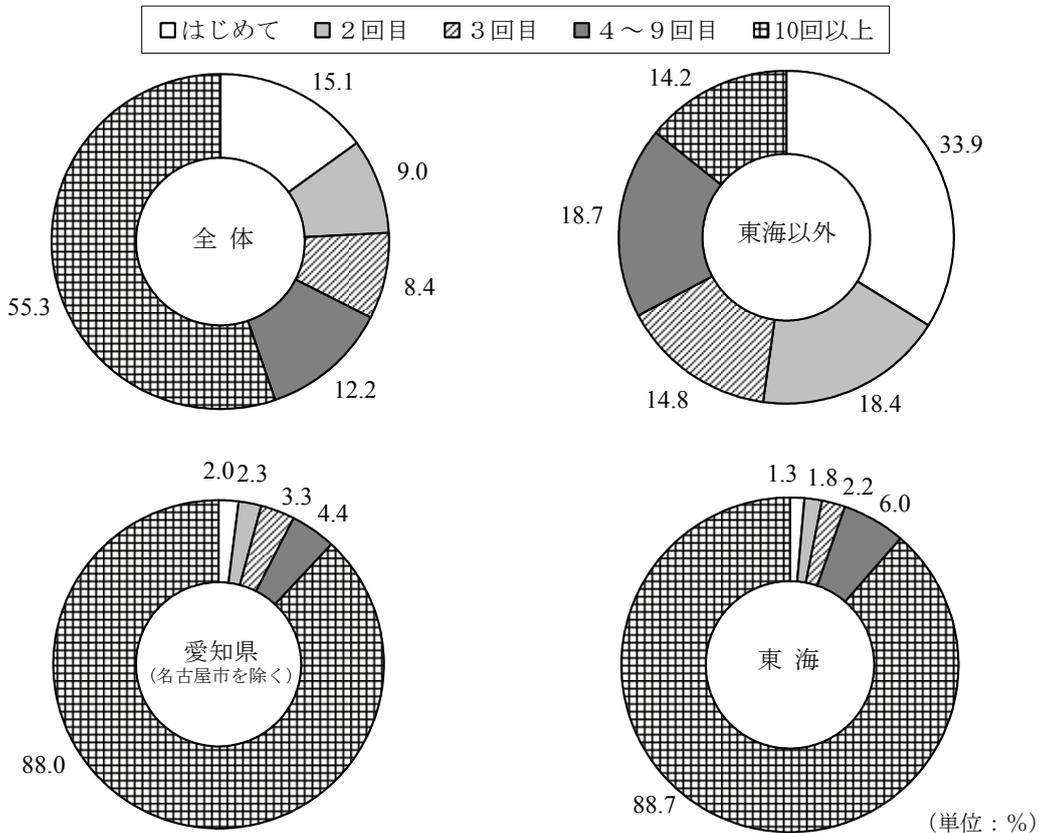


図 2-1-10 入込客の来名回数（地域別）

⑤交通機関

名古屋市外に居住する方の名古屋市内への主な交通手段は、全体では「自家用車」が45.5%と半数弱みられ、次いで「JR」が27.4%、「名鉄電車」が13.5%となっている。

観光地点別にみると、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では「JR」の割合が、そのほかでは「自家用車」の割合が最も高い。「自家用車」の割合は「イベント会場」、「名古屋港水族館」の入込客では6割を超えている。そのほか、「名古屋まつり」の入込客では「名鉄電車」の割合も比較的多く、「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では「観光バス」の割合が1割みられる。

居住地別にみると、東海では各地域とも「自家用車」が最も多く、また、「愛知県（名古屋市を除く）」と「岐阜県」では「名鉄電車」、「岐阜県」と「静岡県」では「JR」、「三重県」では「近鉄電車」も2～3割みられ、「静岡県」では「観光バス」も比較的多い。一方、「東海以外」からの入込客では「JR」が41.1%と最も多い。

旅行形態別にみると、「ひとり」などでは「JR」、「幼児・小学生連れ」など「家族連れ」や「友人・知人」では「自家用車」、「団体旅行」では「観光バス」の割合が最も多い。

表 2-1-15 名古屋市外からの入込客の交通機関（地点・地域・旅行形態別）

（単位：％）

交通機関		J	名	近	自	航	路	観	そ	合	
		R	鉄	鉄	家	空	線	光	の	計	
地点・地域・旅行形態			電	電	用	機	バ	バ	他		
			車	車	車		ス	ス			
観 光 地 点	名古屋城	35.9	10.3	5.1	31.3	6.7	4.2	10.9	6.9	111.3	
	熱田神宮	24.1	15.2	2.9	41.4	7.5	1.1	8.6	1.9	102.7	
	ノリタケの森	39.0	12.0	5.4	28.8	2.3	1.4	10.9	1.4	101.2	
	名古屋港水族館	17.9	9.0	2.7	62.2	0.7	1.7	5.8	3.4	103.4	
	名古屋まつり	32.5	23.9	7.0	35.8	1.2	2.9	1.2	3.7	108.2	
	イベント会場	17.0	15.3	2.3	67.9	0.2	1.7	0.2	0.8	105.4	
地 域	東海	18.3	21.1	3.6	55.4	0.0	1.7	3.1	1.3	104.5	
	愛知県（名古屋市を除く）	15.8	27.6	1.2	55.2	0.0	1.7	0.7	1.7	103.9	
	岐阜県	29.7	21.9	0.5	52.1	0.0	0.9	1.4	1.4	107.9	
	三重県	9.4	2.1	20.9	62.3	0.0	3.7	5.2	0.5	104.1	
	静岡県	29.3	3.0	0.0	51.9	0.0	0.8	19.5	0.0	104.5	
	東海以外	41.1	2.2	4.7	30.6	7.8	2.7	11.7	5.4	106.2	
旅 行 形 態	ひとり	36.5	24.8	3.4	32.8	2.2	2.8	1.9	5.0	109.4	
	友人・知人	33.7	13.0	5.1	39.5	3.2	3.6	4.1	4.3	106.5	
	家 族	幼児・小学生連れ	13.7	15.9	2.2	70.4	0.0	1.8	0.4	0.9	105.3
		夫婦	24.4	11.1	4.0	56.8	3.7	0.2	2.7	0.5	103.4
		その他	22.1	10.1	3.4	59.4	4.1	1.0	1.4	1.4	102.9
	団体旅行	14.0	0.7	2.9	2.9	4.4	0.0	71.3	5.1	101.3	
その他	25.9	29.7	11.1	11.1	7.4	7.4	3.7	3.7	100.0		
全 体		27.4	13.5	4.0	45.5	3.1	2.1	6.6	3.0	105.2	

（複数回答）

⑥名古屋市以外の訪問地

名古屋市外に居住する入込客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」方の割合は全体では21.7%である。その訪問先としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(4.3%)が最も多く、以下、「豊田・岡崎・足助」(3.8%)、「明治村・犬山」(3.2%)、「伊勢・志摩」(3.2%)、「知多・常滑・セントレア」(3.0%)となっている。

観光地点別にみると、「名古屋市以外にも訪問する」という割合は、「ノリタケの森」の入込客では30.2%と高く、「名古屋城」(27.2%)、「熱田神宮」(24.6%)の入込客でも2割台みられる。

宿泊客では、「名古屋市以外にも訪問する」という割合が36.2%と高く、訪問先としては「明治村・犬山」(7.6%)が最も多い。

表 2-1-16 名古屋市外からの入込客の訪問地（地点・宿泊別）

(単位：%)

訪問地		名古屋市内のみ	長島温泉・湯の山・鈴鹿	豊田・岡崎・足助	明治村・犬山	伊勢・志摩	知多・常滑・セントレア	岐阜・関ヶ原	長久手・モリコロパーク	下呂・高山	蒲郡・西浦・三谷	豊橋・伊良湖	多治見・恵那・中津川	瀬戸・小原	豊川・鳳来寺	その他	訪問地合計
観光地点	名古屋城	72.8	2.5	8.7	4.2	3.3	1.3	3.8	2.2	2.2	2.5	0.7	1.8	0.9	1.1	2.9	38.1
	熱田神宮	75.4	3.7	3.2	4.5	6.7	4.0	1.9	1.1	6.1	1.3	0.8	0.0	0.0	0.3	0.3	33.9
	ノリタケの森	69.8	9.5	4.5	2.7	3.2	5.4	2.5	3.4	1.6	1.1	1.8	0.7	1.1	0.7	1.4	39.6
	名古屋港水族館	87.2	2.7	0.7	1.9	1.7	2.7	3.4	1.0	1.7	0.2	0.7	0.0	0.2	0.5	0.7	18.1
	名古屋まつり	81.9	2.9	2.9	4.9	3.3	1.6	3.7	4.9	1.6	0.4	0.0	1.6	0.4	0.0	0.4	28.6
	イベント会場	84.3	4.0	1.9	1.7	1.7	2.3	1.5	2.7	0.0	1.0	1.5	0.2	0.8	0.6	0.4	20.3
	宿泊	宿泊客	63.8	6.5	7.3	7.6	7.2	3.9	4.7	3.3	5.5	1.5	1.1	1.1	0.8	1.3	1.6
日帰り客	84.9	3.3	2.1	1.2	1.4	2.6	1.8	2.0	0.6	1.0	1.0	0.5	0.5	0.2	0.9	19.1	
全体		78.3	4.3	3.8	3.2	3.2	3.0	2.7	2.4	2.1	1.2	1.0	0.7	0.6	0.6	1.1	29.9

(複数回答)

⑦旅行日程

名古屋市外からの入込客の旅行日程としては、「日帰り」が 64.6%であり、「2日」(24.5%)、「3日」(7.0%)など「2日以上」の割合は合わせて 35.4%となっている。

観光地点別にみると、「2日以上」の割合は、「名古屋城」の入込客では 61.6%と高く、「熱田神宮」(51.1%)「ノリタケの森」(45.4%)の入込客でも半数前後となっている。一方、「名古屋まつり」と「イベント会場」の入込客では「日帰り」の割合が 8~9割を占めている。

居住地別にみると、「東海」居住者では大半が「日帰り」である。一方、「その他」(97.4%)からの入込客ではほとんどが「2日以上」で、うち「3日以上」が 53.9%と過半数を占めている。また、「関東」(84.9%)からの入込客では 8割以上、「甲信越」(69.7%)と「近畿」(61.6%)からの入込客では 6割台、「北陸」(53.5%)からの入込客でも過半数が「2日以上」となっている。

表 2-1-17 名古屋市外からの入込客の旅行日程（地点・地域別）

(単位：%)

観光地点・地域		日 程					合 計
		日帰り	2日	3日	4日	5日以上	
観 光 地 点	名古屋城	38.4	40.9	13.6	4.9	2.2	100.0
	熱田神宮	48.9	35.6	9.9	2.1	3.5	100.0
	ノリタケの森	54.6	32.2	8.2	2.7	2.3	100.0
	名古屋港水族館	73.6	18.9	5.1	2.4	0.0	100.0
	名古屋まつり	83.6	11.9	1.6	0.0	2.9	100.0
	イベント会場	93.3	4.6	2.1	0.0	0.0	100.0
地 域	東 海	92.8	6.0	1.0	0.1	0.1	100.0
	関 東	15.1	56.8	18.8	5.3	4.0	100.0
	近 畿	38.4	53.6	4.8	2.0	1.2	100.0
	北 陸	46.5	42.5	9.6	0.0	1.4	100.0
	甲信越	30.3	59.1	9.1	1.5	0.0	100.0
	その他	2.6	43.5	30.9	13.1	9.9	100.0
全 体		64.6	24.5	7.0	2.2	1.7	100.0

⑧市内での宿泊数

名古屋市外からの入込客の中で「日帰り」を除いた方（全体の22.6%）のうち、名古屋市内に宿泊する割合は86.7%である。その泊数としては、「1泊」する割合が61.6%と最も高く、「2泊」する割合が17.5%となっている。

全ての階層で「1泊」の割合が最も高い。

観光地点別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「イベント会場」や「ノリタケの森」では2割台みられる。

居住地別にみると、「名古屋市内には宿泊しない」とする割合は「東海」で3割、「近畿」や「甲信越」からの入込客で2割弱と比較的多い。また、「2泊以上」する割合は「その他」からの入込客では4割以上と多い。

表 2-1-18 名古屋市外からの入込客の名古屋市内における宿泊数（地点・地域別）

（単位：％）

観光地点・地域		市内宿泊数					合 計
		宿泊しない	1泊	2泊	3泊	4泊以上	
観 光 地 点	名古屋城	11.2	62.0	19.6	5.8	1.4	100.0
	熱田神宮	7.3	63.9	18.3	6.8	3.7	100.0
	ノリタケの森	22.0	57.0	16.5	2.5	2.0	100.0
	名古屋港水族館	11.9	63.4	16.5	6.4	1.8	100.0
	名古屋まつり	5.0	70.0	7.5	0.0	17.5	100.0
	イベント会場	28.1	56.3	15.6	0.0	0.0	100.0
地 域	東 海	29.1	58.2	10.7	1.0	1.0	100.0
	関 東	9.7	63.1	18.4	5.0	3.8	100.0
	近 畿	18.8	68.9	7.2	3.2	1.9	100.0
	北 陸	7.7	76.9	12.8	0.0	2.6	100.0
	甲信越	15.2	71.8	13.0	0.0	0.0	100.0
	その他	7.0	48.9	30.1	10.2	3.8	100.0
全 体		13.3	61.6	17.5	4.8	2.8	100.0

⑨名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が47.9%と最も多く、「大変満足」が24.7%で合わせた72.6%が満足と評価している。「普通」が25.8%であり、「やや不満」(1.3%)、「不満」(0.3%)は僅かである。

観光地点別にみると、満足と評価している割合は「名古屋城」と「ノリタケの森」の入込客では8割以上と高い。「熱田神宮」と「イベント会場」の入込客では「普通」が3割以上と比較的が多い。不満を感じる割合は総じて低い。

居住地別にみても、大きな差異はみられない。

性別にみると、男性より女性で満足度は高くなっている。

年齢別にみると、「大変満足」の割合は10歳代の若者では4割弱と高くなっている。

表 2-1-19 名古屋市外からの入込客の名古屋の印象・旅行の満足度（地点・地域・性別・年齢別）

(単位：%)

印象・満足度		大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計
観光地点	名古屋城	32.4	49.7	17.2	0.7	0.0	100.0
	熱田神宮	24.8	39.3	33.7	1.9	0.3	100.0
	ノリタケの森	29.5	52.6	17.0	0.7	0.2	100.0
	名古屋港水族館	23.7	49.4	25.7	0.7	0.5	100.0
	名古屋まつり	21.8	47.3	27.6	3.3	0.0	100.0
	イベント会場	15.5	47.4	35.2	1.5	0.4	100.0
地域	東海	22.1	46.1	29.8	1.7	0.3	100.0
	愛知県（名古屋市を除く）	21.5	46.7	29.8	1.8	0.2	100.0
	岐阜県	23.7	45.2	29.2	1.4	0.5	100.0
	三重県	24.1	41.3	33.0	1.6	0.0	100.0
	静岡県	20.3	50.4	25.5	2.3	1.5	100.0
	関東	27.8	53.6	17.8	0.8	0.0	100.0
	近畿	26.4	54.8	18.0	0.8	0.0	100.0
	北陸	19.2	56.1	24.7	0.0	0.0	100.0
	甲信越	28.8	43.9	25.8	0.0	1.5	100.0
その他	37.2	39.3	23.0	0.5	0.0	100.0	
性別	男性	19.9	48.3	29.6	2.0	0.2	100.0
	女性	29.2	47.5	22.4	0.6	0.3	100.0
年齢	10～19歳	37.4	43.1	17.9	1.6	0.0	100.0
	20～29歳	28.7	45.9	25.0	0.4	0.0	100.0
	30～39歳	25.1	47.2	26.1	1.2	0.4	100.0
	40～49歳	22.0	50.5	26.2	1.3	0.0	100.0
	50～59歳	17.2	51.6	27.9	2.2	1.1	100.0
	60～69歳	23.0	46.3	28.8	1.9	0.0	100.0
	70歳以上	28.0	48.5	22.0	1.5	0.0	100.0
全体		24.7	47.9	25.8	1.3	0.3	100.0

b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市以外からの入込客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」が 36.1%と最も高く、「お祭り・イベント」が 17.2%、「グルメ・なごやめし」が 16.9%、「産業観光・ものづくりの施設（産業記念館、ノリタケの森等）」が 15.2%「レジャー施設（動植物園、水族館等）」が 15.1%で続き、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が 10.4%となっている。

観光地点別にみると、当然ながら、訪れた施設についての割合は高く、特に「名古屋城」の入込客で評価は良好である。そのほか「名古屋城」や「熱田神宮」の入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が 2 割以上みられる。

訪れた観光地点に影響しない観光資源について、居住地別にみると、「関東」や「その他」、「近畿」からの入込客では「グルメ・なごやめし」の割合が比較的高く、「その他」や「北陸」、「東海」からの入込客では「ショッピングや街歩き」が 1 割以上みられる。

性別には大きな差異はみられない。

年齢別にみると、20 歳代では「グルメ・なごやめし」の割合が 2 割以上で、「ショッピングや街歩き」の割合は年齢が若いほど高くなっている。

表 2-1-20 名古屋市外からの入込客の満足した名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

（単位：％）

満足した観光資源		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	や観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
地点・地域・性別・年齢														
観光地点	名古屋城	75.4	5.4	4.7	9.2	27.0	4.5	3.8	10.5	1.1	8.9	150.5		
	熱田神宮	67.1	5.3	7.8	12.6	22.5	1.1	2.9	3.2	0.3	18.4	141.2		
	ノリタケの森	29.3	63.3	2.9	7.7	16.8	0.2	0.5	1.6	0.5	19.3	142.1		
	名古屋港水族館	12.1	3.9	61.7	12.8	11.4	2.7	2.2	1.9	0.0	17.4	126.1		
	名古屋まつり	24.7	3.7	3.3	14.8	18.1	48.1	2.9	2.9	0.4	18.9	137.8		
	イベント会場	7.5	3.1	7.5	7.8	7.5	54.5	3.1	2.3	0.4	22.2	115.9		
地域	東海	23.6	12.4	17.4	10.1	9.6	25.2	2.2	2.2	0.5	20.5	123.7		
	愛知県	22.1	11.4	15.3	9.0	8.8	25.9	1.7	2.1	0.7	22.8	119.8		
	岐阜県	22.8	14.2	19.6	11.9	10.0	24.2	4.1	2.3	0.0	18.3	127.4		
	三重県	22.5	13.6	17.8	13.6	12.0	27.7	2.6	2.1	0.5	17.8	130.2		
	静岡県	36.8	15.0	27.1	9.8	10.5	18.8	1.5	2.3	0.0	12.8	134.6		
	関東	62.9	18.6	7.7	9.0	32.6	4.2	5.6	8.8	0.3	11.1	160.8		
	近畿	39.6	24.0	11.6	7.6	25.2	7.6	0.4	6.0	0.4	17.6	140.0		
	北陸	39.7	15.1	26.0	15.1	16.4	4.1	2.7	4.1	0.0	15.1	138.3		
	甲信越	59.1	24.2	15.2	3.0	19.7	6.1	0.0	1.5	0.0	9.1	137.9		
その他	62.8	14.1	13.1	18.8	29.8	4.2	3.1	4.7	1.0	10.5	162.1			
性別	男性	31.6	10.4	15.4	10.1	15.0	23.1	2.3	4.1	0.3	19.3	131.6		
	女性	40.2	19.5	14.8	10.6	18.7	11.8	2.8	3.6	0.6	15.7	138.3		
年齢	10～19歳	35.0	8.1	24.4	18.7	13.8	13.8	2.4	7.3	0.8	14.6	138.9		
	20～29歳	38.2	9.4	23.1	14.1	22.4	10.5	4.3	7.1	0.0	12.5	141.6		
	30～39歳	32.0	8.2	18.3	9.9	17.5	18.9	3.3	3.7	0.8	16.6	129.2		
	40～49歳	29.5	16.0	11.5	9.0	16.3	26.0	1.8	3.3	0.5	19.5	133.4		
	50～59歳	37.7	26.5	6.6	8.5	14.8	18.6	1.4	1.6	0.3	18.9	134.9		
	60～69歳	40.1	23.3	9.1	6.5	12.0	15.9	1.3	1.6	0.6	23.6	134.0		
	70歳以上	50.0	19.7	9.1	6.8	14.4	15.2	0.8	0.8	0.8	19.7	137.3		
全体	36.1	15.2	15.1	10.4	16.9	17.2	2.5	3.8	0.5	17.4	135.1			

（複数回答）

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が不満を感じた名古屋の観光資源については、「特になし」が 91.3%と大半を占めている。個別の観光資源としては、「グルメ・なごやめし」が 1.9%で最も多い。

観光地点別にみると、「イベント会場」の入込客では「お祭り・イベント」や「グルメ・なごやめし」に不満を感じる人が若干みられ、不満は「特になし」の割合が 86.2%と相対的にやや低い。そのほかの入込客では不満を感じた観光資源で 3%に達するものはみられない。

居住地別にみると、不満を感じた割合は「甲信越」からの入込客で相対的に多い。

性別、年齢別には、大きな差異はみられない。

表 2-1-21 名古屋市外からの入込客の不満を感じた名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

(単位：%)

不満を感じた観光資源		施設	歴史的な	産業界観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	お祭り・イベント	コンサートや観劇鑑賞	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
地点・地域・性別・年齢															
観光地点	名古屋城	2.0	0.0	0.4	0.9	1.3	0.4	0.2	0.7	1.6	92.5	100.0			
	熱田神宮	1.9	0.0	0.5	0.5	2.7	0.0	0.8	1.1	1.9	90.6	100.0			
	ノリタケの森	0.2	0.5	0.2	0.5	0.9	0.0	0.0	0.7	3.4	93.6	100.0			
	名古屋港水族館	0.5	0.2	1.5	0.7	1.0	0.0	0.0	0.7	1.2	94.2	100.0			
	名古屋まつり	1.2	0.4	0.0	0.0	2.1	2.5	0.0	0.0	2.9	90.9	100.0			
	イベント会場	0.6	1.0	1.9	0.6	3.6	3.8	0.6	0.2	1.7	86.2	100.2			
地域	東海	1.3	0.5	0.9	0.3	1.8	1.5	0.2	0.5	1.6	91.4	100.0			
	愛知県	1.2	0.6	1.2	0.4	2.0	1.5	0.3	0.7	1.2	90.9	100.0			
	岐阜県	2.7	0.0	0.9	0.0	0.9	1.8	0.0	0.0	0.9	92.8	100.0			
	三重県	0.5	1.0	0.0	0.5	2.6	1.6	0.0	0.5	3.7	89.6	100.0			
	静岡県	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0	2.3	95.3	100.0			
	関東	0.5	0.0	0.3	1.1	0.5	0.3	0.0	0.8	2.1	94.4	100.0			
	近畿	0.4	0.0	0.4	0.0	2.8	0.0	0.4	0.4	4.4	91.2	100.0			
	北陸	0.0	0.0	2.7	0.0	2.7	1.4	0.0	0.0	0.0	93.2	100.0			
	甲信越	4.5	0.0	0.0	1.5	6.1	1.5	4.5	1.5	4.5	75.9	100.0			
	その他	0.0	1.0	1.6	2.1	2.6	1.0	0.0	1.0	2.1	89.0	100.4			
性別	男性	1.4	0.3	1.1	0.6	2.6	1.8	0.5	0.7	1.9	89.1	100.0			
	女性	0.7	0.5	0.6	0.6	1.3	0.4	0.1	0.5	2.2	93.1	100.2			
年齢	10～19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	1.6	0.0	96.0	100.0			
	20～29歳	1.3	0.7	0.9	1.4	1.6	0.5	0.2	1.3	3.1	89.2	100.2			
	30～39歳	1.2	0.4	1.8	0.4	2.9	1.8	0.0	0.0	1.9	89.6	100.0			
	40～49歳	0.8	0.5	0.5	0.5	3.5	2.3	0.5	0.0	2.5	88.9	100.0			
	50～59歳	1.4	0.0	0.5	0.3	0.8	0.3	0.5	1.1	1.9	93.2	100.0			
	60～69歳	1.0	0.3	0.6	0.3	0.3	1.0	0.6	0.3	0.6	95.0	100.7			
	70歳以上	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0	2.3	95.3	100.0			
全体	1.0	0.4	0.8	0.6	1.9	1.1	0.3	0.6	2.0	91.3	100.2				

(複数回答)

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの入込客が次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」と回答した割合は58.8%であり、「歴史的な施設」の割合が18.6%と最も多く、「レジャー施設」(13.4%)、「グルメ・なごやめし」(11.6%)、「ショッピングや街歩き」(9.6%)、「産業観光・ものづくり施設」(9.2%)、「お祭り・イベント」(9.0%)の順となっている。

観光地点別にみると、「名古屋港水族館」、「ノリタケの森」などの入込客では「歴史的な施設」が最も高くなっている。一方、「名古屋城」と「熱田神宮」の入込客では「レジャー施設」が最も高く、今回訪れた施設とは異なる種類の施設をあげているようである。

居住地別にみると、全ての地域で「歴史的な施設」が最も多い。次いで「北陸」からの入込客では「グルメ・なごやめし」、「その他」からの入込客では「お祭り・イベント」、「東海」やそのほかでは「レジャー施設」が第2位となっている。

性別にみると、女性の方が次回訪れてみたいと多くの観光資源をあげている。

年齢別にみると、20歳代では「レジャー施設」の割合が最も高くなっている。

表 2-1-22 名古屋市外からの入込客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地点・地域・性別・年齢別）

(単位：%)

訪れてみたい観光資源		歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	コンサートや観劇鑑賞	観戦スポーツ	その他	特になし	合計
地点・地域・性別・年齢												
観光地点	名古屋城	17.0	12.1	19.6	11.2	13.4	15.6	6.5	12.1	0.9	28.8	137.2
	熱田神宮	11.2	6.1	12.0	2.9	7.2	4.3	5.9	5.9	2.9	54.0	112.4
	ノリタケの森	25.6	12.7	11.6	9.3	19.0	5.4	2.7	3.4	2.0	34.7	126.4
	名古屋港水族館	26.9	6.8	12.3	14.8	10.2	9.2	5.8	10.4	0.2	41.6	138.2
	名古屋まつり	9.9	8.2	9.5	4.9	5.3	6.2	5.8	7.0	0.8	58.0	115.6
	イベント会場	16.8	8.4	13.2	11.3	10.9	10.9	10.3	7.5	0.6	39.6	129.5
地域	東海	17.9	7.7	12.0	10.8	10.6	7.7	7.2	7.2	0.9	45.0	127.0
	愛知県	17.3	8.6	12.1	10.5	10.7	6.7	6.6	7.6	0.6	45.8	126.5
	岐阜県	18.7	5.9	9.6	10.0	11.9	11.4	6.4	7.8	1.8	42.5	126.0
	三重県	15.7	7.3	11.5	11.5	9.4	7.3	13.6	7.9	2.1	45.0	131.3
	静岡県	24.1	5.3	16.5	12.8	9.0	9.0	3.8	3.0	0.0	43.6	127.1
	関東	19.6	14.1	18.6	6.6	14.6	13.0	5.0	9.5	1.3	30.5	132.8
	近畿	21.6	9.2	18.0	6.8	12.8	6.4	2.8	7.2	2.8	37.6	125.2
	北陸	20.5	8.2	5.5	6.8	15.1	6.8	6.8	6.8	4.1	43.8	124.4
	甲信越 その他	21.2 16.2	15.2 9.4	15.2 9.9	10.6 10.5	7.6 12.0	10.6 14.1	7.6 5.2	12.1 8.4	0.0 1.0	31.8 40.3	131.9 127.0
性別	男性	16.6	7.2	11.5	7.9	9.5	8.7	5.7	9.2	1.0	45.3	122.6
	女性	20.5	11.1	15.2	11.1	13.6	9.2	6.8	6.5	1.5	37.3	132.8
年齢	10～19歳	16.3	4.9	11.4	10.6	8.9	8.9	8.1	11.4	0.0	39.8	120.3
	20～29歳	17.5	9.8	18.3	12.5	16.1	13.4	7.4	10.7	0.9	35.1	141.7
	30～39歳	19.3	6.8	14.6	10.3	12.3	8.6	6.2	8.2	1.6	37.2	125.1
	40～49歳	22.8	11.3	15.8	10.3	12.8	9.8	7.3	9.0	1.5	36.3	136.9
	50～59歳	17.8	10.4	9.8	6.8	7.9	7.4	5.5	4.9	1.6	46.2	118.3
	60～69歳	14.9	10.4	7.4	5.8	8.7	3.9	4.5	3.9	1.3	51.8	112.6
	70歳以上	21.2	8.3	6.8	7.6	6.1	6.1	3.0	4.5	0.8	59.1	123.5
全体		18.6	9.2	13.4	9.6	11.6	9.0	6.3	7.8	1.3	41.2	128.0

(複数回答)

2-2 宿泊客の現状

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内に宿泊する人の来名目的や遊覧状況等について把握するためアンケート調査を実施した。

②調査日時等

●秋期調査：平成23年 11月1日～11月30日

●春期調査：平成24年 3月1日～3月31日

③調査方法

この調査は、予め調査票を宿泊施設の客室等に設置し、宿泊者が記入した上でフロントに提出するという方法で行った。

④調査宿泊施設

施設の区分（登録ホテル、ホテル、旅館）や施設の規模、立地場所を勘案して、以下の20施設に協力していただいた。

・登録ホテル 12施設

ウェスティンナゴヤキャッスル、名鉄グランドホテル、名古屋マリオットアソシアホテル、キャッスルプラザ、サイプレスガーデンホテル、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋、名古屋観光ホテル、名古屋東急ホテル、ヒルトン名古屋、名鉄ニューグランドホテル、東京第一ホテル錦、ホテルサンルートプラザ名古屋

・ホテル 4施設

名古屋国際ホテル、メルパルク名古屋、名古屋ガーデンパレス、KKRホテル名古屋

・登録旅館 1施設

つちやホテル

・旅館 3施設

旅館浅野屋、ホテル大名古屋温泉、松竹旅館

⑤調査件数

●秋 期：265 サンプル

●春 期：436 サンプル

●合 計：701 サンプル

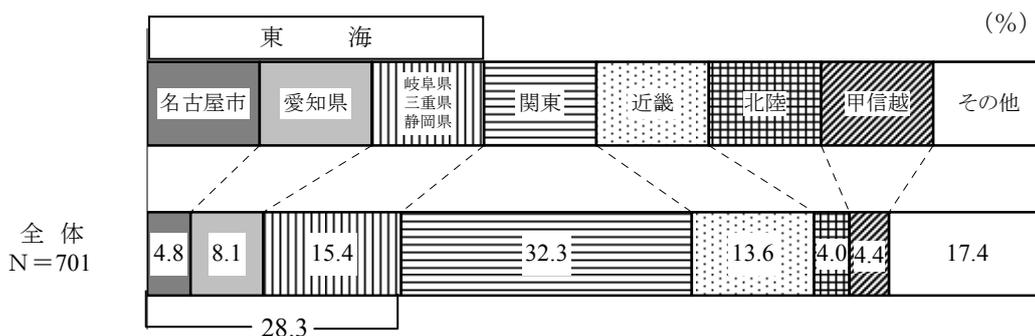
(2) 調査結果

①居住地構成、性・年齢構成

a. 居住地構成

宿泊客の居住地構成としては、全体では「名古屋市」が4.8%、「愛知県（名古屋市を除く）」が8.1%、「岐阜県、三重県、静岡県」が15.4%であり、合わせて「東海」地域が28.3%となっている。

「東海」地域外では、「関東」地域が32.3%と多く、「近畿」地域は13.6%、「甲信越」地域は4.4%、「北陸」地域は4.0%、その他の地域が17.4%である。



注：愛知県は名古屋市を除く

図 2-2-1 宿泊客の居住地構成

b. 性・年齢構成

年齢は、全体では「30～39歳」(27.2%)を中心に、「20～29歳」(20.6%)から「40～49歳」(21.4%)で69.2%と7割を占め、「50～59歳」(12.6%)、「60～69歳」(9.2%)、「10～19歳」(5.0%)、「70歳以上」(4.0%)の順となっている。

性別は、男性が48.4%、女性が51.6%と、男女半々である。

性別に宿泊客の年齢をみると、男性女性とも「30～39歳」が最も多く、次いで、男性では「40～49歳」、女性では「20～29歳」が多くなっている。

表 2-2-1 宿泊客の性・年齢構成

(単位：%)

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
全体	5.0	20.6	27.2	21.4	12.6	9.2	4.0	100.0
男性	3.3	15.5	26.4	23.7	13.7	12.8	4.6	48.4
女性	6.5	25.5	28.0	19.3	11.6	5.7	3.4	51.6

注：男性、女性別の合計の列は、性別の構成比率である。

②旅行の内容

a. 今回の主な目的

宿泊客の旅行目的としては、「観光施設の見学」(25.5%)をはじめ「観劇・コンサート」(8.2%)、「ショッピング」(6.1%)、「イベント」(6.1%)、「飲食」(5.4%)などの「観光・娯楽」の割合が合わせて55.4%と過半数を占め、「商用・公用」が12.3%、「帰省・冠婚葬祭」が10.3%、「大会・会議に参加」が4.4%となっている。

時系列にみると、「観光・娯楽」の割合は、増加傾向を呈しており、「商用・公用」、「大会・会議に参加」など仕事や公的な目的の割合は、ともに減少傾向を呈している。一方、「帰省・冠婚葬祭」は1割前後で推移している。

性別にみると、男性では「商用・公用」の割合も21.1%と比較的多い。一方、女性では「観光施設の見学」(24.8%)、「観劇・コンサート」(11.3%)などの観光・娯楽の割合が59.8%と高い。

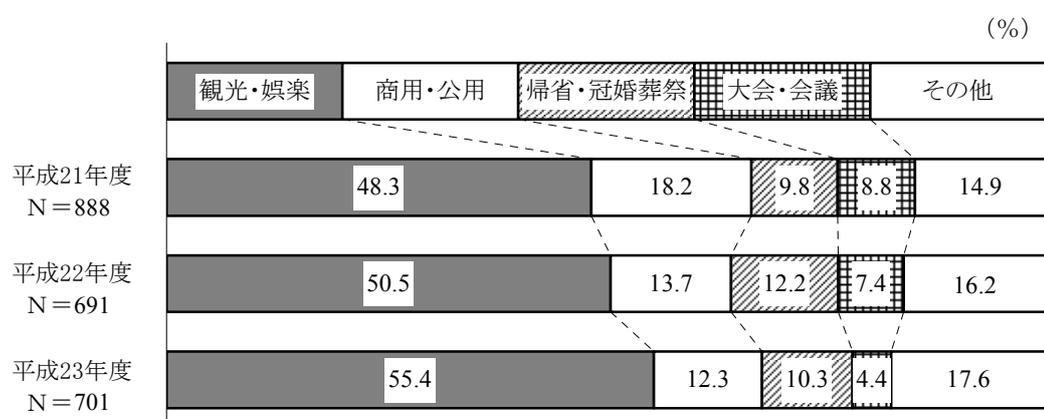


図 2-2-2 宿泊客の主な旅行目的と構成比の推移

表 2-2-2 宿泊客の旅行目的（性別）

(単位：%)

旅行目的	観光・娯楽						商用・公用	帰省・冠婚葬祭	大会・会議に参加	その他	合計
	観光施設の見学	ショッピング	観劇・コンサート	イベント	飲食	その他の娯楽行為					
性別											
男性	26.6	4.2	5.1	5.7	6.3	3.0	21.1	8.4	5.1	14.5	100.0
女性	24.8	7.9	11.3	6.8	4.2	4.8	3.9	11.8	3.9	20.6	100.0
全体	25.5	6.1	8.2	6.1	5.4	4.1	12.3	10.3	4.4	17.6	100.0

b. 名古屋を選んだきっかけ

「観光・娯楽」を目的として訪れた宿泊客（388人）の名古屋を選んだきっかけとしては、「インターネットホームページの情報から」（22.0%）が最も高く、以下「前に来たことがあり良かったから」（18.6%）、「友人・知人に薦められたから」（16.5%）、「雑誌・新聞をみて」（13.6%）と続いている。

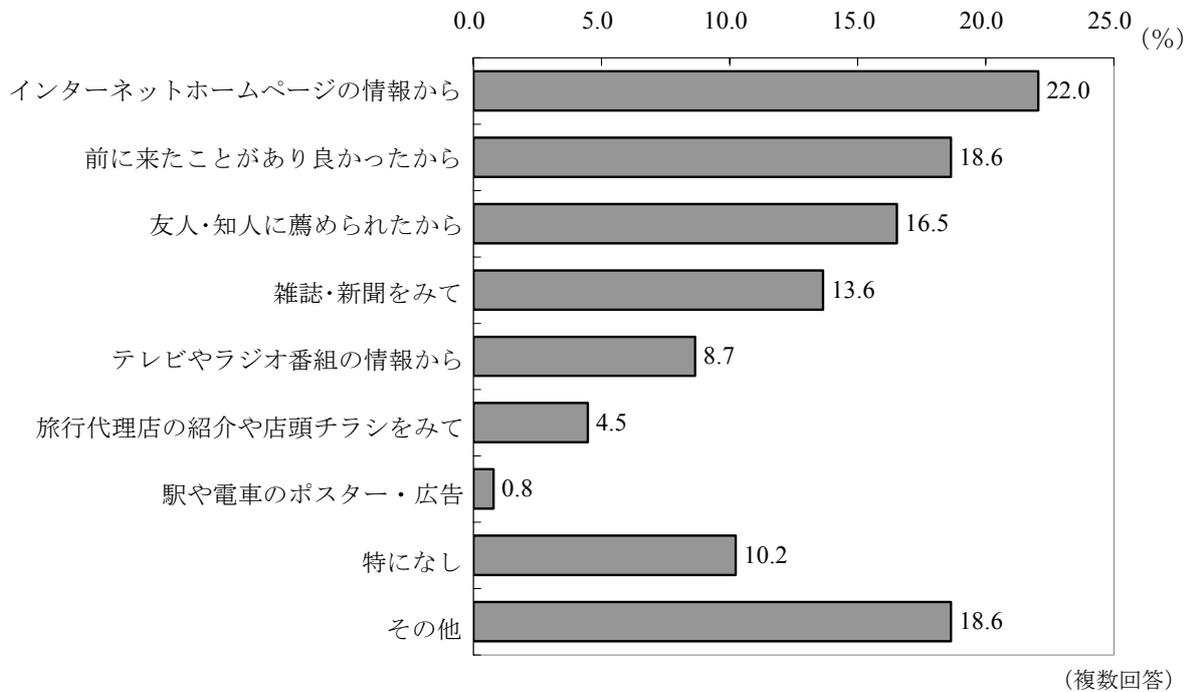


図 2-2-3 宿泊客の「観光・娯楽」で訪れたきっかけ

c. 訪問する主な観光施設

観光施設等を訪問すると回答した宿泊客は、全体の81.5%であり、訪問施設としては、全体では「名古屋城」が33.5%と最も多く、次いで「熱田神宮」(14.4%)、「ミッドランドスクエア」などの高層建築物(11.8%)が1割台である。以下、「リニア・鉄道館」(9.3%)、「名古屋港水族館」(7.1%)、「名古屋市科学館」(6.8%)、「テレビ塔」(6.0%)と、新たに開館した施設やリニューアルした施設などが続いており、宿泊客1人あたりの平均訪問施設数は1.45施設である。

居住地別にみると、観光施設等を訪問する割合には大きな差異はないものの、平均訪問施設数は「東海」より「東海以外」で2.9施設多くなっている。訪問施設としては、「東海」からの宿泊客では「ミッドランドスクエアなどの高層建築物」(23.3%)を訪れる割合が最も高い。一方、「東海以外」からの宿泊客では「名古屋城」(39.0%)のほか「熱田神宮」(17.1%)と歴史的な施設を訪れる割合が高い。

表 2-2-3 宿泊客の訪問先

(単位：%)

訪問施設	名古屋城	産業技術記念館	ノリタケの森	徳川美術館	徳川園	熱田神宮	白鳥庭園	東山動植物園	東山スカイタワー	テレビ塔	名古屋市美術館	愛知県美術館	名古屋ポストン美術館
東海	19.2	1.6	2.1	3.6	2.6	7.3	2.6	4.7	1.0	5.2	0.5	3.1	0.0
東海以外	39.0	5.7	4.5	4.7	4.1	17.1	1.2	3.9	1.2	6.3	1.0	1.0	0.6
全体	33.5	4.6	3.9	4.4	3.7	14.4	1.6	4.1	1.1	6.0	0.9	1.6	0.4

訪問施設	名古屋市科学館	でんきの科学館	名古屋市博物館	ランの館	名古屋港水族館	名古屋港	シートレインランド	有松・鳴海絞会館	ミッドランドスクエアなどの高層建築物	リニア・鉄道館	その他	なし	平均訪問施設数
東海	5.7	1.0	1.0	2.1	6.7	1.6	0.5	0.5	23.3	9.8	18.7	19.2	1.24
東海以外	7.3	0.8	0.4	1.2	7.3	2.0	0.6	0.0	7.5	9.1	26.2	18.3	1.53
全体	6.8	0.9	0.6	1.4	7.1	1.9	0.6	0.1	11.8	9.3	24.1	18.5	1.45

(複数回答)

注：平均訪問施設数の計算式：{訪れた施設の回答数及び訪れる予定の施設の回答数（「なし」の回答は除く）の合計数} / (全回答者数)

d. 旅行形態

全体では「友人・知人」(29.7%)が最も多く、「ひとり」は19.1%であり、「家族連れ」の割合は「家族(幼児や小学生連れ)」(15.6%)、「家族(夫婦)」(15.0%)など合わせて45.7%と半数近くを占めている。

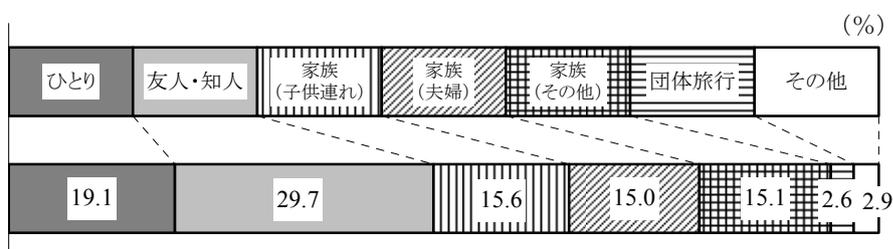


図 2-2-4 宿泊客の旅行形態

「パッケージ旅行」の割合は、全体では14.1%となっている。

居住地別にみると、「北陸」(26.9%)と「その他」の地域(23.7%)、「関東」(19.6%)からの宿泊客では2割以上が、「近畿」(10.9%)からの宿泊客でも1割が、パッケージ旅行を利用している。

表 2-2-4 宿泊客のパッケージ旅行利用有無(居住地別)

(単位: %)

地域	旅行形態	パッケージ旅行	パッケージ旅行ではない	合計
東海		2.1	97.9	100.0
名古屋市		0.0	100.0	100.0
愛知県(名古屋市を除く)		1.8	98.2	100.0
岐阜県・三重県・静岡県		3.0	97.0	100.0
関東		19.6	80.4	100.0
近畿		10.9	89.1	100.0
北陸		26.9	73.1	100.0
甲信越		3.3	96.7	100.0
その他		23.7	76.3	100.0
全体		14.1	85.9	100.0

③旅行費用

a. 旅行予算

宿泊客の旅行予算は、「10,000～30,000 円未満」が 53.3%と過半数を占め、次いで「30,000～50,000 円未満」(26.0%)、「50,000 円以上」(11.5%)、「5,000～10,000 円未満」(8.6%)となっている。

居住地別にみると、「その他」の地域からの宿泊客では「30,000～50,000 円未満」の割合が最も多い。そのほかの地域では「10,000～30,000 円未満」が最も多いものの、「関東」地域では 30,000 円以上も 4 割以上みられ、遠方からの宿泊客では高額な予算となっている割合が多い。

なお、旅行予算の平均額は 30,362 円であり、昨年度 (28,656 円) と比較して 1,706 円の増額となっている。

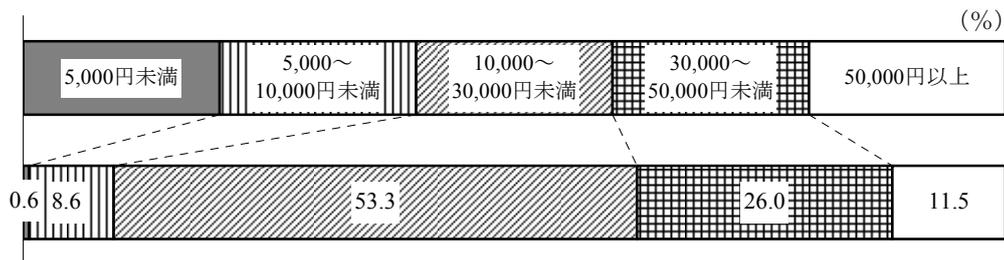


図 2-2-5 宿泊客の旅行予算

表 2-2-5 宿泊客の旅行予算 (居住地別)

(単位: %)

旅行予算	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額 (円)
地域							
東海	1.6	13.0	64.9	17.8	2.7	100.0	23,149
名古屋市	6.5	22.6	54.8	12.9	3.2	100.0	20,403
愛知県(名古屋市を除く)	1.9	7.5	64.1	20.8	5.7	100.0	25,991
岐阜県・三重県・静岡県	0.0	12.9	68.3	17.8	1.0	100.0	22,500
関東	0.0	8.9	48.6	28.9	13.6	100.0	32,138
近畿	0.0	7.7	72.5	17.6	2.2	100.0	23,764
北陸	0.0	7.7	69.3	19.2	3.8	100.0	25,000
甲信越	0.0	7.1	75.0	17.9	0.0	100.0	22,679
その他	0.9	2.6	22.6	41.7	32.2	100.0	45,565
全体	0.6	8.6	53.3	26.0	11.5	100.0	30,362

注：平均額の計算式：{(2,500 円) × (「5,000 円未満」の回答者数) + (7,500 円) × (「5,000～10,000 円未満」の回答者数) + (20,000 円) × (「10,000～30,000 円未満」の回答者数) + (40,000 円) × (「30,000～50,000 円未満」の回答者数) + (75,000 円) × (「50,000 円以上」の回答者数)} / (全回答者数)

b. 名古屋市内在予算

宿泊客に名古屋市内で使う金額を具体的に尋ねたところ、「10,000～20,000円未満」が38.3%と最も多く、次いで「20,000～30,000円未満」(26.7%)である。以下「30,000～50,000円未満」(14.6%)、「5,000～10,000円未満」(11.4%)、「50,000円以上」(5.2%)、「5,000円未満」(3.8%)となっており、平均額は18,548円である。

居住地別にみると、平均額は、「東海」、「関東」、「近畿」、「北陸」、「甲信越」からの宿泊客では16千円台～17千円台とほぼ横並びとなっている。一方、「その他」からの宿泊客では「20,000～30,000円未満」が最も多く、平均額も23,590円と高額になっている。

なお、平均額は、昨年度(19,978円)と比較して1,430円の減額となっている。

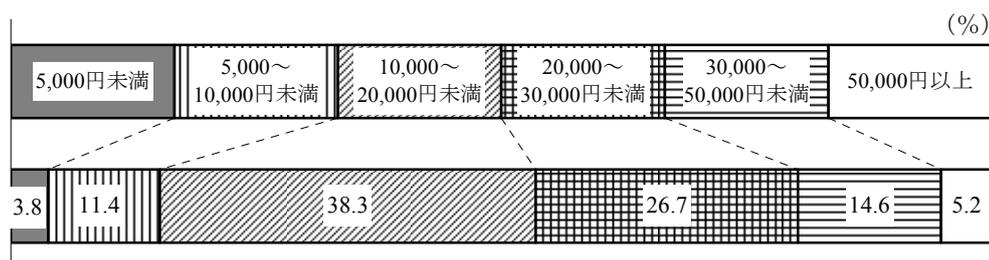


図 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算

表 2-2-6 宿泊客の名古屋市内予算 (居住地別)

(単位: %)

地域	旅行予算	5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～20,000円未満	20,000～30,000円未満	30,000～50,000円未満	50,000円以上	合計	平均額 (円)
東海		2.3	17.0	39.8	21.6	15.8	3.5	100.0	17,047
名古屋市		8.3	12.5	50.0	8.3	16.7	4.2	100.0	15,542
愛知県 (名古屋市を除く)		0.0	9.6	44.2	21.2	19.2	5.8	100.0	19,385
岐阜県・三重県・静岡県		2.1	22.1	34.7	25.3	13.7	2.1	100.0	16,147
関東		5.4	11.2	43.4	22.4	12.2	5.4	100.0	17,839
近畿		4.6	9.2	46.0	28.7	9.2	2.3	100.0	16,701
北陸		15.4	15.4	26.9	34.7	3.8	3.8	100.0	16,385
甲信越		0.0	7.1	42.9	35.7	14.3	0.0	100.0	17,679
その他		1.0	5.7	25.7	35.2	21.0	11.4	100.0	23,590
全体		3.8	11.4	38.3	26.7	14.6	5.2	100.0	18,548

c. 市内交通費

宿泊客の市内交通費は、全体では「1,000～3,000円未満」が41.6%と最も多く、次いで「1,000円未満」(23.8%)、「3,000～5,000円未満」(14.3%)、「5,000円以上」(11.4%)、「交通費はかからない」(8.0%)となっている。

居住地別にみると、名古屋市では「1,000円未満」の割合が高く、平均額は1,500円程度と低い。そのほかでは「1,000～3,000円未満」が最も多い。また、「甲信越」、「その他」からの宿泊客では「5,000円以上」も2割前後みられ、平均額は3千円前後と高額である。

なお、市内交通費の平均額は2,400円であり、昨年度(2,097円)と比較して303円の増額となっている。

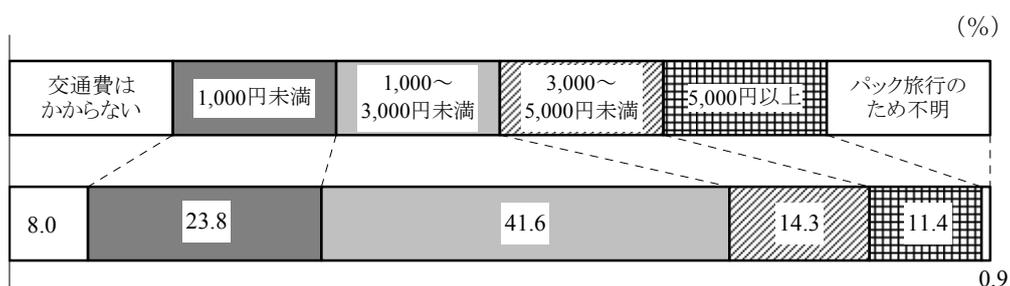


図 2-2-7 宿泊客の市内交通費

表 2-2-7 宿泊客の市内交通費（居住地別）

(単位：%)

地域	市内交通費						合計	平均額 (円)
	交通費はかからない	1,000円未満	1,000～3,000円未満	3,000～5,000円未満	5,000円以上	パック旅行のため不明		
東海	8.0	30.0	44.4	9.6	8.0	0.0	100.0	2,024
名古屋市	3.1	43.8	43.7	9.4	0.0	0.0	100.0	1,469
愛知県(名古屋市を除く)	9.4	26.4	49.1	5.7	9.4	0.0	100.0	2,047
岐阜県・三重県・静岡県	8.8	27.5	42.1	11.8	9.8	0.0	100.0	2,186
関東	8.0	24.4	41.3	14.5	9.9	1.9	100.0	2,313
近畿	8.7	26.1	45.6	12.0	7.6	0.0	100.0	2,092
北陸	11.5	26.9	30.8	23.1	7.7	0.0	100.0	2,250
甲信越	6.9	27.6	31.1	13.8	17.2	3.4	100.0	2,696
その他	7.1	10.7	40.2	18.8	22.3	0.9	100.0	3,311
全体	8.0	23.8	41.6	14.3	11.4	0.9	100.0	2,400

注：平均額の計算式： $\{(0 \text{円}) \times (\text{「交通費はかからない」の回答者数}) + (500 \text{円}) \times (\text{「1,000円未満」の回答者数}) + (2,000 \text{円}) \times (\text{「1,000～3,000円未満」の回答者数}) + (4,000 \text{円}) \times (\text{「3,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{円}) \times (\text{「5,000円以上」の回答者数})\} / \{(全回答者数) - (\text{「パック旅行のため不明」の回答者数})\}$

d. 市内での土産代

市内で土産を「購入する」割合は 82.4%であり、購入額は「2,000～5,000 円未満」が 37.3%と最も多く、以下「2,000 円未満」(22.4%)、「5,000～10,000 円未満」(15.4%)、「10,000 円以上」(7.3%)となっている。

居住地別にみると、「購入しない」と回答した割合は、「名古屋市」(43.7%) 居住の宿泊客で最も多く、「愛知県(名古屋市を除く)」(35.8%)、「岐阜県・三重県・静岡県」(29.1%)からの宿泊客でも比較的多い。東海以外の地域からの宿泊客では土産を購入する割合は 9 割前後を占めている。

購入額としては、平均額は、「その他」からの宿泊客が最も高額で、「甲信越」、「関東」と続いており、遠方からの宿泊客ほど購入金額が高い傾向がみられる。

なお、土産代の平均額は 4,153 円である。昨年度と比較して購入する割合(昨年度 74.8%)は 7.6 ポイント増加、平均額(同 3,987 円)は 166 円の増額となっている。

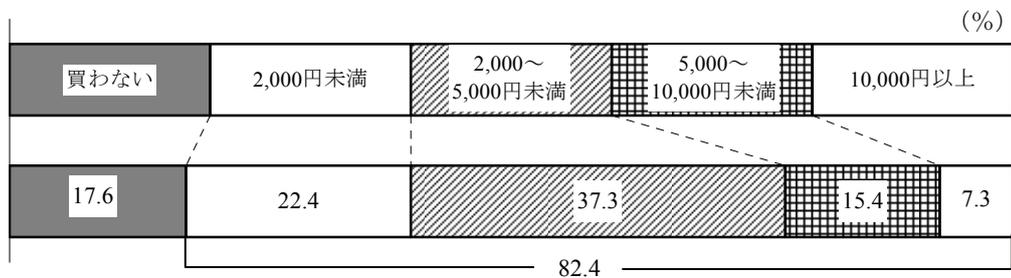


図 2-2-8 宿泊客の市内での土産代

表 2-2-8 宿泊客の市内での土産代(居住地別)

(単位: %)

地域	土産代					合計	平均額(円)
	買わない	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000円以上		
東海	33.5	25.5	32.5	6.4	2.1	100.0	2,295
名古屋市	43.7	18.8	31.3	3.1	3.1	100.0	2,141
愛知県(名古屋市を除く)	35.8	20.7	34.0	5.7	3.8	100.0	2,575
岐阜県・三重県・静岡県	29.1	30.1	32.0	7.8	1.0	100.0	2,199
関東	13.6	24.3	36.9	17.3	7.9	100.0	4,421
近畿	11.8	24.7	48.4	12.9	2.2	100.0	3,339
北陸	11.5	34.6	30.8	15.4	7.7	100.0	4,115
甲信越	13.8	13.8	37.9	20.7	13.8	100.0	5,776
その他	6.1	13.2	37.7	25.5	17.5	100.0	6,868
全体	17.6	22.4	37.3	15.4	7.3	100.0	4,153

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「買わない」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000 ～5,000 円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000 円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000 円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

e. 市内での食事代

市内での食事に係る支出は、全体では「2,000～5,000円未満」(36.9%)と「5,000～10,000円未満」(32.3%)が多く、以下「10,000～30,000円未満」(14.3%)、「2,000円未満」(12.8%)となっている。

居住地別にみると、「名古屋市」および「愛知県」と近郊からの宿泊客では「5,000～10,000円未満」の割合が40～45%と多い。また、「その他」からの宿泊客では、10,000円以上が3割みられ、平均額も10,000円を超えている。そのほかでは「2,000～5,000円未満」が4割程で最も多くなっている。

なお、食事代の平均額は7,470円であり、昨年度(7,585円)と比較して115円の減額となっている。

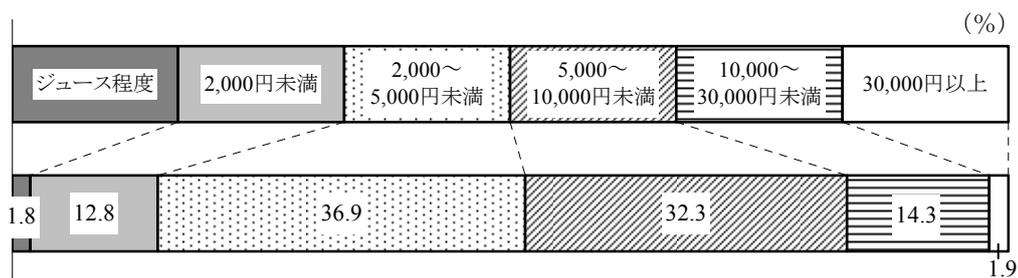


図 2-2-9 宿泊客の市内での食事代

表 2-2-9 宿泊客の市内での食事代 (居住地別)

(単位: %)

地域	市内食事代						合計	平均額 (円)
	ジュース程度	2,000円未満	2,000～5,000円未満	5,000～10,000円未満	10,000～30,000円未満	30,000円以上		
東海	2.7	18.3	33.8	35.5	8.6	1.1	100.0	6,180
名古屋市	6.5	25.8	19.4	45.1	3.2	0.0	100.0	4,968
愛知県 (名古屋市を除く)	0.0	17.0	28.3	39.6	15.1	0.0	100.0	7,151
岐阜県・三重県・静岡県	2.9	16.7	41.1	30.4	6.9	2.0	100.0	6,044
関東	0.9	10.1	41.0	30.0	16.2	1.8	100.0	7,747
近畿	3.3	12.1	43.9	27.5	11.0	2.2	100.0	6,797
北陸	0.0	11.5	38.5	38.5	11.5	0.0	100.0	6,654
甲信越	0.0	10.3	41.4	38.0	10.3	0.0	100.0	6,466
その他	1.8	11.6	24.1	33.0	25.0	4.5	100.0	10,223
全体	1.8	12.8	36.9	32.3	14.3	1.9	100.0	7,470

注: 平均額の計算式: $\{(0 \text{ 円}) \times (\text{「ジュース程度」の回答者数}) + (1,000 \text{ 円}) \times (\text{「2,000円未満」の回答者数}) + (3,500 \text{ 円}) \times (\text{「2,000～5,000円未満」の回答者数}) + (7,500 \text{ 円}) \times (\text{「5,000～10,000円未満」の回答者数}) + (20,000 \text{ 円}) \times (\text{「10,000～30,000円未満」の回答者数}) + (40,000 \text{ 円}) \times (\text{「30,000円以上」の回答者数})\} / (\text{全回答者数})$

f. 宿泊代

1泊あたりの宿泊代としては、「5,000～15,000円未満」が69.2%を占めていて、次いで「15,000～30,000円未満」（16.7%）となっている。

どの地域からの宿泊客においても「5,000～15,000円未満」が圧倒的に多い。

なお、1泊あたりの宿泊代の平均額は12,671円であり、昨年度（13,271円）と比較して600円の減額となっている。

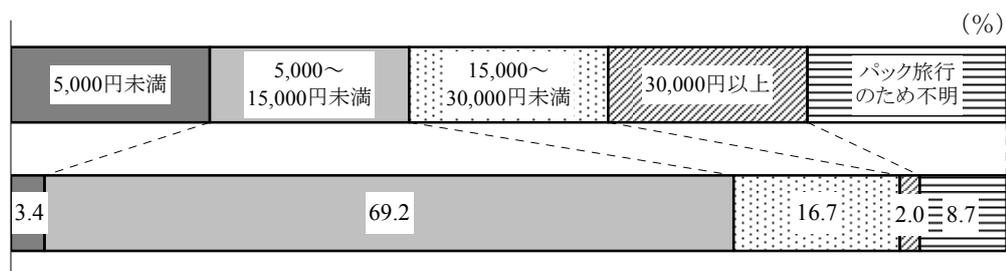


図 2-2-10 宿泊客の宿泊代

表 2-2-10 宿泊客の宿泊代（居住地別）

（単位：％）

地域	市内宿泊代					合計	平均額 (円)
	5,000円 未満	5,000～ 15,000円 未満	15,000～ 30,000円 未満	30,000円 以上	パック旅行 のため不明		
東海	3.6	73.8	21.4	0.6	0.6	100.0	12,605
名古屋市	8.0	76.0	16.0	0.0	0.0	100.0	11,400
愛知県（名古屋市を除く）	2.1	63.9	31.9	2.1	0.0	100.0	14,468
岐阜県・三重県・静岡県	3.1	78.2	17.7	0.0	1.0	100.0	12,000
関東	2.3	68.7	12.6	2.8	13.6	100.0	12,595
近畿	8.8	74.7	13.2	2.2	1.1	100.0	11,667
北陸	0.0	61.5	23.1	0.0	15.4	100.0	13,409
甲信越	0.0	82.8	17.2	0.0	0.0	100.0	12,155
その他	2.7	56.4	20.0	3.6	17.3	100.0	14,093
全体	3.4	69.2	16.7	2.0	8.7	100.0	12,671

注：平均額の計算式：{(2,500円)×(「5,000円未満」の回答者数)+(10,000円)×(「5,000～15,000円未満」の回答者数)+(22,500円)×(「15,000～30,000円未満」の回答者数)+(40,000円)×(「30,000円以上」の回答者数)} / {(全回答者数)-(「パック旅行のため不明」の回答者数)}

④来名回数（市外居住者が名古屋を訪れた回数）

居住地が名古屋市外の宿泊客 668 人の来名回数としては、「10 回以上」の割合が 32.4%と最も高い。今回「はじめて」の割合は 20.6%であり、以下「4～9 回目」（16.4%）、「2 回目」（15.6%）、「3 回目」（15.0%）となっている。

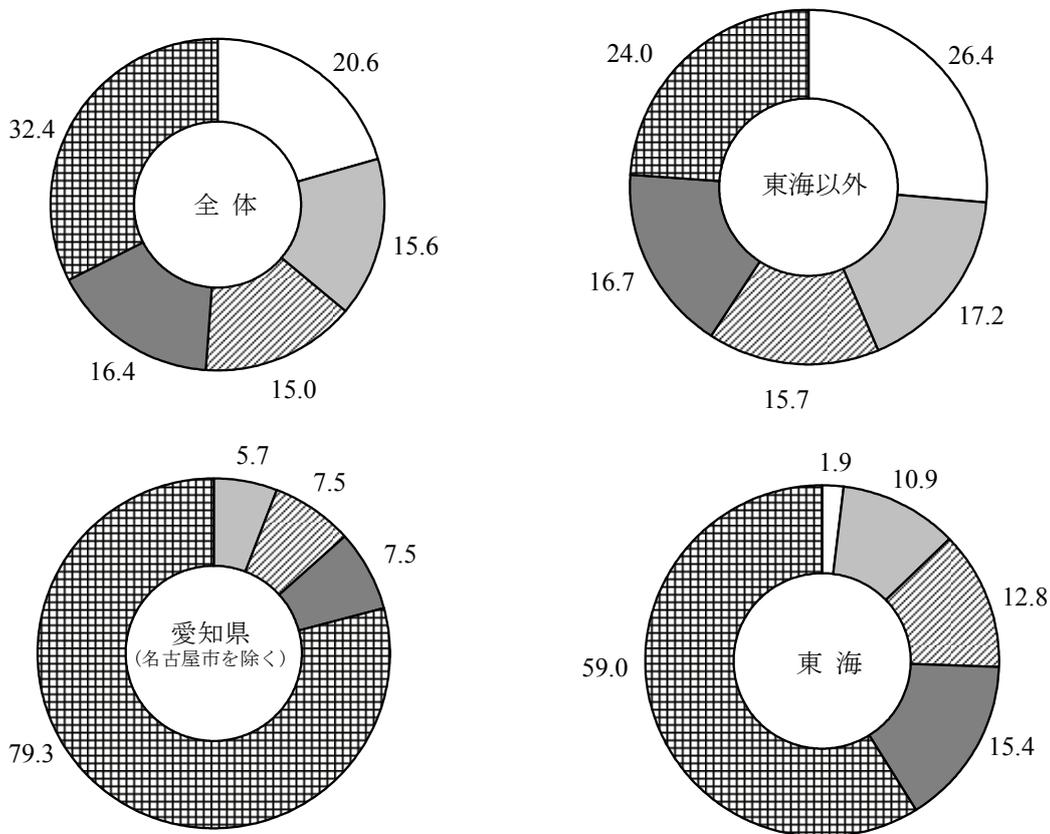
居住地別にみると、「東海」では「10 回以上」（59.0%）が 6 割近くを占め、「はじめて」の割合はごく僅かであるが、「東海以外」からの宿泊客では 26.4%が今回「はじめて」の来名である。

表 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

(単位：%)

地 域	回 数						合 計
	はじめて	2 回目	3 回目	4～9 回目	10 回以上		
東 海	1.9	10.9	12.8	15.4	59.0	100.0	
愛知県（名古屋市を除く）	0.0	5.7	7.5	7.5	79.3	100.0	
岐阜県・三重県・静岡県	2.9	13.6	15.5	19.4	48.6	100.0	
東海以外	26.4	17.2	15.7	16.7	24.0	100.0	
全 体	20.6	15.6	15.0	16.4	32.4	100.0	

□ はじめて ■ 2 回目 ▨ 3 回目 ■ 4～9 回目 ▩ 10 回以上



(単位：%)

図 2-2-11 名古屋市外からの宿泊客の来名回数

⑤交通機関

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋市までの主な交通手段は、「JR」が54.8%と最も多く過半数を占めている。次いで「自家用車」(27.0%)であり、「航空機」(7.4%)、「名鉄電車」(6.3%)、「近鉄電車」(6.0%)の順となっている。

居住地別にみると、「愛知県」、「静岡県」、「甲信越」からの宿泊客では「自家用車」が、「三重県」からの宿泊客では「近鉄電車」が、そのほかの地域では「JR」が最も多い。また、「その他」の地域からの宿泊客では「航空機」も比較的多い。

旅行形態別にみると、「幼児・小学生連れの家族」では「自家用車」が最も多い。

表 2-2-12 名古屋市外からの宿泊客の交通機関（居住地別・旅行形態別）

(単位：%)

地域・旅行形態		交通機関								合計	
		JR	名鉄電車	近鉄電車	自家用車	航空機	路線バス	観光バス	その他		
地 域	東海	34.8	14.8	14.2	38.1	0.0	1.3	0.0	1.3	104.5	
	愛知県（名古屋市を除く）	30.2	26.4	5.7	35.8	0.0	0.0	0.0	1.9	100.0	
	岐阜県	47.1	14.7	5.9	41.2	0.0	0.0	0.0	0.0	108.9	
	三重県	25.6	0.0	43.6	30.8	0.0	0.0	0.0	2.6	102.6	
	静岡県	41.4	13.8	0.0	48.3	0.0	6.9	0.0	0.0	110.4	
	関東	76.7	2.3	0.0	21.5	0.5	0.0	0.5	1.8	103.3	
	近畿	39.1	2.2	15.2	35.9	1.1	0.0	6.5	2.2	102.2	
	北陸	50.0	0.0	0.0	34.6	0.0	7.7	7.7	0.0	100.0	
	甲信越	31.0	0.0	3.4	51.8	0.0	3.4	3.5	6.9	100.0	
	その他	60.3	7.8	0.9	6.9	37.9	1.7	2.6	1.7	119.8	
旅 行 形 態	ひとり	70.2	8.3	7.4	9.9	7.4	1.7	0.0	0.8	105.7	
	友人・知人	56.8	10.8	9.2	19.5	3.2	2.2	2.2	3.2	107.1	
	家 族	幼児・小学生連れ	31.7	1.9	1.9	59.6	6.7	0.0	0.0	1.0	102.8
		夫婦	54.0	3.0	8.0	33.0	7.0	0.0	1.0	1.0	107.0
		その他	54.5	5.0	3.0	24.8	16.8	1.0	0.0	2.0	107.1
	団体旅行	47.1	0.0	0.0	23.5	0.0	0.0	35.3	0.0	105.9	
その他	68.4	5.3	0.0	15.8	10.5	0.0	15.8	5.3	121.1		
全 体		54.8	6.3	6.0	27.0	7.4	1.1	2.1	1.8	106.5	

(複数回答)

⑥名古屋以外の訪問地

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、「名古屋市以外にも訪問する」という回答の割合は27.7%であった。その方(176人)の訪問地としては、「長島温泉・湯の山・鈴鹿」(20.5%)が最も多く、「明治村・犬山」(17.6%)、「伊勢・志摩」(15.9%)、「岐阜・関ヶ原」(13.1%)、「知多・常滑・セントレア」(11.9%)、「豊田・岡崎・足助」(11.4%)、「長久手・モリコロパーク」(10.2%)と続いている。

表 2-2-13 名古屋市外からの宿泊客の名古屋市以外の訪問地

(単位：%)

訪問地	長島温泉・湯の山・鈴鹿	明治村・犬山	伊勢・志摩	岐阜・関ヶ原	知多・常滑・セントレア	豊田・岡崎・足助	長久手・モリコロパーク	豊橋・伊良湖	下呂・高山	多治見・恵那・中津川	瀬戸・小原	蒲郡・西浦・三谷	豊川・鳳来寺	その他
	20.5	17.6	15.9	13.1	11.9	11.4	10.2	8.0	8.0	4.5	4.0	2.8	0.6	9.1

(複数回答)

⑦旅行日程

居住地が名古屋市外の宿泊客のうち、旅行日程は、「2日」である割合が81.0%と最も多く、次いで「3日」が13.2%となっている。

居住地別にみると、「東海」、「近畿」、「北陸」、「甲信越」からの宿泊客では「2日」の割合は9割前後を占めている。一方、「3日以上」の割合は、「その他」(37.7%)からの宿泊客では4割程度、「関東」(19.2%)からの宿泊客でも2割みられる。

表 2-2-14 名古屋市外からの宿泊客の旅行日程

(単位：%)

日程	2日	3日	4日	5日以上	合計
地域					
東海	89.8	8.1	1.4	0.7	100.0
関東	80.8	15.1	3.2	0.9	100.0
近畿	85.7	12.1	2.2	0.0	100.0
北陸	85.2	14.8	0.0	0.0	100.0
甲信越	93.1	3.5	3.4	0.0	100.0
その他	62.3	19.3	7.9	10.5	100.0
全体	81.0	13.2	3.3	2.5	100.0

⑧市内での宿泊日数

居住地が名古屋市の外からの宿泊客の名古屋市内での宿泊日数は、「1泊」が82.9%と多く、「2泊」が13.1%となっている。

居住地別にみると、「甲信越」では全員、「東海」、「近畿」では9割が、名古屋市内で「1泊」である。一方、名古屋市内で「2泊以上」する割合は、「その他」からの宿泊客では32.5%と3割以上みられる。

表 2-2-15 名古屋市の外からの宿泊客の市内での宿泊日数

(単位：%)

地域	市内宿泊数	1泊	2泊	3泊	4泊以上	合計
東海		89.1	8.2	2.0	0.7	100.0
関東		82.1	15.2	1.8	0.9	100.0
近畿		90.0	7.8	2.2	0.0	100.0
北陸		85.2	14.8	0.0	0.0	100.0
甲信越		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他		67.5	21.1	7.9	3.5	100.0
全体		82.9	13.1	2.8	1.2	100.0

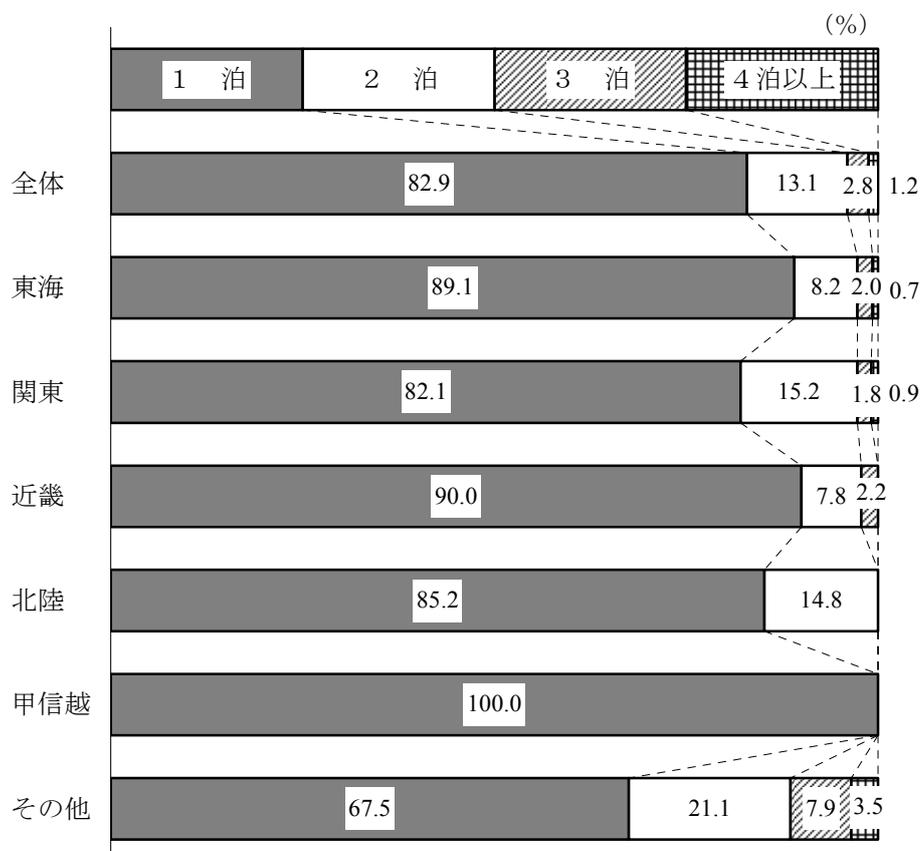


図 2-2-12 名古屋市の外からの宿泊客の市内での宿泊日数

⑨名古屋の観光の評価

a. 名古屋の印象・旅行の満足度

居住地が名古屋市外の宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度としては、全体では「ほぼ満足」が52.5%と過半数を占め、「大変満足」(18.3%)を合わせた70.8%が満足と評価している。「普通」が27.3%であり、「やや不満」(1.6%)、「不満」(0.3%)は僅かである。

居住地別にみると、満足と評価する割合は「甲信越」(82.1%)、「愛知県」(77.4%)、「北陸」(76.0%)などからの宿泊客で高い。一方、「岐阜県」(53.0%)、「三重県」(60.5%)からの宿泊客では相対的に低く、「普通」が4割前後みられる。

性別にみると、男性より女性で満足度は高い。

年齢別にみると、「大変満足」という高い評価の割合は、年齢が若いほど高くなっている。

旅行形態別にみると、「ひとり」では「普通」が最も多くなっている。

表 2-2-16 名古屋市外からの宿泊客の名古屋の印象・旅行の満足度（地域・性別・年齢・旅行形態別）

(単位：%)

印象・満足度		地域・性別・年齢・旅行形態	大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	合計	
地 域	東 海		18.8	48.7	31.2	0.7	0.6	100.0	
		愛知県 (名古屋市を除く)	30.2	47.2	22.6	0.0	0.0	100.0	
		岐阜県	11.8	41.2	44.1	2.9	0.0	100.0	
		三重県	15.8	44.7	36.9	0.0	2.6	100.0	
		静岡県	10.3	65.6	24.1	0.0	0.0	100.0	
		関 東	16.4	52.6	28.2	2.8	0.0	100.0	
		近 畿	20.4	53.8	24.7	1.1	0.0	100.0	
		北 陸	16.0	60.0	24.0	0.0	0.0	100.0	
		甲信越	14.3	67.8	14.3	3.6	0.0	100.0	
	その他	22.1	48.7	27.4	0.9	0.9	100.0		
性 別	男 性		13.9	52.5	30.4	2.6	0.6	100.0	
	女 性		22.2	53.2	24.3	0.3	0.0	100.0	
年 齢	10～19歳		30.0	50.0	20.0	0.0	0.0	100.0	
	20～29歳		25.6	50.4	23.2	0.8	0.0	100.0	
	30～39歳		19.3	54.4	23.4	2.3	0.6	100.0	
	40～49歳		17.0	46.7	34.1	2.2	0.0	100.0	
	50～59歳		11.1	60.5	28.4	0.0	0.0	100.0	
	60～69歳		10.2	50.8	37.3	0.0	1.7	100.0	
	70歳以上		7.7	69.2	19.3	3.8	0.0	100.0	
旅 行 形 態	ひとり		12.2	40.9	44.3	2.6	0.0	100.0	
	友人・知人		19.5	55.7	23.2	1.6	0.0	100.0	
	家 族	幼児・小学生連れ		21.6	58.8	17.6	2.0	0.0	100.0
		夫婦		14.7	55.8	27.4	1.0	1.1	100.0
		その他		21.0	52.0	26.0	0.0	1.0	100.0
	団体旅行		11.8	82.3	5.9	0.0	0.0	100.0	
	その他		27.8	38.9	33.3	0.0	0.0	100.0	
全 体			18.3	52.5	27.3	1.6	0.3	100.0	

b. 満足した名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客が満足した名古屋の観光資源としては、全体では「グルメ・なごやめし」（38.0%）と「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」（34.5%）が多く、次いで「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」（25.9%）となっている。

「その他」からの宿泊客や50歳代以上、「その他の家族」、「団体旅行」では「歴史的な施設」が、「甲信越」からの宿泊客や「幼児・小学生連れ」の家族では「レジャー施設（動植物園・水族館等）」が、10歳代や「ひとり」では「特になし」が最も高い。そのほかの階層では「グルメ・なごやめし」が最も高く、特に20歳代や「友人・知人」では半数近くがあげている。

満足度別にみると、満足度が高いほど多くの観光資源をあげている。

表 2-2-17 宿泊客の満足した名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		満足した観光資源	歴史的な施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	23.8	5.3	15.9	29.1	37.1	9.3	8.6	3.3	3.3	13.9	149.6			
	愛知県	24.5	5.5	10.9	36.4	40.0	10.9	10.9	3.6	5.5	10.9	159.1			
	岐阜県	23.5	0.0	5.6	19.4	30.6	13.9	8.3	0.0	5.6	30.6	137.5			
	三重県	16.7	12.5	20.0	27.5	30.0	5.0	10.0	0.0	0.0	25.0	146.7			
	静岡県	32.1	0.0	27.6	20.7	37.9	3.4	0.0	10.3	0.0	10.3	142.3			
	関東	39.5	6.3	5.0	21.7	42.1	2.7	10.4	5.0	2.7	23.5	158.9			
	近畿	34.5	10.8	9.7	20.4	41.9	2.2	4.3	4.3	3.2	23.7	155.0			
	北陸	25.0	14.8	25.9	18.5	29.6	0.0	3.7	0.0	0.0	29.6	147.1			
性別	甲信越	25.9	3.3	30.0	23.3	30.0	6.7	16.7	6.7	10.0	16.7	169.3			
	その他	43.5	5.9	12.6	27.7	22.7	2.5	0.8	3.4	7.6	21.0	147.7			
	男性	31.4	10.0	11.7	18.4	36.5	4.0	5.0	4.3	5.0	18.7	145.0			
	女性	37.4	5.1	12.8	32.9	39.6	5.4	10.5	4.5	3.8	12.8	164.8			
	年齢	10～19歳	25.0	3.6	17.9	25.0	21.4	0.0	7.1	3.6	3.6	42.9	150.1		
		20～29歳	31.3	3.1	10.2	32.0	48.4	5.5	11.7	6.3	0.8	10.2	159.5		
		30～39歳	33.9	10.1	17.9	22.6	41.1	4.8	6.5	6.0	6.0	11.3	160.2		
		40～49歳	34.4	5.3	13.7	26.7	38.2	6.9	7.6	3.8	2.3	14.5	153.4		
50～59歳		40.0	14.7	6.7	30.7	38.7	1.3	8.0	1.3	4.0	14.7	160.1			
60～69歳		38.9	7.4	5.6	16.7	18.5	5.6	3.7	1.9	7.4	27.8	133.5			
70歳以上		45.8	8.3	4.2	16.7	20.8	4.2	8.3	0.0	16.7	29.2	154.2			
旅行形態	ひとり	22.4	4.7	1.9	17.8	26.2	1.9	5.6	5.6	4.7	36.4	127.2			
	友人・知人	33.3	6.7	7.8	28.3	46.7	5.6	13.9	5.0	3.9	9.4	160.6			
	家族	子ども連れ	27.2	6.8	36.9	20.4	31.1	3.9	1.0	5.8	4.9	18.4	156.4		
		夫婦	40.2	10.9	10.9	30.4	44.6	8.7	8.7	2.2	7.6	6.5	170.7		
		その他	52.1	8.3	12.5	33.3	35.4	4.2	7.3	2.1	2.1	10.4	167.7		
	団体旅行	60.0	26.7	0.0	13.3	40.0	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7	153.4			
	その他	22.2	0.0	0.0	16.7	44.4	5.6	5.6	5.6	5.6	22.2	127.9			
満足度	大変満足	34.9	6.8	15.3	30.5	49.2	5.9	11.9	5.1	5.9	11.9	177.4			
	ほぼ満足	40.2	9.5	13.9	25.4	37.9	4.1	6.5	4.4	4.7	16.0	162.6			
	普通	23.9	4.0	5.1	17.6	23.3	3.4	5.7	3.4	1.1	37.5	125.0			
	やや不満＋不満	27.3	0.0	0.0	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0	27.2	100.0			
全体	34.5	7.6	12.4	25.9	38.0	4.7	7.8	4.4	4.4	15.6	155.3				

（複数回答）

c. 不満を感じた名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客が不満を感じた名古屋の観光資源としては、「特になし」が 84.5%を占めている。不満を感じた個別の観光資源としては、「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」の割合が一番高いものの3.4%にすぎない。

各属性別にみても、「北陸」からの宿泊客で「グルメ・なごやめし」（11.1%）が1割以上みられるだけで、そのほかに1割に達するものはみられない。

満足度別にみると、普通以上の評価をした方では5%に達するものはみられず、不満とした方でも特に意見が集中した観光資源はみられない。

表 2-2-18 宿泊客の不満を感じた名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

地域・性別・年齢・旅行形態・満足度		不満を感じた観光資源	施設	歴史的な	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計	
地域	東海	2.7	1.4	4.8	3.4	2.7	0.7	2.1	1.4	0.7	82.2	102.1					
	愛知県	4.0	1.8	5.5	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	85.5	100.4					
	岐阜県	5.9	0.0	8.3	2.8	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	83.3	105.9					
	三重県	0.0	2.5	0.0	2.5	2.5	2.5	0.0	0.0	2.5	87.5	100.0					
	静岡県	0.0	0.0	3.4	6.9	6.9	0.0	3.4	6.9	0.0	75.9	103.4					
	関東	0.5	1.8	1.4	4.5	4.1	0.5	0.0	1.4	2.7	84.2	101.1					
	近畿	2.5	1.1	1.1	3.2	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1	90.3	101.5					
	北陸	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.9	100.0					
	甲信越	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	90.0	100.0					
その他	1.0	2.5	1.7	1.7	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	89.1	101.8					
性別	男性	1.7	1.7	2.8	4.5	3.5	0.7	1.0	1.0	2.1	83.0	102.0					
	女性	1.0	1.7	1.7	2.4	3.0	0.3	0.0	0.7	3.7	86.2	100.7					
年齢	10～19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	3.6	0.0	7.1	85.7	100.0					
	20～29歳	1.6	3.9	1.6	5.5	1.6	0.0	0.8	1.6	1.6	83.5	101.7					
	30～39歳	1.9	0.6	3.2	3.8	5.1	0.6	0.0	0.6	5.1	81.0	101.9					
	40～49歳	0.8	0.8	2.5	2.5	2.5	0.8	0.0	0.0	2.5	88.4	100.8					
	50～59歳	1.3	0.0	1.3	1.3	5.3	1.3	1.3	2.7	1.3	85.3	101.1					
	60～69歳	0.0	4.2	0.0	4.2	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	89.5	100.0					
	70歳以上	4.3	4.3	8.7	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	78.3	104.2					
旅行形態	ひとり	1.0	0.0	1.0	2.9	2.9	1.0	1.0	1.0	3.8	86.5	101.1					
	友人・知人	1.7	1.7	2.3	4.0	4.6	0.6	1.2	1.7	2.3	80.9	101.0					
	家族	子ども連れ	1.0	0.0	4.1	3.1	2.0	0.0	0.0	0.0	4.1	88.8	103.1				
		夫婦	3.5	1.2	1.2	3.5	3.5	1.2	0.0	0.0	3.5	84.9	102.5				
		その他	0.0	4.5	3.4	2.2	2.2	0.0	0.0	1.1	2.3	84.3	100.0				
	団体旅行	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.3	100.0					
その他	0.0	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	100.0						
満足度	大変満足	2.0	1.7	1.7	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	1.7	90.7	100.3					
	ほぼ満足	0.6	0.6	1.8	3.3	2.7	0.9	0.6	1.2	3.0	87.0	101.7					
	普通	2.0	1.7	1.1	4.0	4.0	0.0	0.6	0.0	2.3	85.2	100.9					
	やや不満+不満	10.0	20.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	120.0					
全体	1.4	1.7	2.2	3.4	3.2	0.5	0.5	1.0	2.9	84.5	101.3						

（複数回答）

d. 次回訪れてみたい名古屋の観光資源

名古屋市外からの宿泊客では次回訪れてみたい名古屋の観光資源が「ある」とした割合は75.8%であり、具体的には「歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）」（26.8%）の割合が最も高く、「レジャー施設（動植物園・水族館等）」（22.2%）、「産業観光・ものづくりの施設（産業記念館・ノリタケの森等）」（18.0%）と観光施設が上位を占めている。

「愛知県」と「近畿」からの宿泊者や20歳代以下の若者、「幼児や小学生連れ」の家族では、「レジャー施設」が、70歳以上では「産業観光・ものづくりの施設」が、「北陸」からの宿泊客では「都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須）」が、「団体旅行」では「お祭り・イベント」が最も高く、そのほかの階層では「歴史的な施設」が最も高い。

表 2-2-19 宿泊客の次回訪れてみたい名古屋の観光資源（地域・性別・年齢・旅行形態・満足度別）

（単位：％）

訪れてみたい観光資源		施設	産業観光・ものづくり施設	レジャー施設	ショッピングや街歩き	グルメ・なごやめし	お祭り・イベント	観劇鑑賞	コンサート	観戦	スポーツ	その他	特になし	合計
地域	東海	25.8	9.9	20.5	11.3	11.3	16.6	18.5	14.6	2.6	22.5	153.6		
	愛知県	20.8	10.9	25.5	5.5	5.5	16.4	21.8	20.0	3.6	18.2	148.2		
	岐阜県	20.6	5.6	19.4	16.7	11.1	8.3	11.1	11.1	2.8	38.9	145.6		
	三重県	34.3	12.5	10.0	12.5	7.5	15.0	20.0	2.5	2.5	35.0	151.8		
	静岡県	31.0	6.9	20.7	10.3	24.1	24.1	13.8	20.7	0.0	17.2	168.8		
	関東	25.0	21.7	20.4	10.4	18.1	16.7	5.9	9.5	2.3	33.5	163.5		
	近畿	27.4	12.9	29.0	14.0	16.1	9.7	6.5	5.4	2.2	28.0	151.2		
	北陸	33.3	14.8	22.2	37.0	25.9	14.8	7.4	7.4	0.0	22.2	185.0		
	甲信越	32.1	26.7	16.7	26.7	13.3	3.3	10.0	20.0	3.3	23.3	175.4		
その他	27.6	18.5	15.1	5.9	11.8	12.6	7.6	5.9	5.0	35.3	145.3			
性別	男性	23.6	18.9	18.2	13.8	13.8	12.5	6.4	10.8	3.0	31.3	152.3		
	女性	29.8	17.3	26.3	13.5	19.2	17.9	13.8	9.6	3.2	17.6	168.2		
年齢	10～19歳	21.4	14.3	46.4	7.1	10.7	28.6	7.1	3.6	0.0	25.0	164.2		
	20～29歳	22.5	11.6	25.6	8.5	10.9	17.8	6.2	13.2	0.8	27.9	145.0		
	30～39歳	29.3	20.4	26.3	16.8	20.4	16.8	7.8	8.4	2.4	22.2	170.8		
	40～49歳	31.3	18.8	21.1	14.1	16.4	10.2	16.4	15.6	4.7	21.1	169.7		
	50～59歳	25.7	13.5	12.2	13.5	18.9	12.2	16.2	6.8	6.8	24.3	150.1		
	60～69歳	30.2	26.4	11.3	22.6	24.5	18.9	5.7	3.8	0.0	20.8	164.2		
	70歳以上	19.2	34.6	11.5	7.7	7.7	7.7	7.7	11.5	11.5	34.6	153.7		
旅行形態	ひとり	25.2	14.4	9.9	16.2	19.8	8.1	8.1	8.1	2.7	33.3	145.8		
	友人・知人	27.0	14.0	24.2	11.8	12.4	18.0	7.9	10.7	2.2	23.6	151.8		
	家族	子ども連れ	31.4	22.5	35.3	17.6	22.5	17.6	6.9	11.8	2.0	16.7	184.3	
		夫婦	29.2	24.7	22.5	15.7	20.2	15.7	15.7	11.2	4.5	19.1	178.5	
		その他	23.2	18.9	21.1	9.5	12.6	12.6	15.8	10.5	6.3	27.4	157.9	
	団体旅行	13.3	20.0	26.7	13.3	6.7	33.3	6.7	13.3	0.0	13.3	146.6		
その他	33.3	16.7	11.1	5.6	16.7	16.7	11.1	0.0	0.0	27.8	139.0			
満足度	大変満足	38.3	20.3	30.5	13.6	18.6	21.2	15.3	12.7	5.9	22.0	198.4		
	ほぼ満足	24.4	18.0	22.5	13.6	16.9	15.1	10.4	9.5	2.4	26.3	159.1		
	普通	23.7	11.4	10.8	10.2	9.7	8.0	4.0	8.0	1.7	43.2	130.7		
	やや不満＋不満	36.4	36.4	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	18.2	9.1	9.1	127.4		
全体	26.8	18.0	22.2	13.6	16.5	15.2	10.1	10.5	3.1	24.2	160.2			

（複数回答）

2-3 宿泊施設調査

(1) 調査の概要

①調査の目的

市内宿泊施設の概要ならびに宿泊者数を把握することにより、今後の本市観光推進のための基礎資料とすることを目的に、平成23年度における市内宿泊施設の現況を調査した。

②調査対象・方法

平成22年度調査により把握した市内宿泊施設から廃止した施設を除き、平成23年度新規開業した施設を加え、174施設を今回の調査対象とした。

なお、旅館業法にもとづく許可施設のうち、簡易宿所、下宿営業の施設、風俗関連営業の施設や宿泊客を受け入れていない料理旅館などを除いたものを調査対象とした。

調査にあたっては、対象施設に対して調査票を郵送し、回収した上で電話による補足調査を行った。

③調査項目（巻末調査票参照）

- 施設のタイプ（ホテル、旅館、簡易宿所、下宿）
- タイプ別（和・洋室）の室数及び定員数
- 平成23年度の宿泊客数（実人数、延べ人数、外国人宿泊客を含む）
- 国別、宿泊客数
- 修学旅行団体の受入内容

④調査時期及び回答状況

- 調査時期：平成23年5月～6月
- 回答状況：調査対象数 174施設
有効回答数 170施設
(全問回答 57施設、準全問回答 44施設、部分回答 69施設)
廃休業数 4施設
新規開業数 1施設

(2) 宿泊施設の現状

①回答状況及び集計方法

今回の調査対象とした174（平成23年度新規開業した1施設を含む）施設のうち、調査で廃休業などが判明した4施設を除く170施設を有効回答数とした。

有効回答数のうち、全問回答が得られたのは57施設（対有効回答数比33.5%）、準全問回答（宿泊者数の回答有り）が得られたのは44施設（対有効回答数比25.9%）、部分回答が得られたのは69施設（対有効回答数比40.6%）であった。

施設のタイプについては、以下の分類区分を基本とした。

- ・登録ホテル：国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル
- ・ホテル：洋室の収容人数もしくは室数のいずれかが全体の過半数を占める施設で、上記登録ホテルを除いた施設
- ・旅館：和室の収容人数並びに室数が全体の過半数を占める施設

また、ホテルについて、室数（規模）をもとに以下の区分を行った。

- ・ホテル：200室以上、100室以上200室未満、50室以上100室未満、50室未満の4区分

表 2-3-1 回答状況（タイプ、規模別）

施設規模	回答状況	有効回答数				廃休業等 (施設)	新規開業 (施設)	対象施設数 (施設)
		計 (施設)	全問回答 (施設)	準全問回答 (施設)	部分回答 (施設)			
登録ホテル		16	7	4	5	0	(0)	16
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	32	15	12	5	0	(1)	32
	100室以上200室未満	37	12	12	13	0	(0)	37
	50室以上100室未満	27	8	10	9	1	(0)	28
	50室未満	17	5	2	10	0	(0)	17
計		113	40	36	37	1	(1)	114
旅館		41	10	4	27	3	(0)	44
全体		170	57	44	69	4	(1)	174
回収率：(%)		97.7	-	-	-	2.3	-	100.0
回答状況：(%)		100.0	33.5	25.9	40.6	-	(0.6)	-

注：新規開業は内数値のため、() となっている。

②施設の室数及び収容人数

今回の調査結果から得られた施設分類別の宿泊施設数、室数、収容人数は下表の通りである。

施設数では、登録ホテルが16施設、登録ホテルを除くホテルは113施設、旅館は41施設となっている。また、室数の合計は21,650室、収容人数の合計は30,445人で、昨年度調査時点より合計施設数では3施設の増加、部屋数では548室、収容人数では853人の増加となった。

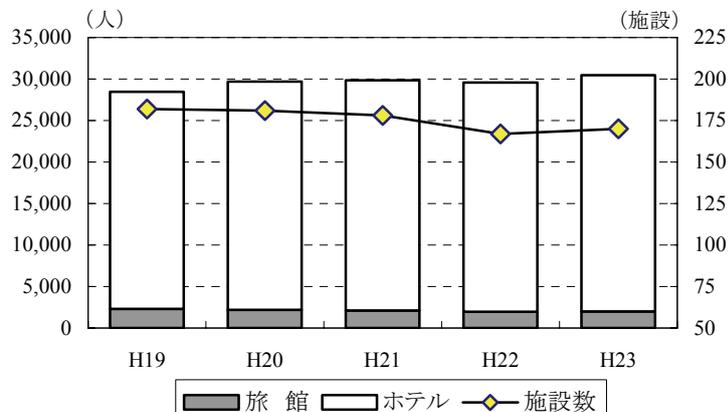
表 2-3-2 市内宿泊施設の規模別にみた室数及び収容人数（タイプ、規模別）

施設規模	室・人員	回答数 (施設)	和 室		洋 室		合 計	
			室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)	室数 (室)	収容人数 (人)
登録ホテル		16	17	55	4,885	7,560	4,902	7,615
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	32	13	50	8,257	10,078	8,270	10,128
	100室以上 200室未満	37	9	27	5,182	6,957	5,191	6,984
	50室以上 100室未満	27	26	85	2,044	2,847	2,070	2,932
	50室未満	17	54	157	452	632	506	789
	計	113	102	319	15,935	20,514	16,037	20,833
旅館		41	624	1,859	87	138	711	1,997
全 体		170	743	2,233	20,907	28,212	21,650	30,445

表 2-3-3 市内宿泊施設の収容能力の推移

施設区分	平成 19 年度		平成 20 年度		平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度	
	室 数	収容人数								
登録ホテル	5,952	8,995	5,952	9,054	5,952	9,064	4,918	7,688	4,902	7,615
ホ テ ル	13,894	17,154	14,753	18,449	15,006	18,678	15,501	19,948	16,037	20,833
旅 館	844	2,317	790	2,174	759	2,120	683	1,956	711	1,997
全 体	20,690	28,466	21,495	29,677	21,717	29,862	21,102	29,592	21,650	30,445
施 設 数	182		181		178		167		170	

図 2-3-1 市内ホテル・旅館収容人数及び施設数推移



(3) 宿泊客数

①年間宿泊者数

a. 宿泊者数

平成 23 年度の全施設の年間総延べ宿泊者数は約 667 万人泊であった。

タイプ別にみると、登録ホテルが約 163 万人泊、ホテル（登録ホテルを除く）が約 486 万人泊、旅館が約 19 万人泊である。

また、全施設の年間総実人数は約 519 万人となっており、一人あたりの宿泊日数は約 1.3 日と推計される。

外国人宿泊者については、年間総延べ宿泊者数は約 44 万人泊、実人数は約 27 万人である。実人数を参照すると宿泊者の 5.2%が外国人で構成されており、一人あたりの宿泊日数は約 1.6 日と推計される。

また、外国人宿泊者の宿泊日数を施設別にみると、登録ホテルが宿泊者一人あたりの宿泊数 2.0 泊と最も多く、ホテル（登録ホテルを除く）と旅館がそれぞれ 1.4 泊となっている。

表 2-3-4 年間宿泊者数（推計値）

		全施設の年間 総延べ宿泊者数	うち全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者数	全施設の 年間総実人数	うち全施設の 年間外国人 総実人数
		(人泊)	(人泊)	(人)	(人)
登録ホテル		1,627,346	232,710	1,267,703	117,984
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	2,598,452	132,521	2,034,588	105,089
	100 室以上 200 室未満	1,525,110	57,954	1,165,184	38,308
	50 室以上 100 室未満	609,890	11,588	501,330	7,579
	50 室未満	123,323	3,823	89,656	1,036
計		4,856,775	205,886	3,790,758	152,012
旅館		189,898	2,659	133,688	1,888
全 体		6,674,019	441,255	5,192,149	271,884

b. 宿泊者数の推移

宿泊者数の過去 5 年間の推移をみると、年間総実人数、年間総延べ宿泊者数ともに平成 21 年度から増加傾向にあり、昨年度より年間総実人数は 58 万人、年間総延べ宿泊者数は 71 万人それぞれ増加している。

年間定員稼働率についても、平成 21 年度以降増加傾向にあり、昨年度より 5 ポイント増加している。

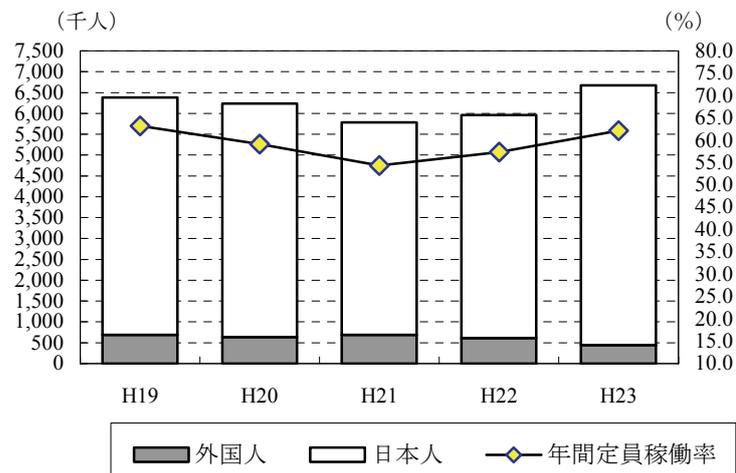
外国人宿泊者数については、東日本大震災の影響によるものか、昨年度に比べ総実人数は 12 万人減、総延べ宿泊者数は 17 万人減と大幅に減少している。

表 2-3-5 年間宿泊者数及び年間定員稼働率の推移（推計値）

区 分	年 度				
	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
年間総実人数（人）	4,845,349	4,719,502	4,604,248	4,608,978	5,192,149
うち外国人	378,730	377,532	344,847	396,508	271,884
年間総延べ宿泊者数（人泊）	6,384,202	6,238,020	5,786,316	5,960,567	6,674,019
うち外国人	688,805	634,900	494,002	609,400	441,255
年間定員稼働率（％）	63.2	59.1	54.3	57.3	62.1

注：年間定員稼働率とは、定員に占める宿泊者数の割合を示す。客室稼働率とは異なる。
 年間定員稼働率＝年間延べ宿泊者数÷年間収容可能人数（表 2-3-6 参照）

図 2-3-2 市内延べ宿泊者数の推移



推計方法

宿泊者数の推計にあたっては、各施設から得られた回答結果を最大限に活かし、推計に必要な回答が得られている施設（回答あり施設）の内容をもとに、稼働率や比率などの算定基準となる数値を推計し、全施設の推計値を算出した。

また、年間の収容可能人数（最大収容容量）は、各施設の一日あたりの収容可能人数に、その施設の平成23年度の営業日数（通年営業施設は366日）を乗じて算出した。

なお、計や全体は、施設分類別推計値や規模別推計値の積み上げ値とした。

a. 全施設の年間総延べ宿泊者数（推計値）

ア：回答あり施設の年間延べ宿泊者数（実績値）及び年間定員稼働率

年間定員稼働率は、回答あり施設を対象として62.1%の値を得た。区分別にみると、200室以上のホテルでは70%、登録ホテル及び50室以上200室未満のホテルでは58～60%であるが、旅館では26.1%とホテルより低い値となった。

なお、ここでの稼働率は、年間収容可能人数に対する宿泊者数であり、客室稼働率とは異なる。

表 2-3-6 回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値及び年間定員稼働率

		回答数 (施設)	① 年間延べ 宿泊者数 (人泊)	② 回答あり施設 の1日収容可 能人数 (人)	③ 回答あり施設 の年間収容 可能人数 (人)	④ 年間定員 稼働率 (%)
登録ホテル		11	1,063,703	4,978	1,821,948	58.4
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	27	2,112,333	8,204	3,002,664	70.3
	100室以上200室未満	24	994,056	4,481	1,640,046	60.6
	50室以上100室未満	18	428,404	2,080	736,200	58.2
	50室未満	7	56,591	362	132,492	42.7
計		76	3,591,384	15,127	5,511,402	65.2
旅館		14	75,267	797	288,377	26.1
全 体		101	4,730,354	20,902	7,621,727	62.1

注：③＝②×366日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

④＝①÷③

イ：回答なし施設の年間延べ宿泊者数

回答なし施設の年間延べ宿泊者数については、回答なし施設の年間収容可能人数に、回答あり施設で求めた施設分類別・規模別の稼働率を乗じて推計値（1,943,665人泊）を算出した。

表 2-3-7 回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答なし施設 の1日収容 可能人数 (人)	② 回答なし施設 の年間収容 可能人数 (人)	③ 回答あり施設 で求めた 稼働率 (%)	④ 回答なし施設 の年間延べ 宿泊者数 の推計値 (人泊)
登録ホテル		5	2,637	965,142	58.4	563,643
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	5	1,924	691,492	70.3	486,119
	100室以上 200室未満	13	2,503	876,326	60.6	531,054
	50室以上 100室未満	9	852	311,832	58.2	181,486
	50室未満	10	427	156,282	42.7	66,732
計		37	5,706	2,035,932		1,265,391
旅館		27	1,200	439,200	26.1	114,631
全 体		69	9,543	3,440,274		1,943,665

注：②＝①×366日（年度内の開館、閉館施設や休業分は営業日数に準じて算出）

$$④＝②×③$$

年間延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

ウ：全施設の年間総延べ宿泊者数

全施設の年間総延べ宿泊者数は、前出のアの項で算出した回答あり施設の年間延べ宿泊者数の実績値に、イの項で算出した回答なし施設の年間延べ宿泊者数の推計値を加算して求めた（6,674,019人泊）。

表 2-3-8 全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値

		①回答あり施設		②回答なし施設		③全施設	
		回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答数 (施設)	年間総延べ 宿泊者数 (人泊)
登録ホテル		11	1,063,703	5	563,643	16	1,627,346
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	27	2,112,333	5	486,119	32	2,598,452
	100室以上 200室未満	24	994,056	13	531,054	37	1,525,110
	50室以上 100室未満	18	428,404	9	181,486	27	609,890
	50室未満	7	56,591	10	66,732	17	123,323
計		76	3,591,384	37	1,265,391	113	4,856,775
旅館		14	75,267	27	114,631	41	189,898
全 体		101	4,730,354	69	1,943,665	170	6,674,019

注：③＝①＋②

b. 全施設の年間総実人数（推計値）

全施設の年間総実人数の推計値は、年間の延べ宿泊者数及び実人数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する実人数の割合を求め、実人数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した（5,192,149 人）。

表 2-3-9 全施設の年間総実人数の推計値

		回答数 (施設)	① 回答あり 施設の年間 実人数 (人)	② 回答あり 施設の年間 延べ宿泊者数 (人泊)	③ 回答あり 施設の 実人数比率 (%)	④ 全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	⑤ 全施設の年 間総実人数 推計値 (人)
登録ホテル		7	604,060	775,722	77.9	1,627,346	1,267,703
ホテル (登録ホテル を除く)	200 室以上	15	944,491	1,206,097	78.3	2,598,452	2,034,588
	100 室以上 200 室未満	12	362,438	474,436	76.4	1,525,110	1,165,184
	50 室以上 100 室未満	8	172,281	209,480	82.2	609,890	501,330
	50 室未満	5	32,955	45,327	72.7	123,323	89,656
計		40	1,512,165	1,935,340		4,856,775	3,790,758
旅館		10	41,376	58,814	70.4	189,898	133,688
全 体		57	2,157,601	2,769,876		6,674,019	5,192,149

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

c. 全施設の年間外国人の宿泊者数（推計値）

外国人の宿泊者数については、外国人及び外国人を含めた宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに割合を求め、全施設の宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

ア：全施設の年間外国人総延べ宿泊者数（推計値）

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値については、年間の延べ宿泊者数及び外国人延べ宿泊者数ともに回答が得られた施設をもとに、延べ宿泊者数に対する外国人延べ宿泊者数の割合を求め、外国人延べ宿泊者数比率とし、その数値を前出 a のウ（表 2-3-8）で求めた全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値に乗じて算出した。

表 2-3-10 全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値

		①	②	③	④	⑤	
		回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (施設)	回答あり 施設の年間延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人延べ 宿泊者数 比率 (%)	全施設の 年間総延べ 宿泊者数 推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊 者数推計値 (人泊)	
登録ホテル		11	151,690	1,063,703	14.3	1,627,346	232,710
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	23	90,627	1,783,238	5.1	2,598,452	132,521
	100室以上 200室未満	16	25,070	657,172	3.8	1,525,110	57,954
	50室以上 100室未満	12	4,952	254,396	1.9	609,890	11,588
	50室未満	7	1,746	56,591	3.1	123,323	3,823
計		58	122,395	2,751,397		4,856,775	205,886
旅館		13	931	68,655	1.4	189,898	2,659
全 体		82	275,016	3,883,755		6,674,019	441,255

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総延べ宿泊者数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

イ：全施設の年間外国人総実人数（推計値）

全施設の年間外国人総実人数の推計値については、年間の外国人延べ宿泊者数及び外国人実人数ともに回答が得られた施設をもとに、外国人延べ宿泊者数に対する外国人実人数の割合を求め、外国人実人数比とし、その数値をアの項で算出した全施設の年間総延べ宿泊者数の推計値（表 2-3-10）に乗じて算出した。

表 2-3-11 全施設の年間外国人総実人数の推計値

		①	②	③	④	⑤	
		回答あり 施設の年間 外国人 実人数 (施設)	回答あり 施設の年間 外国人延べ 宿泊者数 (人泊)	回答あり 施設の 外国人 実人数比 (%)	全施設の 年間外国人 総延べ宿泊者 数推計値 (人泊)	全施設の 年間外国人 総実人数 推計値 (人)	
登録ホテル		7	61,475	121,263	50.7	232,710	117,984
ホテル (登録ホテル を除く)	200室以上	14	36,621	46,173	79.3	132,521	105,089
	100室以上 200室未満	10	4,904	7,420	66.1	57,954	38,308
	50室以上 100室未満	6	1,401	2,143	65.4	11,588	7,579
	50室未満	6	427	1,577	27.1	3,823	1,036
計		36	43,353	57,313		205,886	152,012
旅館		11	498	701	71.0	2,659	1,888
全 体		54	105,326	179,277		441,255	271,884

注：③＝①÷②

⑤＝④×③

全施設の年間外国人総実人数の推計値の計及び全体は内訳を積み上げた数値

②国別外国人宿泊数

国別に外国人宿泊者数の回答が得られた施設は 81 施設で、そのうち外国人の宿泊があった施設は 77 施設であり、その割合は 95.1%であった。なお、外国人の宿泊が無かったのは、旅館が 3 施設、ホテル（登録ホテルを除く）が 1 施設であった。

国別の外国人宿泊者数をみると、台湾が全体の 33.7%（58,217 人）と最も多く、次いで中国 19.5%（33,800 人）であり、タイ 11.1%（19,128 人）、米国 9.5%（16,411 人）、韓国 9.1%（15,773 人）が 1 割前後で続き、香港 6.4%（11,051 人）の順となっており、その他の国の割合は 2%以下である。

施設分類別にみると、登録ホテルでは上位 4 カ国の数はかなり拮抗している。ホテル（登録ホテルを除く）では台湾が半数程度を占めている。

表 2-3-12 国別、外国人宿泊者数

	登録ホテル	ホテル（登録ホテルを除く）					旅館	全 体	
		200室以上	100室以上 200室未満	50室以上 100室未満	50室未満	計		人数 (人)	割合 (%)
回答数（施設）	10	20	17	15	7	59	12	81	
中国	13,718	14,488	3,977	1,263	232	19,960	122	33,800	19.5
香港	6,497	3,732	587	219	0	4,538	16	11,051	6.4
台湾	14,504	35,697	7,494	452	31	43,674	39	58,217	33.7
タイ	14,140	4,450	368	96	50	4,964	24	19,128	11.1
米国	12,681	1,293	1,720	543	12	3,568	162	16,411	9.5
韓国	8,072	3,834	3,050	677	70	7,631	70	15,773	9.1
インドネシア	2,806	267	81	16	0	364	1	3,171	1.8
ドイツ	2,181	378	26	89	11	504	21	2,706	1.6
英国	1,383	548	101	123	2	774	27	2,184	1.3
シンガポール	1,129	383	221	58	1	663	2	1,794	1.0
フランス	1,062	386	160	54	1	601	30	1,693	1.0
オーストラリア	879	352	154	111	9	626	35	1,540	0.9
カナダ	597	484	106	43	1	634	14	1,245	0.7
フィリピン	3	316	502	7	4	829	29	861	0.5
マレーシア	520	100	12	20	0	132	8	660	0.4
ベトナム	149	402	57	12	10	481	0	630	0.4
ロシア	200	177	4	7	0	188	3	391	0.2
インド	208	50	60	16	4	130	0	338	0.2
オランダ	241	3	1	35	0	39	3	283	0.2
ベルギー	224	7	0	0	0	7	0	231	0.1
イタリア	198	1	15	12	0	28	0	226	0.1
ブラジル	165	0	26	4	4	34	1	200	0.1
ニュージーランド	187	0	9	0	0	9	0	196	0.1
スウェーデン	161	0	12	0	0	12	0	173	0.1
メキシコ	0	17	3	6	0	26	1	27	0.0
スペイン	0	10	7	0	0	17	7	24	0.0
デンマーク	0	0	6	0	0	6	3	9	0.0
スイス	0	7	0	0	0	7	0	7	0.0
北朝鮮	0	0	0	4	0	4	0	4	0.0
エルサルバドル	0	4	0	0	0	4	0	4	0.0
モンゴル	0	3	0	0	0	3	0	3	0.0
フィンランド	0	0	0	3	0	3	0	3	0.0
ブータン	0	0	0	2	0	2	0	2	0.0
ネパール	0	0	2	0	0	2	0	2	0.0
スリランカ	0	2	0	0	0	2	0	2	0.0
イスラエル	0	0	2	0	0	2	0	2	0.0
チェコ	0	2	0	0	0	2	0	2	0.0
ハンガリー	0	0	2	0	0	2	0	2	0.0
ジャマイカ	0	2	0	0	0	2	0	2	0.0
ミャンマー	0	0	1	0	0	1	0	1	0.0
パキスタン	0	0	0	1	0	1	0	1	0.0
ポーランド	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
スロバキア	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
ノルウェー	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
コロンビア	0	0	0	0	0	0	1	1	0.0
チュニジア	0	1	0	0	0	1	0	1	0.0
合 計	81,905	67,396	18,766	3,873	442	90,477	622	173,004	100.0

③修学旅行団体の受入状況

a. 修学旅行学校数及び宿泊者数

平成23年度の修学旅行団体の受入実績について回答が得られた宿泊施設は12施設（対有効回答170施設比7.1%）である。学校数は95校、宿泊者数は6,645人である。今年度は、「修学旅行生のための宿泊施設ガイド」（（公財）名古屋観光コンベンションビューロー発行）に掲載されている12施設に直接聞き取りで調査を実施したため、昨年度（39校、2,969人）に比べ、学校数は56校、宿泊者数は3,676人と大幅に増加している。

宿泊施設分類別にみると、登録ホテル（16校増、1,621人増）と旅館（37校増、1,721人増）で増加が目立つ。

学校分類別では、小学校（40校増、2,735人増）が大幅に増加しており、高校（10校増、532人増）やその他（5校増、86人増）なども増加している。

表 2-3-13 修学旅行団体の受入実績

		修学旅行 受入施設数 (施設)	① 学校数 (校)	② 宿泊者数 (人)	③ 1校あたり修学 旅行宿泊者数 (人)
登録ホテル		4	29	2,906	100
ホテル (登録ホテルを除く)	200室以上	3	14	1,411	101
	100室以上200室未満	0	0	0	0
	50室以上100室未満	0	0	0	0
	50室未満	1	2	52	26
計		4	16	1,463	91
旅館		4	50	2,276	46
全体		12	95	6,645	70

注：③＝②÷①

表 2-3-14 修学旅行団体の受入実績（年度推移）

年度 区分	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
	学校数	宿泊者数								
小学校	25	1,411	21	1,081	22	1,814	8	267	48	3,002
中学校	9	696	12	939	5	149	10	778	11	1,101
高校	14	2,053	8	730	6	549	6	672	16	1,204
その他	11	1,005	19	1,682	7	185	15	1,252	20	1,338
全体	59	5,165	60	4,432	40	2,697	39	2,969	95	6,645

b. 地域別の受入学校数

下表は、修学旅行団体の受入学校数を地域別・学校分類別に整理したものである。

合計では 95 校中 36 校 (37.9%) が東海・北陸地域から、23 校 (24.2%) が関東・甲信越地域、21 校 (22.1%) が近畿地域からの修学旅行団体であり、以下、北海道・東北地域 10 校 (10.5%) 中国・四国地域 4 校 (4.2%)、九州・沖縄地域 1 校 (1.1%) であった。昨年度と比較すると、東海・北陸地域が 31 校、関東・甲信越地域が 13 校、北海道・東北地域が 8 校、近畿地域が 7 校、中国・四国地域が 3 校それぞれ増加しているものの、昨年度 6 校あった海外からの修学旅行団体は 1 校もなかった。

学校分類別では、小学校 (48 校、50.5%) が最も多く半数を占める。次いで、その他 (20 校、21.1%)、高校 (16 校、16.8%)、中学校 (11 校、11.6%) の順となっている。

表 2-3-15 施設別、地域別修学旅行団体受入状況

施設区分	回答状況	地域 (施設)	計 (校)	小学校 (校)	中学校 (校)	高校 (校)	その他 (校)
登録ホテル		北海道・東北	8		4	4	
		関東・甲信越	6	2	1	2	1
		東海・北陸	11	2	5	2	2
		近畿	2	1			1
		中国・四国	1			1	
		九州・沖縄	1			1	
ホテル(登録ホテルを含まず)		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	6	4	1		1
		東海・北陸	7	7			
		近畿	1				1
		中国・四国	1			1	
		九州・沖縄	0				
旅館		北海道・東北	1			1	
		関東・甲信越	11	2		1	8
		東海・北陸	18	16			2
		近畿	18	14			4
		中国・四国	2			2	
		九州・沖縄	0				
全体		北海道・東北	10	0	4	6	0
		関東・甲信越	23	8	2	3	10
		東海・北陸	36	25	5	2	4
		近畿	21	15	0	0	6
		中国・四国	4	0	0	4	0
		九州・沖縄	1	0	0	1	0
	計		95	48	11	16	20

表 2-3-16 地域別修学旅行団体受入状況

	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員	校数	人員
北海道					2	138			2	138
青森県										
秋田県										
岩手県			4	478					4	478
山形県					2	152			2	152
宮城県					2	140			2	140
福島県										
東京都			1	48			4	702	5	750
神奈川県			1	209	1	126	2	53	4	388
千葉県	1	90			1	37	3	120	5	247
埼玉県										
群馬県										
栃木県										
茨城県										
新潟県	2	67			1	116			3	183
長野県	4	342					1	225	5	567
山梨県	1	70							1	70
愛知県										
岐阜県			5	366			1	35	6	401
三重県										
静岡県	23	1,541			1	42	2	26	26	1,609
福井県	1	15							1	15
石川県	1	57					1	36	2	93
富山県					1	46			1	46
滋賀県	1	7							1	7
京都府	14	813					2	59	16	872
大阪府							1	20	1	20
奈良県							1	15	1	15
和歌山県										
兵庫県							2	47	2	47
鳥取県										
島根県										
岡山県										
広島県										
山口県					1	99			1	99
香川県										
徳島県										
愛媛県										
高知県					3	269			3	269
福岡県										
大分県										
宮崎県										
熊本県										
佐賀県					1	39			1	39
長崎県										
鹿児島県										
沖縄県										
合計	48	3,002	11	1,101	16	1,204	20	1,338	95	6,645

2-4 全国から見た名古屋の観光に関する評価 (名古屋の観光に関する全国インターネット調査結果)

(1) 調査の概要

① 調査目的

名古屋への訪問実績や観光資源の認知度、観光に対する評価など名古屋の観光実態を把握するため、インターネットを用いてアンケートを実施した。

② 調査対象

東海、関東、近畿、北陸・甲信越、東北・北海道、中国・四国、九州・沖縄に住む18～79歳の男女1,000名とした(名古屋市を除く)。

③ 調査日時等

平成24年1月27日(金)～29日(日)

④ サンプルング方法

国勢調査における都道府県人口割合と性・年齢別人口割合をもとに、各カテゴリーのサンプル数を求めた。(下表参照)。

インターネット調査の対象者

性・年齢 地域	男性								女性								合計
	男性計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	女性計	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
東海	59	2	8	11	10	10	11	7	59	1	9	11	10	10	10	8	118
関東	167	4	24	31	28	29	30	21	166	4	25	30	27	28	30	22	333
近畿	81	2	12	15	13	14	15	10	82	2	12	15	14	14	14	11	163
北陸・甲信越	33	1	5	6	5	6	6	4	33	1	5	6	6	5	6	4	66
東北・北海道	58	1	9	10	10	10	10	8	58	2	8	11	9	10	11	7	116
中国・四国	45	1	6	9	7	8	8	6	45	1	7	8	8	7	8	6	90
九州・沖縄	57	1	8	11	9	10	10	8	57	2	9	10	10	9	10	7	114
合計	500	12	72	93	82	87	90	64	500	13	75	91	84	83	89	65	1,000

注：東 海—愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
 関 東—東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・群馬県・栃木県・茨城県
 近 畿—滋賀県・京都府・大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
 北 陸—福井県・石川県・富山県
 甲信越—新潟県・長野県・山梨県
 東 北—青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県
 中 国—鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四 国—香川県・徳島県・愛媛県・高知県
 九 州—福岡県・大分県・宮崎県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県

(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等

① 名古屋への訪問状況

a. 過去5年間の名古屋への訪問回数

過去5年以内に名古屋を訪れたことがある割合は34.3%である。訪問回数としては、「1回」が14.6%と多く、以下「3～5回」(6.0%)、「11回以上」(6.0%)、「2回」(5.8%)となっている。

性別にみると、男性では訪れた割合は39.4%で、女性より10ポイント高い。

年齢別にみると、訪れた割合は30歳代(38.0%)と60歳代(37.4%)が相対的に高い。

地域別にみると、「東海」では8割以上が訪れており、うち「11回以上」(39.9%)が4割を占めている。次いで訪れた割合が高いのは、「近畿」(36.3%)で、以下「北陸・甲信越」(31.7%)、「関東」(28.2%)、「中国・四国」(25.5%)、「九州・沖縄」(22.0%)、「東北・北海道」(20.6%)と続いている。

訪問回数としては、「東海」地域を除き、「1回」の割合が最も高くなっている。

図 2-4-1 過去5年間の名古屋への訪問回数



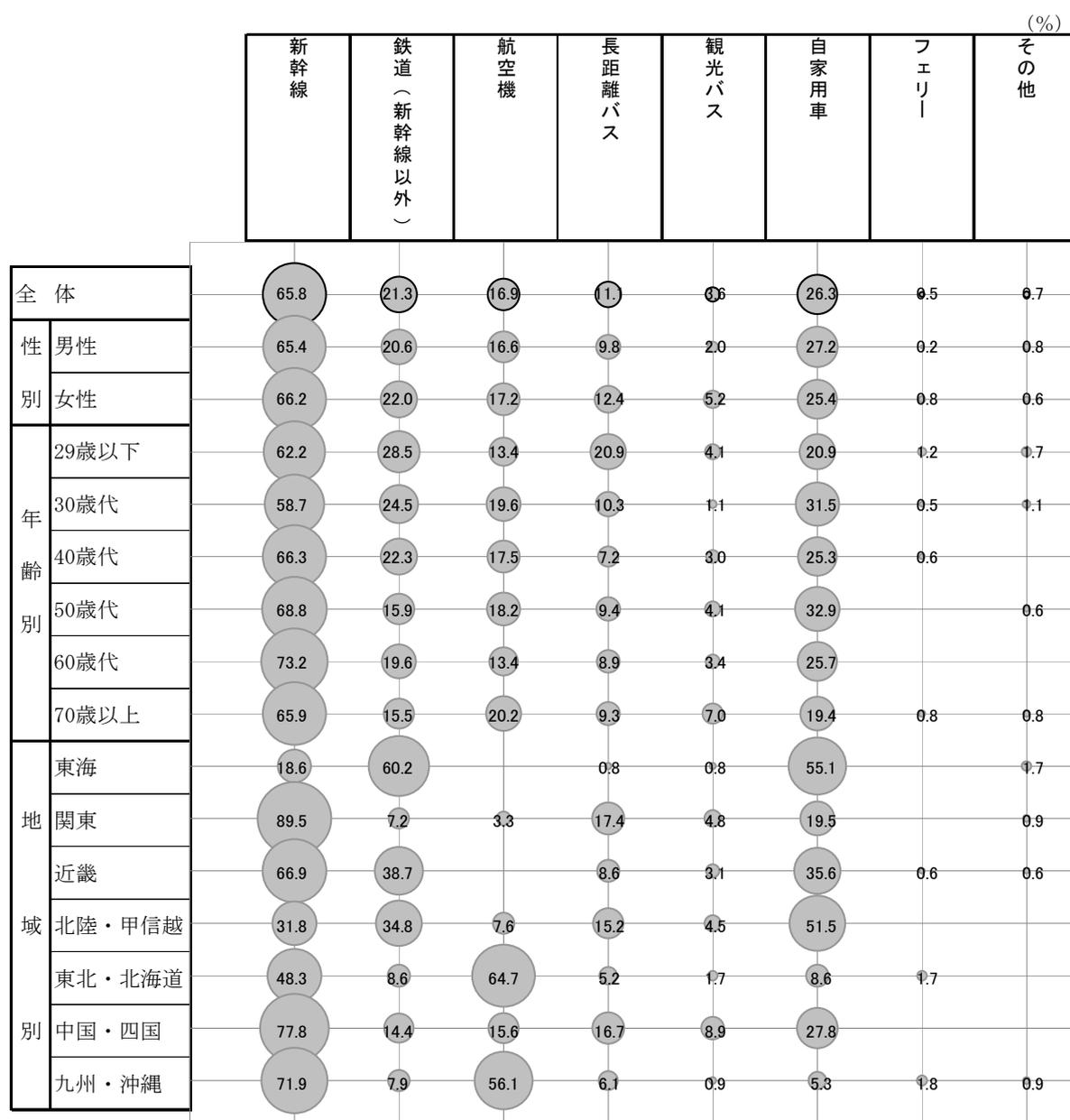
b. 名古屋への交通機関

名古屋を訪れる場合の交通機関としては、「新幹線」が65.8%と最も多く、次いで「自家用車」が26.3%で、以下、「鉄道（新幹線以外）」（21.3%）、「航空機」（16.9%）、「長距離バス」（11.1%）となっている。

年齢別にみると、29歳以下では「鉄道」が2位であり、「長距離バス」の割合も比較的高くなっている。

地域別にみると、「東海」では「鉄道」と「自家用車」の割合が高い。「関東」、「近畿」、「中国・四国」、「九州・沖縄」では「新幹線」、「北陸・甲信越」では「自家用車」、「東北・北海道」では「航空機」の割合がそれぞれ最も高くなっている。「東北・北海道」では「新幹線」、「九州・沖縄」では「航空機」の割合も比較的多くなっている。

図 2-4-2 名古屋への交通機関（複数回答）



c. 名古屋への訪問目的

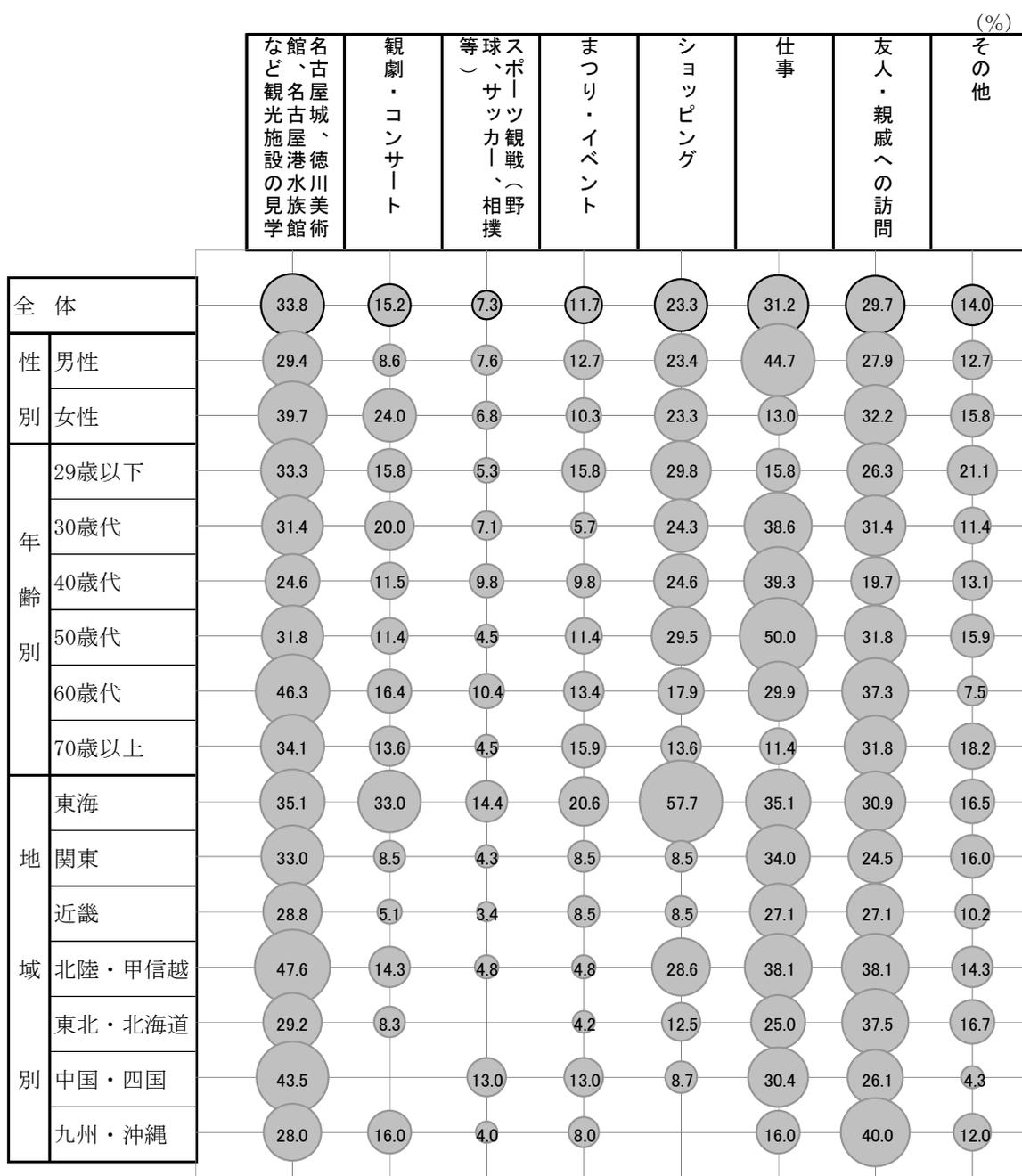
過去5年以内に名古屋を訪れた方（343人）の訪問目的としては、「観光施設の見学」（33.8%）、「仕事」（31.2%）、「友人・親戚への訪問」（29.7%）の割合が多くなっている。

性別にみると、男性は「仕事」（44.7%）が多く、女性は「観光施設の見学」（39.7%）の割合が高い。

年齢別にみると、29歳以下と60歳以上では「観光施設の見学」、30歳代から50歳代では「仕事」の割合がそれぞれ最も高くなっている。

地域別にみると、「東海」では「ショッピング」が57.7%と特に高い。また、「東北・北海道」、「九州・沖縄」と遠方からの訪問者では「友人・親戚への訪問」が最も高くなっている。

図 2-4-3 名古屋への訪問目的（複数回答）



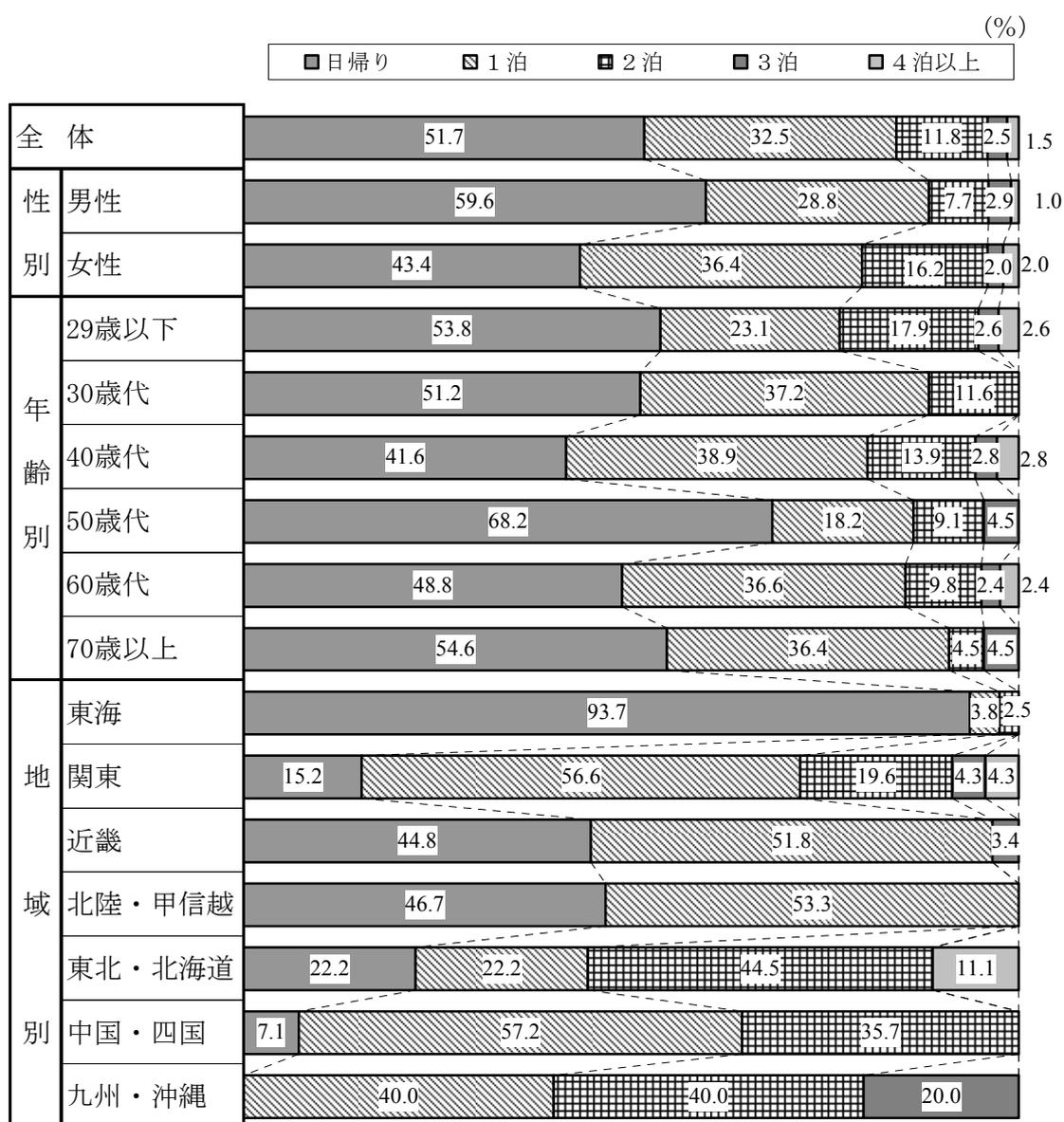
d. 名古屋への訪問日程

観光等が目的で名古屋を訪れた方（前ページ 図 2-4-3 で「観光施設の見学」「観劇・コンサート」「スポーツ観戦」「まつり・イベント」「ショッピング」と回答した方 203 人）の直近の訪問日程としては、「日帰り」が 51.7%と半数で、「1泊」が 32.5%、「2泊」が 11.8%となっている。

「日帰り」の割合は、男性や 50 歳代で高い。

地域別にみると、「東海」では大半が「日帰り」である。一方、「近畿」と「北陸・甲信越」では半数強、「関東」と「東北・北海道」では 8 割前後、「中国・四国」では 9 割、「九州・沖縄」では全員が宿泊している。

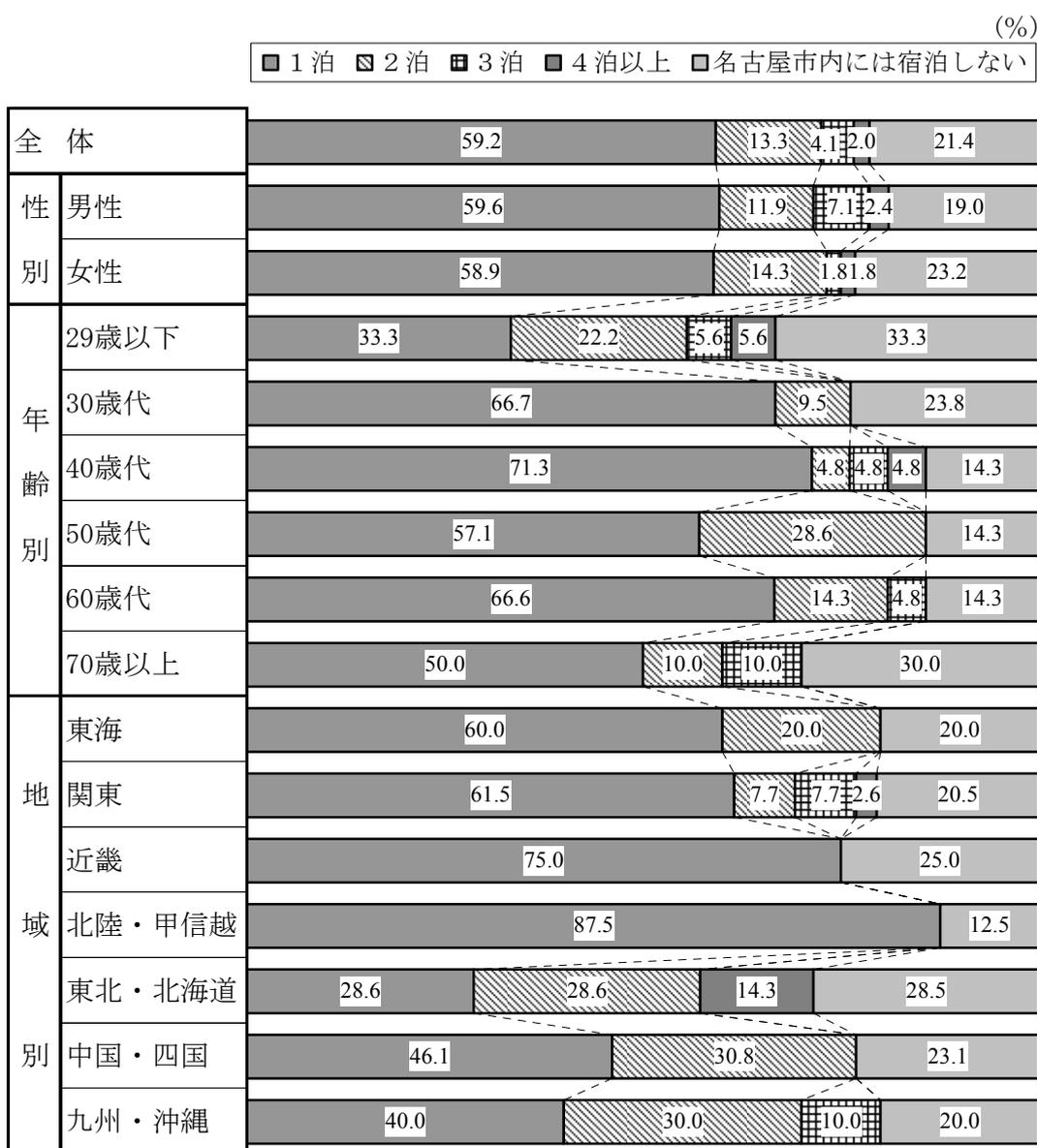
図 2-4-4 名古屋への訪問日程



e. 名古屋市内での宿泊数

観光等が目的で名古屋を訪れた方（203人）のうち、1泊以上の日程で名古屋を訪れた方（98人）の名古屋市内での宿泊数は、「1泊」が59.2%と最も多い。また、「名古屋市内には宿泊しない」は21.4%となっている。

図 2-4-5 名古屋市内での宿泊数



f. 名古屋への旅行形態

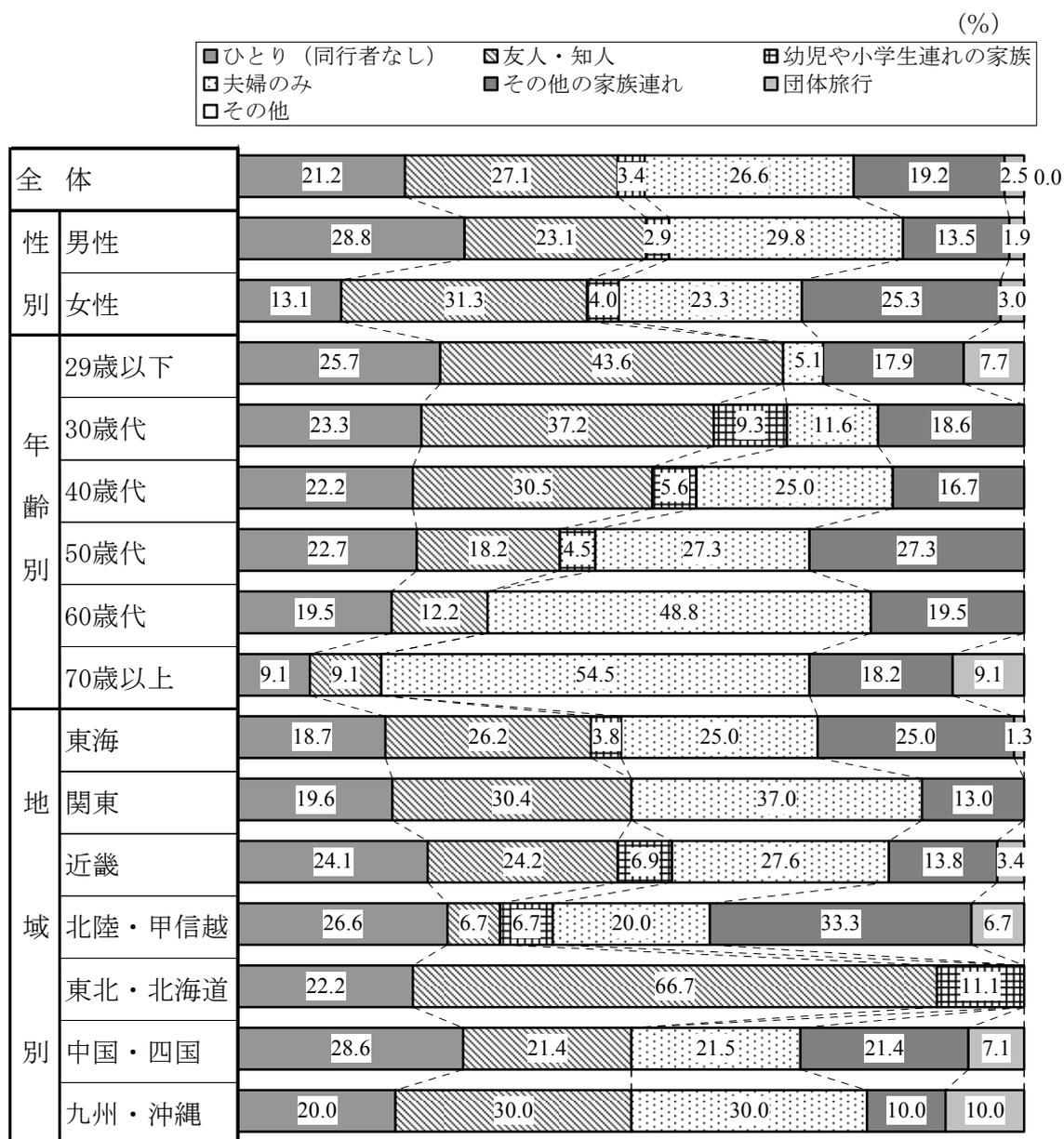
観光等が目的で名古屋を訪れた方（203人）の直近の訪問は、「友人・知人」（27.1%）と「夫婦のみ」（26.6%）が多く、以下「ひとり（同行者なし）」（21.2%）、「その他の家族連れ」（19.2%）となっている。また、「幼児や小学生連れの家族」、「夫婦のみ」、「その他の家族連れ」を合わせた家族連れの割合は49.2%と半数である。

性別にみると、「ひとり（同行者なし）」の割合は、男性で女性より多くなっている。

年齢別にみると、「友人・知人」の割合は年齢が若いほど、「夫婦のみ」の割合は年齢が上がるほど高くなっている。

地域別にみると、「関東」では「夫婦のみ」、「東北・北海道」では「友人・知人」が最も多くなっている。

図 2-4-6 名古屋への旅行形態



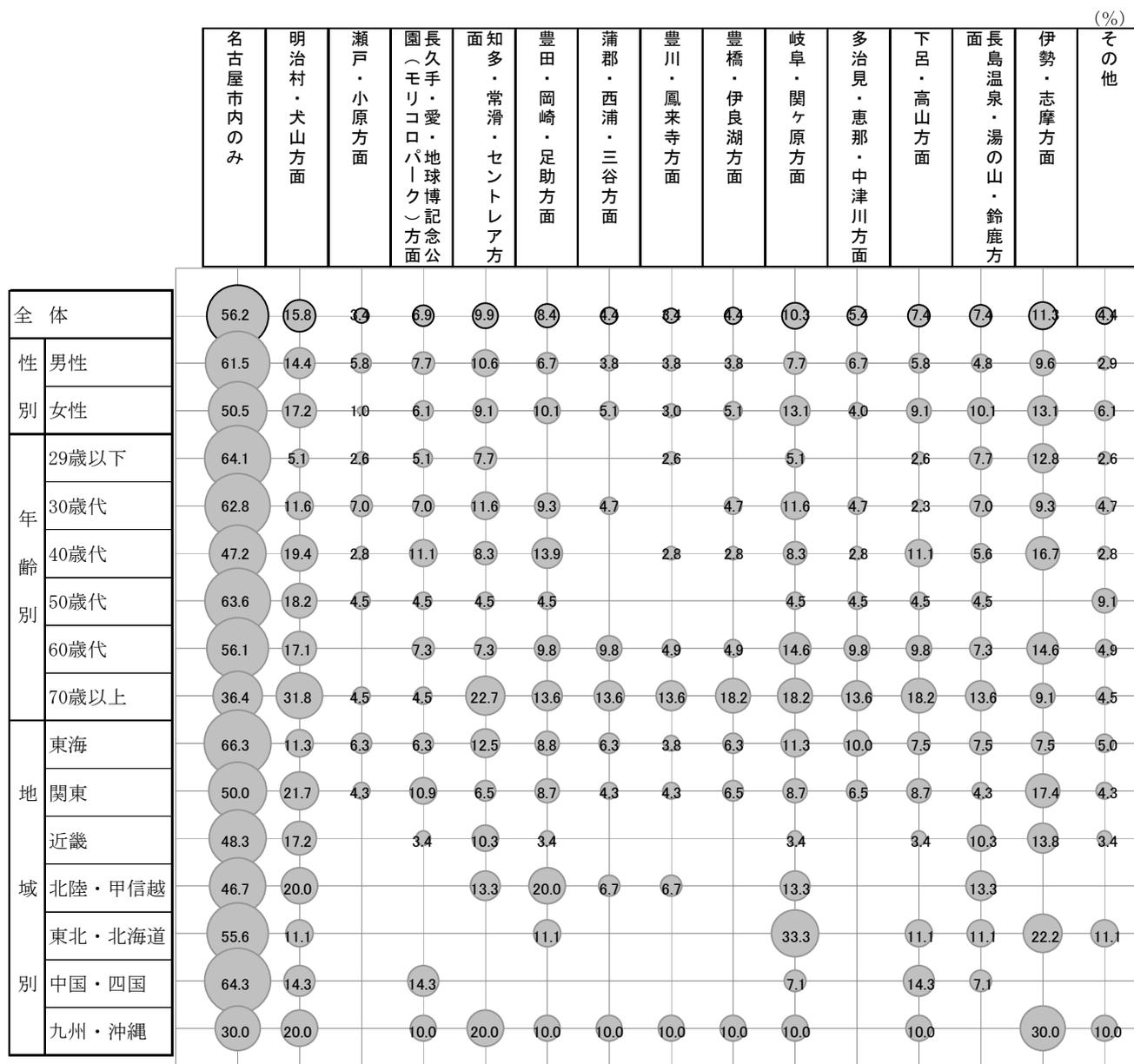
g. 名古屋市以外の訪問地

観光等が目的で名古屋を訪れた方（203人）が、名古屋市以外にも訪問した割合は43.8%であった。訪問地としては、「明治村・犬山方面」（15.8%）が最も多く、次いで、「伊勢・志摩方面」（11.3%）、「岐阜・関ヶ原方面」（10.3%）、「知多・常滑・セントレア方面」（9.9%）と続いている。

名古屋市以外にも訪問した割合は、女性（49.5%）や70歳以上（63.6%）、40歳代（52.8%）で高くなっている。一方、男性や30歳代以下、50歳代では「名古屋市内のみ」が6割以上を占めている。

地域別にみると、「九州・沖縄」や「関東」、「近畿」、「北陸・甲信越」からの訪問者では、名古屋市以外にも訪問した割合が半数以上であり。訪問地としては、「明治村・犬山方面」のほか「北陸・甲信越」では「豊田・岡崎・足助方面」、「九州・沖縄」では「伊勢・志摩方面」が高くなっている。

図2-4-7 名古屋市以外の訪問地（複数回答）



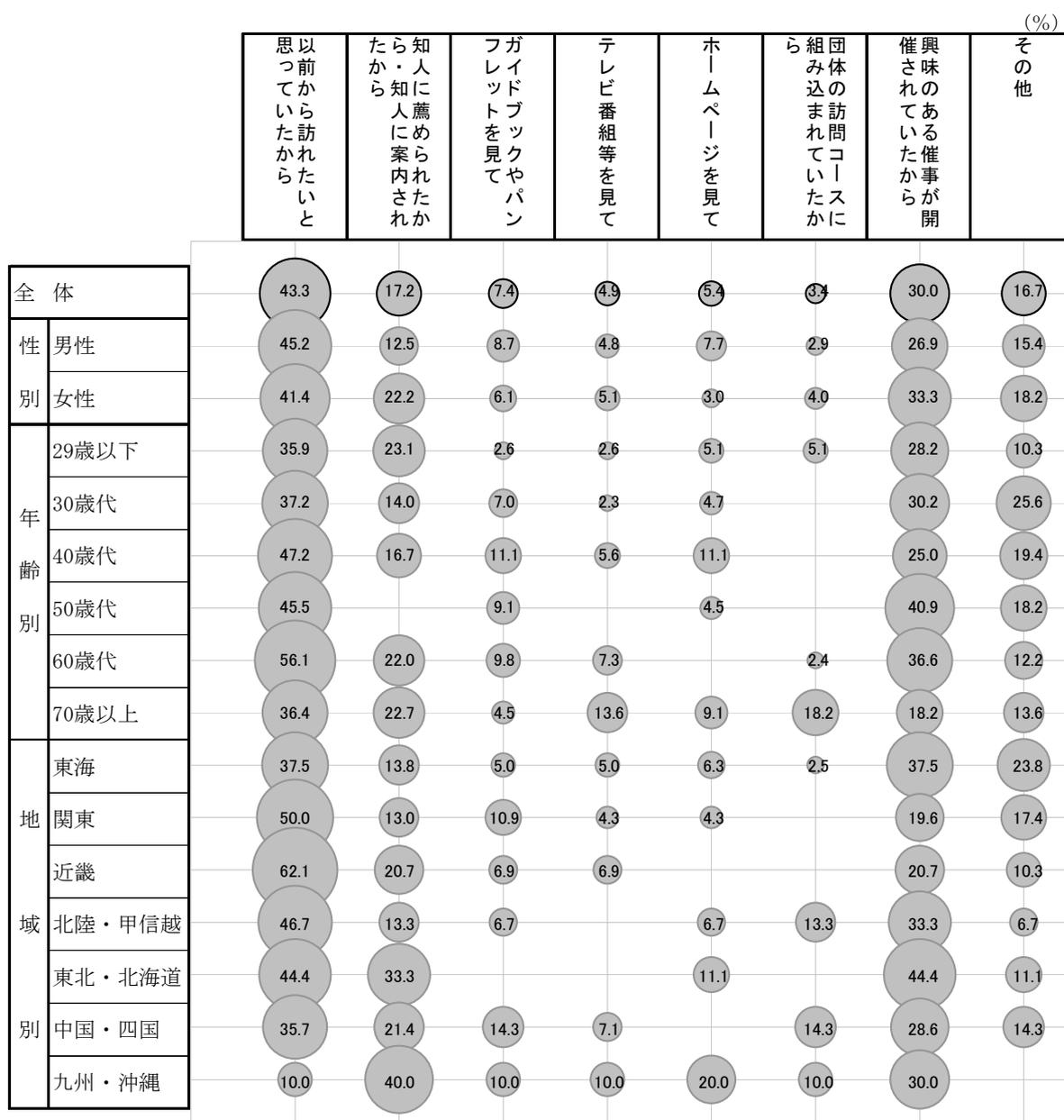
h. 名古屋への訪問のきっかけ

観光等が目的で名古屋を訪れた方（203人）のきっかけは、「以前から訪れたいと思っていたから」が43.3%で最も多く、次いで「興味のある催事が開催されていたから」（30.0%）、「知人に薦められたから・知人に案内されたから」（17.2%）となっている。

「東海」と「東北・北海道」からの訪問客では「興味のある催事が開催されていたから」が同率で1位となっている。また、「九州・沖縄」からの訪問客では「知人に薦められたから・知人に案内されたから」が最も高い。

また、「テレビ番組を見て」は「ホームページを見て」の割合より低く、70歳以上を除きその割合は1割以下となっている。

図 2-4-8 名古屋への訪問のきっかけ（複数回答）



② 名古屋の観光資源の認知度と訪問・体験状況

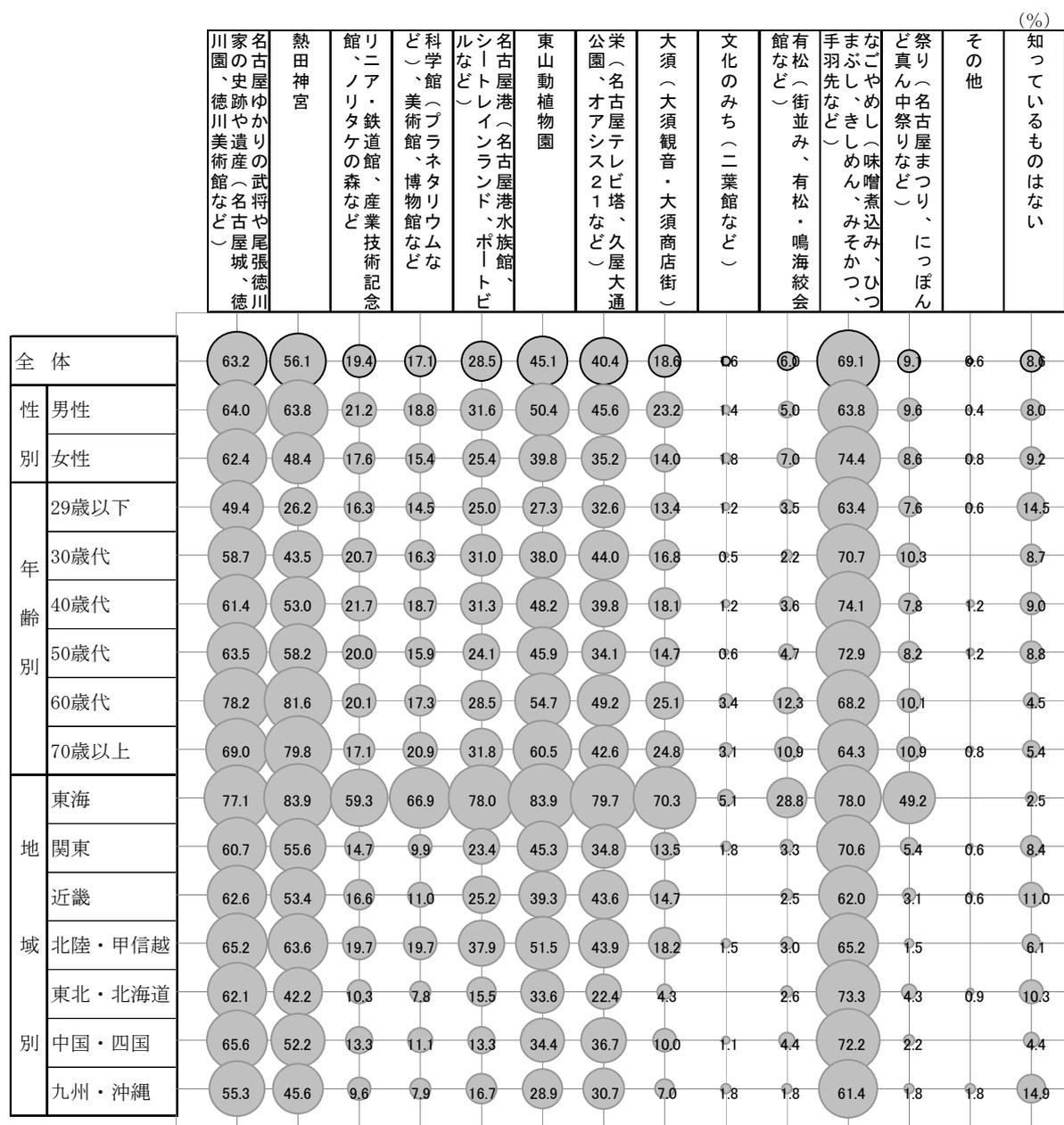
a. 名古屋の観光資源の認知度

名古屋の観光資源の中で知っているものとしては、「なごやめし」(69.1%)と「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」(63.2%)の割合が高く、以下、「熱田神宮」(56.1%)、「東山動物園」(45.1%)、「栄」(40.4%)と続いている。

60歳代以上では「熱田神宮」が最も高くなっている。

地域別にみると、「近畿」と「北陸・甲信越」では「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」が1位であるなど若干順位の変動はあるものの、上位5項目は「東海」以外の地域では同じである。

図 2-4-9 名古屋の観光資源の認知度（複数回答）

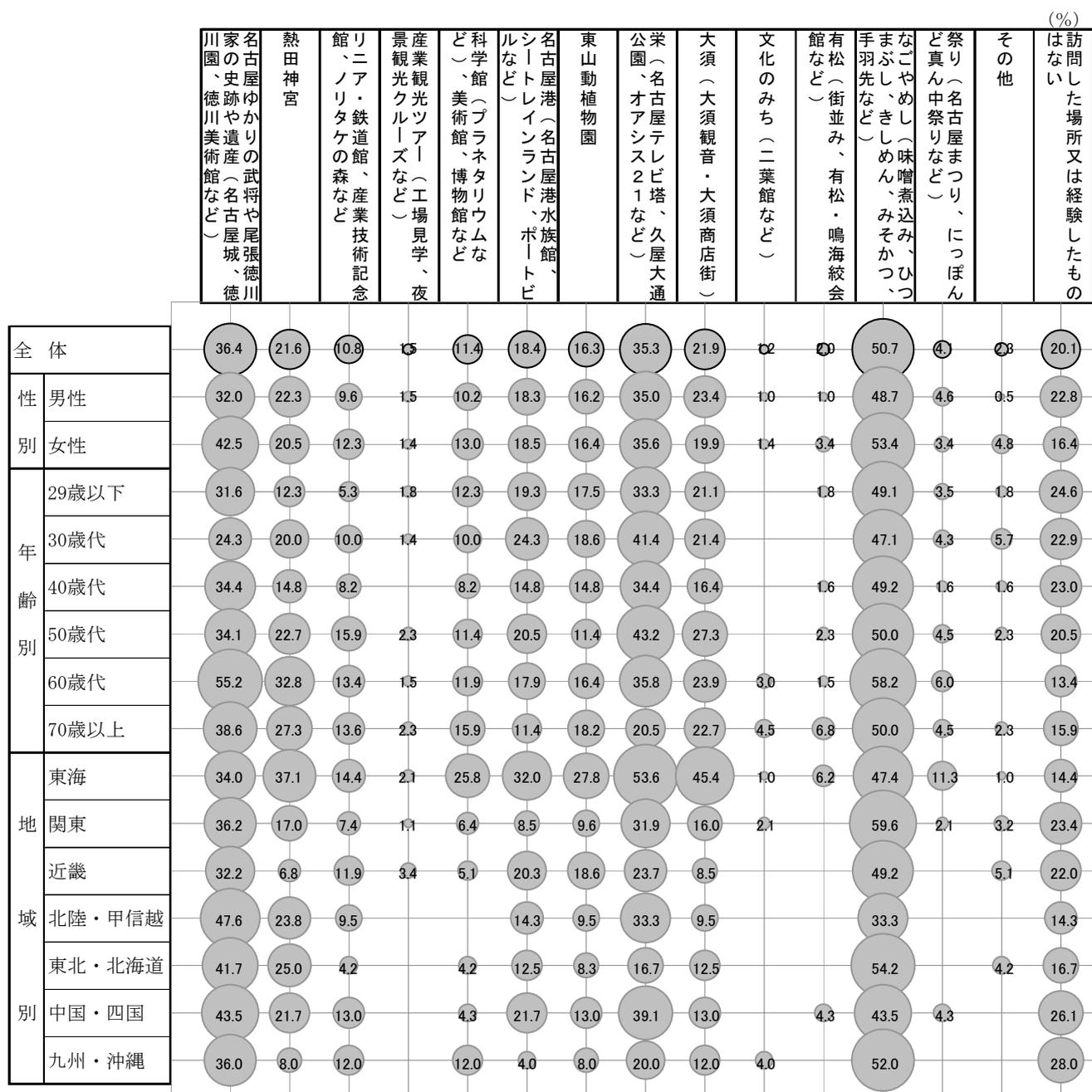


b. 名古屋の観光資源の訪問・体験状況

過去5年以内に名古屋を訪れた方(343人)が訪問した場所又は経験したものとしては、「なごやめし」が50.7%と最も高く、次いで「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」(36.4%)、「栄」(35.3%)が3割台で、「大須」(21.9%)、「熱田神宮」(21.6%)、「名古屋港」(18.4%)、「東山動植物園」(16.3%)が2割前後で続いており、「訪問した場所又は経験したものはなし」の割合は20.1%である。

「東海」では「栄」が最も高く、「大須」の割合も比較的高い。また、「北陸・甲信越」「中国・四国」では「史跡・遺産」が最も高くなっている。

図2-4-10 名古屋の観光資源の訪問・体験状況(複数回答)



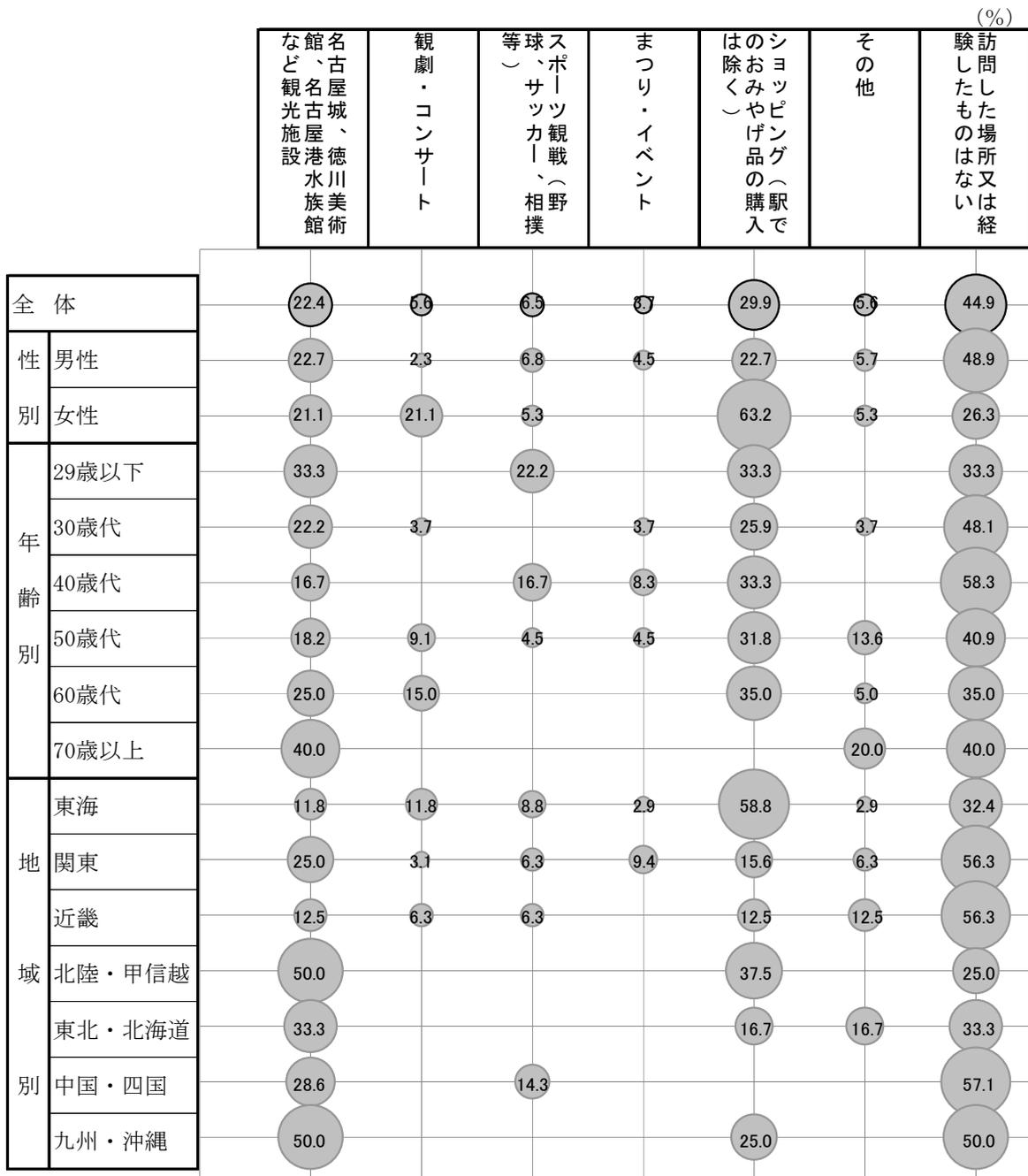
c. 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況

過去5年間以内に仕事目的で名古屋を訪れた方（107人）の直近の訪問で、そのときあわせて訪問した場所又は経験したものがあがる割合は55.1%と過半数を占めている。訪問した場所又は経験したものとしては、「ショッピング（駅でのおみやげ品の購入は除く）」が29.9%、「観光施設」が22.4%となっている。

訪問した場所又は経験したものがあがる割合は、女性や29歳以下、60歳代では7割前後と高い。

女性や「東海」では「ショッピング」を6割程度がしている。また、70歳以上や「北陸・甲信越」、「九州・沖縄」からの訪問者では、「観光施設」の訪問をしている割合が高くなっている。

図 2-4-11 仕事目的での訪問時における観光資源の訪問・体験状況（複数回答）



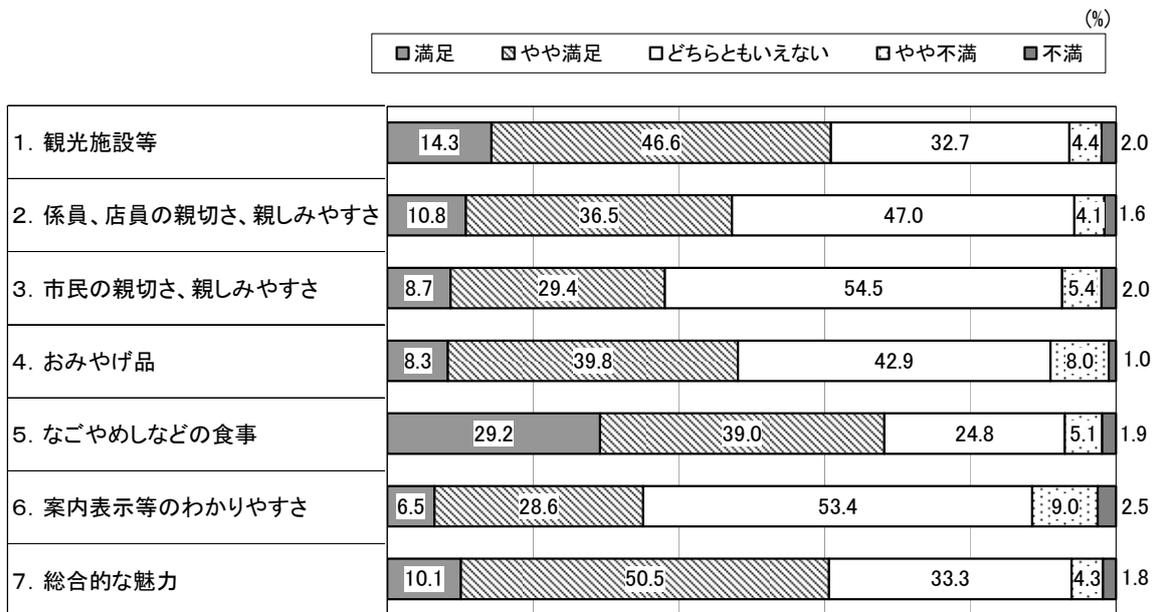
(3) 名古屋に対する評価

① 名古屋訪問時の印象

過去5年以内に名古屋を訪れた方(343人)では、「なごやめしなどの食事」については、「満足」(29.2%)と「やや満足」(39.0%)を合わせて68.2%と7割程が満足と感じており、下記の7項目のうち最も評価が高い。満足と感じる割合が、次いで高いのは、「観光施設等」(60.9%)と「総合的な魅力」(60.6%)で6割である。「おみやげ品」(48.1%)と「係員、店員の親切さ、親しみやすさ」(47.3%)については半数弱が満足と感じている。「市民の親切さ、親しみやすさ」(38.1%)と「案内表示等のわかりやすさ」(35.1%)については、満足と感じている割合は4割未満で「どちらともいえない」がそれぞれ過半数を占めている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせた不満と感じる割合は、「案内表示等のわかりやすさ」(11.5%)と「おみやげ品」(9.0%)については1割程度みられるものの、そのほかの項目については6~7%となっている。

図 2-4-12 名古屋訪問時の印象



a. 観光施設等の評価

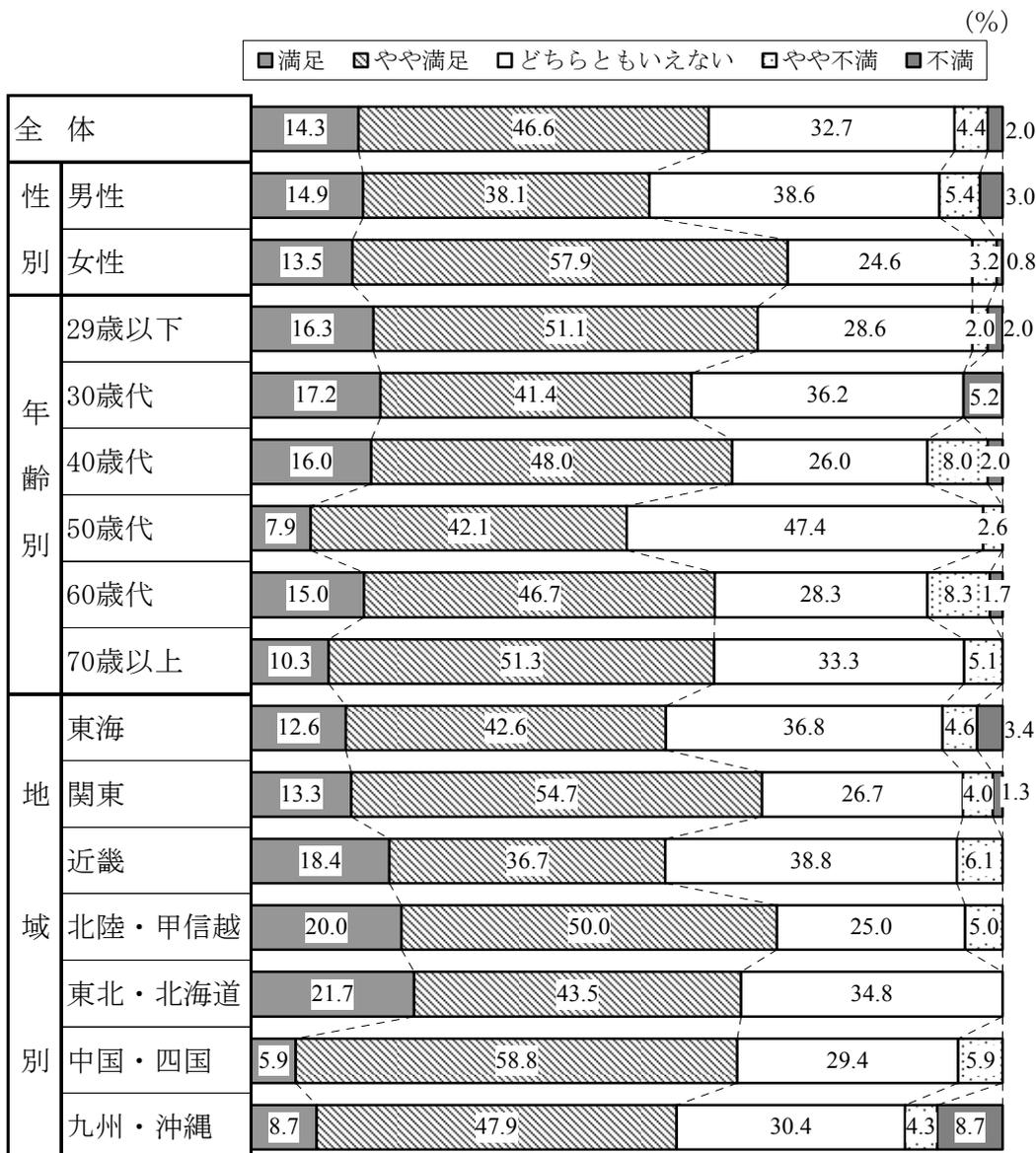
観光施設等については、「満足」(14.3%)と「やや満足」(46.6%)を合わせて60.9%と6割以上が満足と感じており、「やや不満」(4.4%)と「不満」(2.0%)を合わせ6.4%が不満と感

じている。
性別にみると、満足と感ずる割合は女性71.4%、男性53.0%と、女性の満足度の方がかなり高い。これは、前述 名古屋の観光資源の訪問・体験状況で「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城など)」への訪問割合の差が影響していると思われる。

年齢別にみると、名古屋への訪問理由で仕事目的が半数であった50歳代では「どちらともいえない」が半数近くみられるものの、満足度は総じて高く、特に29歳以下の若い世代で高くなっている。

地域別にみると、満足と感ずる割合は、全ての階層で過半数を占め、特に「関東」「北陸・甲信越」からの訪問者では7割前後と高い。一方、「九州・沖縄」からの訪問者では不満と感ずる割合が1割を超えている。

図 2-4-13 観光施設等の評価



b. 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価

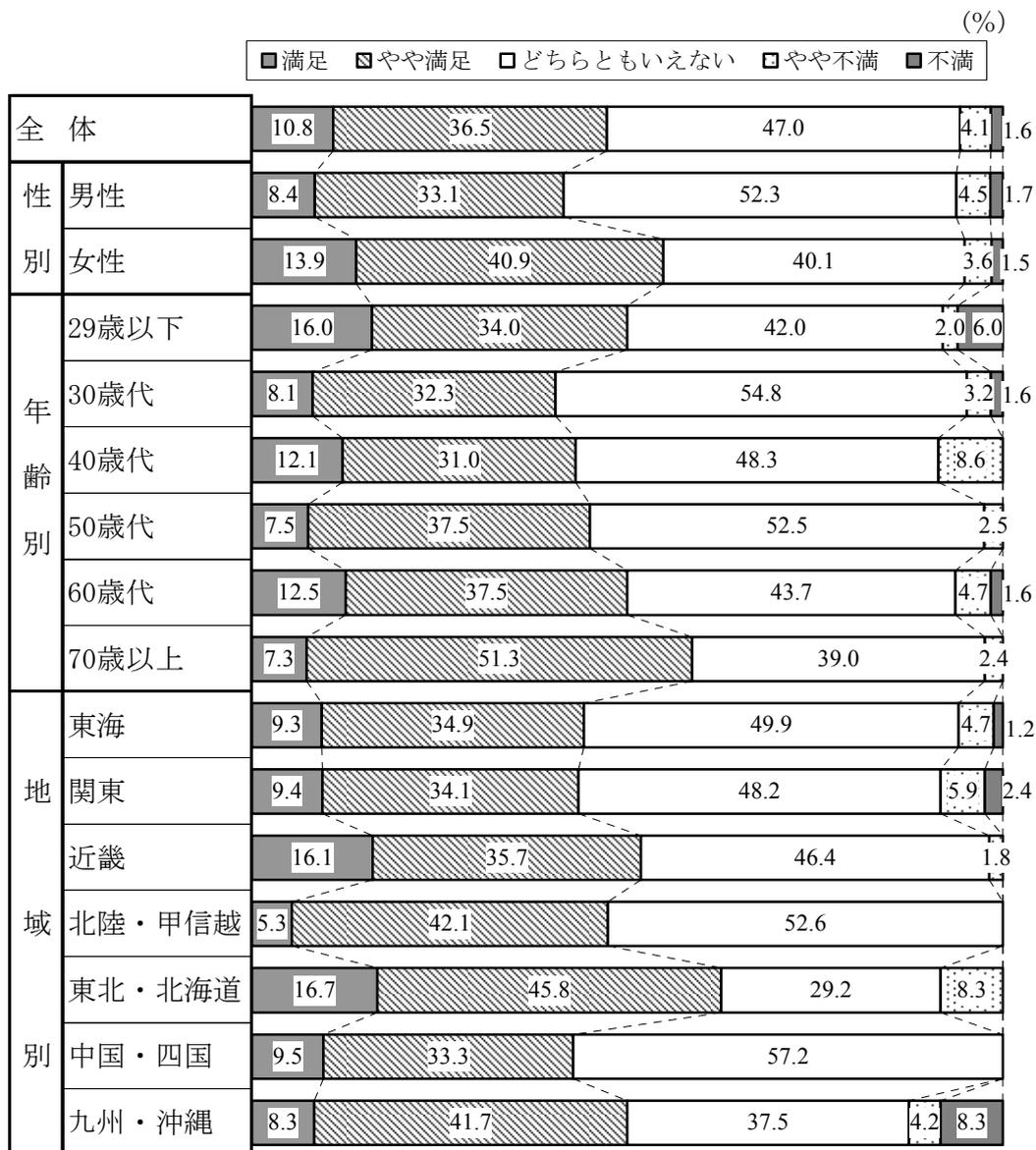
係員、店員の親切さ、親しみやすさについては、「満足」(10.8%)と「やや満足」(36.5%)を合わせ47.3%が満足と感じており、「やや不満」(4.1%)と「不満」(1.6%)を合わせ5.7%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性では過半数を占めている。

年齢別にみると、30歳代以上では年代が上がるほど満足と感じる割合は高くなっている。

地域別にみると、満足と感じる割合は「東北・北海道」で高い。一方、「九州・沖縄」では不満を感じる割合が1割以上みられる。

図 2-4-14 係員、店員の親切さ、親しみやすさの評価



c. 市民の親切さ、親しみやすさの評価

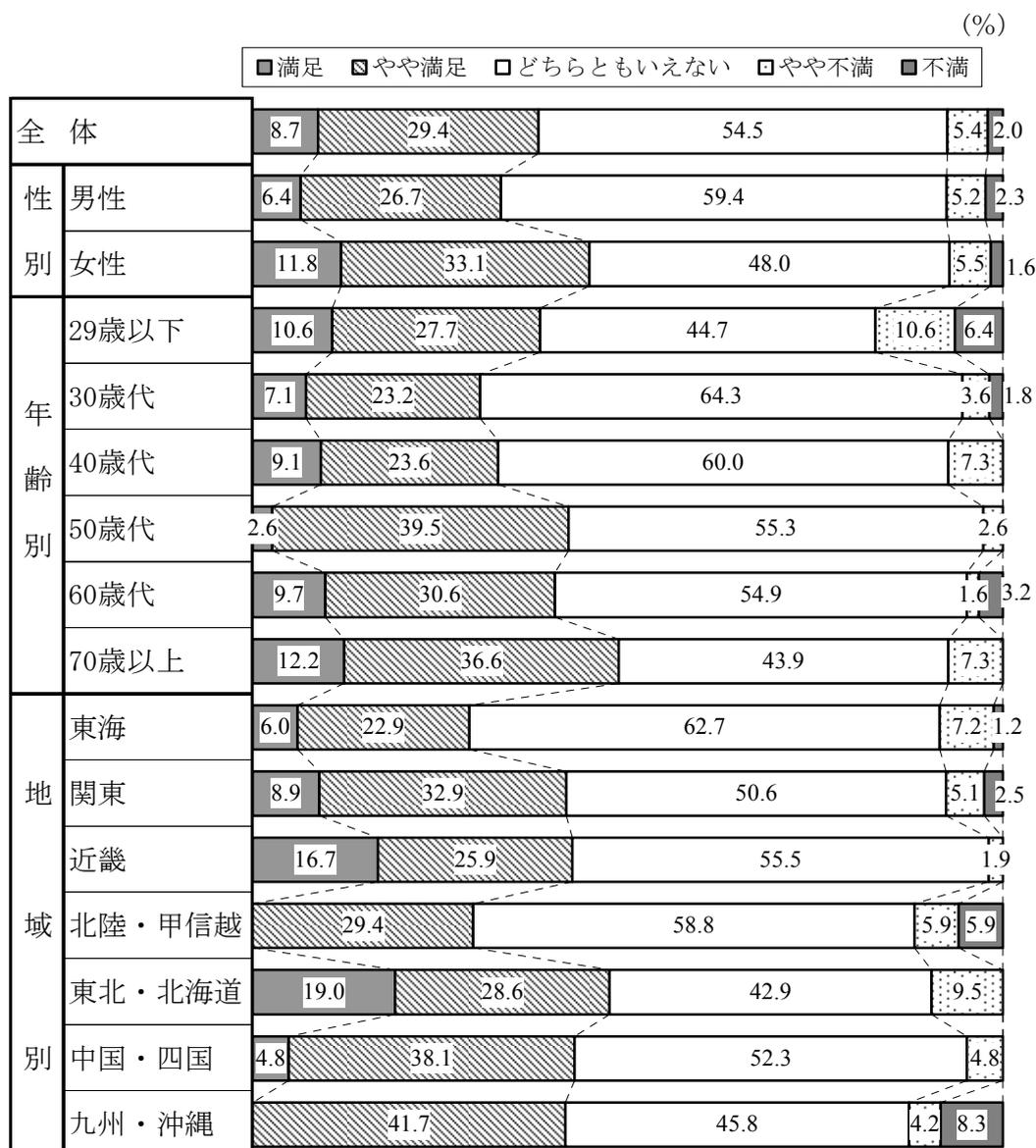
市民の親切さ、親しみやすさについては、「満足」(8.7%)と「やや満足」(29.4%)を合わせ38.1%が満足と感じている。「どちらともいえない」が54.5%と過半数を占めており、「やや不満」(5.4%)と「不満」(2.0%)を合わせ7.4%が不満と感じている。

性別にみると、満足と感じる割合は女性(44.9%)の方が高く、男性では6割が「どちらともいえない」と回答している。

年齢別にみると、満足と感じる割合は30歳代から40歳代で3割程度と低い。また、29歳以下では不満と感じる割合が17%と多い。

地域別にみると、「東北・北海道」では半数近くが満足と感じている。一方、「東海」「北陸・甲信越」と比較的近場からの訪問者では満足と感じる割合が3割以下と低い。

図 2-4-15 市民の親切さ、親しみやすさの評価



d. おみやげ品の評価

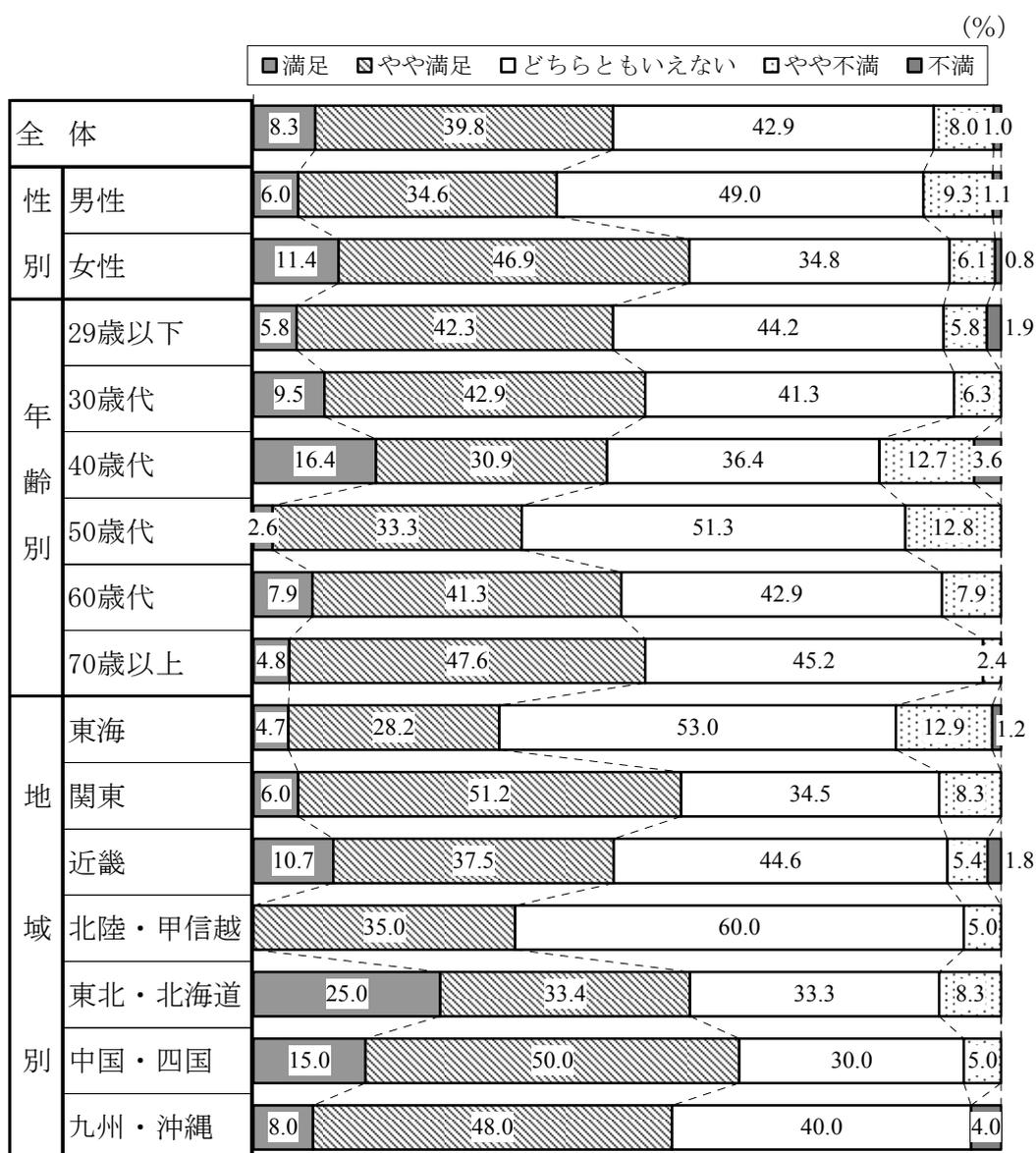
おみやげ品については、「満足」(8.3%)と「やや満足」(39.8%)を合わせ48.1%と半数が満足と感じており、「やや不満」(8.0%)と「不満」(1.0%)を合わせた9.0%が不満とじている。

性別にみると、満足と感ずる割合は女性(58.3%)で高く、男性では「どちらともいえない」が半数となっている。

年齢別にみると、仕事目的の割合が高い50歳代以外の年代では満足と感ずる割合が半数前後を占めている。一方、不満と感ずる割合は40歳代で16.3%みられる。

地域別にみると、満足と感ずる割合は、遠方からの方で高い傾向がみられる。

図 2-4-16 おみやげ品の評価

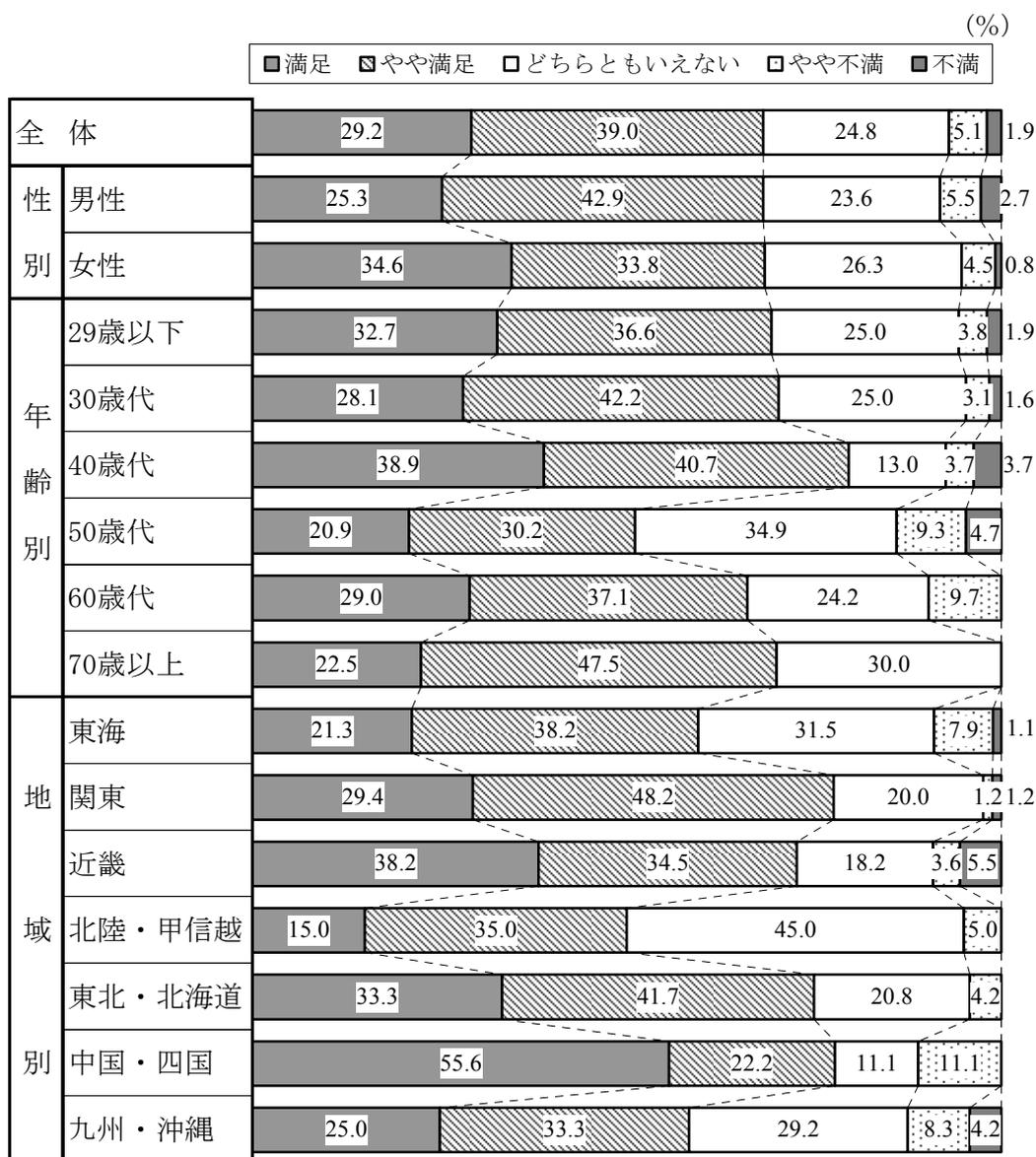


e. なごやめしなどの食事の評価

なごやめしなどの食事については、「満足」が 29.2%と 3 割みられ、「やや満足」(39.0%) を合わせて 68.2%と 7 割程が満足と感じている。一方、「やや不満」(5.1%)と「不満」(1.9%) を合わせ 7.0%が不満と感じている。

属性別にみても、仕事目的の割合が高い 50 歳代を除き総じて満足度は高く、特に「中国・四国」では「満足」の割合が過半数を占め、特に満足度は高い。

図 2-4-17 なごやめしなどの食事の評価

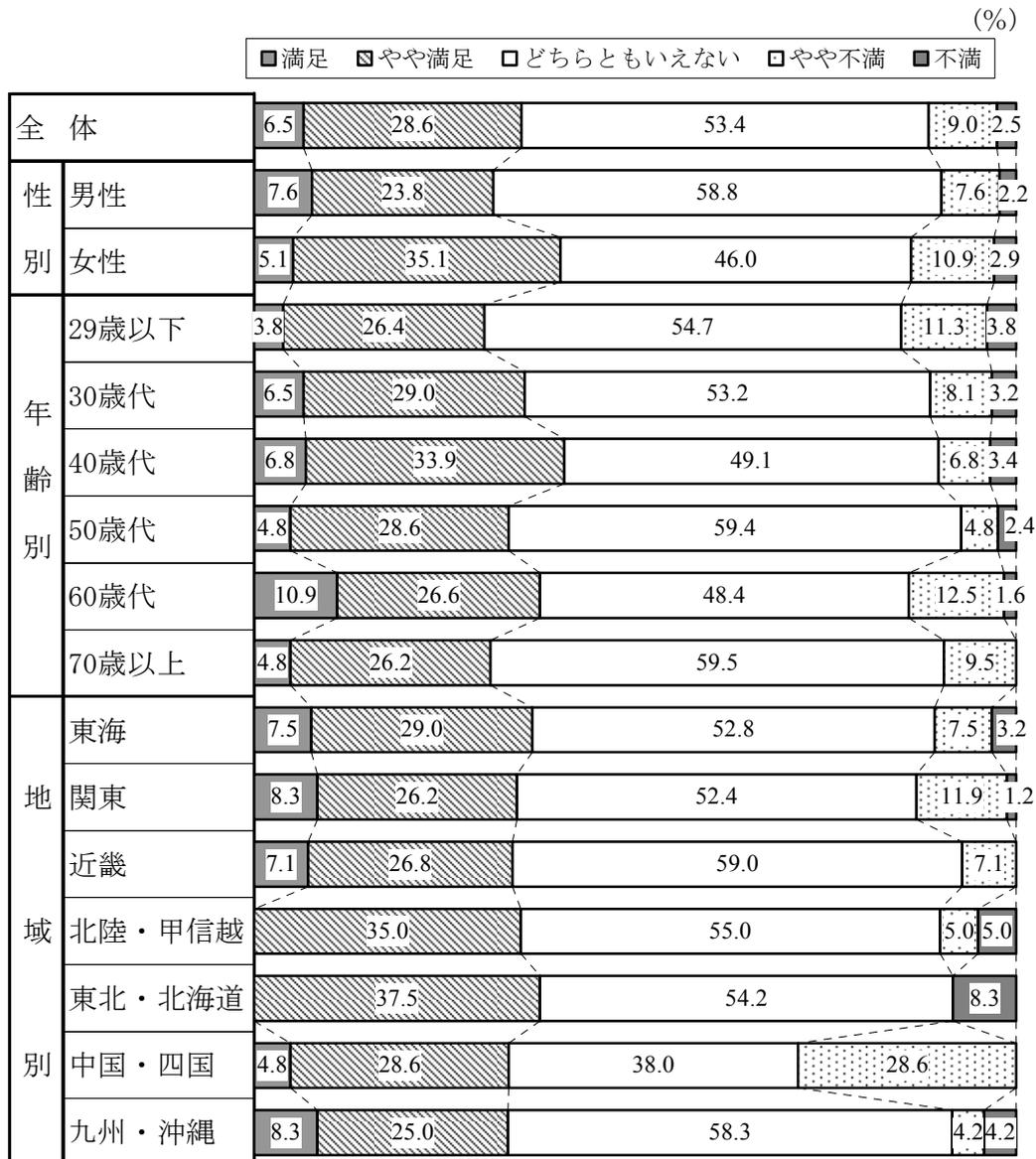


f. 案内表示等のわかりやすさの評価

案内表示等のわかりやすさについては、「満足」(6.5%)と「やや満足」(28.6%)を合わせ35.1%が満足と感じている。「どちらともいえない」が53.4%と過半数を占め、「やや不満」(9.0%)と「不満」(2.5%)を合わせ11.5%が不満と感じている。

満足を感じる割合は全般に3~4割となっている。一方、29歳以下と60歳代では不満を感じる割合が14~15%と相対的に多く、また「中国・四国」からの方では不満と感じる割合が多い。

図 2-4-18 案内表示等のわかりやすさの評価

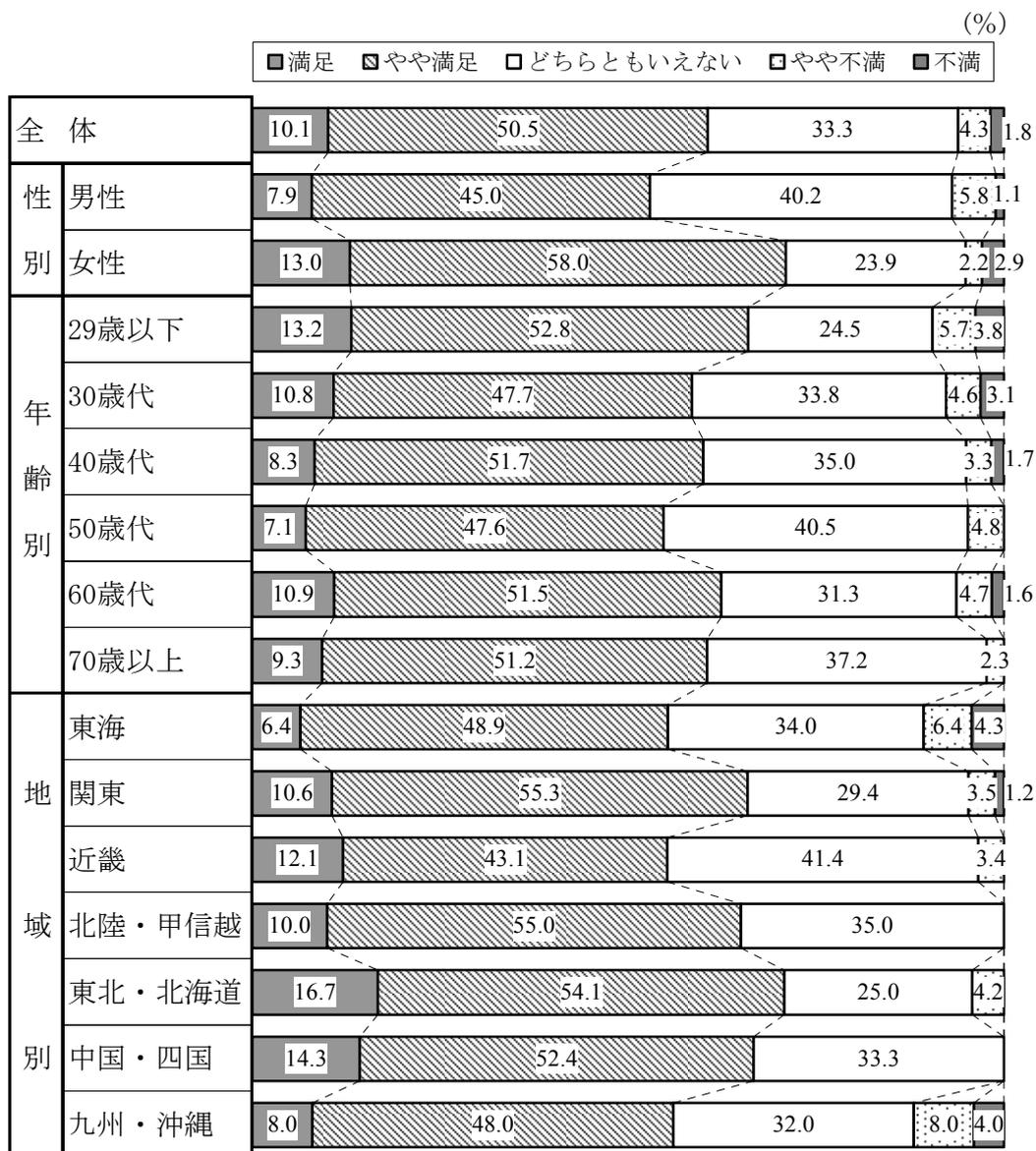


g. 総合的な魅力

総合的な魅力としては、「満足」(10.1%)が1割で、「やや満足」(50.5%)が半数を占め、合わせて60.6%と満足と感じた割合は6割に達しており、「やや不満」(4.3%)と「不満」(1.8%)を合わせた不満と感じる割合は6.1%となっている。

属性別にみても、全ての階層で満足と感じる割合は過半数を占めており、特に女性などでは7割以上が満足と感じている。

図 2-4-19 総合的な魅力



② 名古屋への今後の訪問について

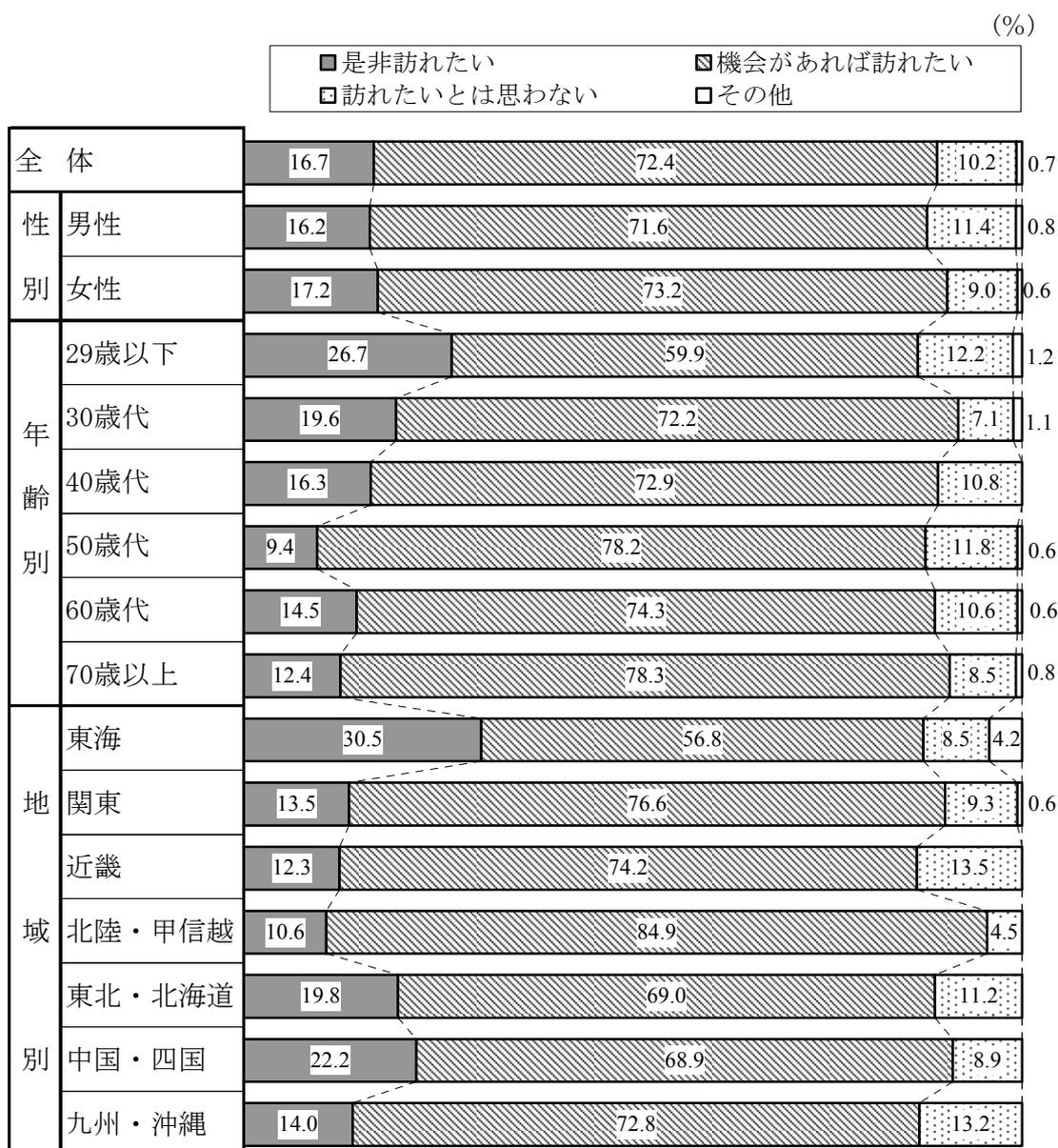
a. 名古屋への訪問意向

今後、名古屋への訪問意向としては、「是非訪れたい」が16.7%で、「機会があれば訪れたい」が72.4%で、合わせて89.1%と9割が訪れたいと考えている。

全ての階層で9割前後が訪問意向を持っている。

「是非訪れたい」という強い訪問意向の割合は、30歳代以下の若い世代や地元「東海」で高い。また、「東北・北海道」と「中国・四国」でも2割程度みられる。

図 2-4-20 名古屋への訪問意向

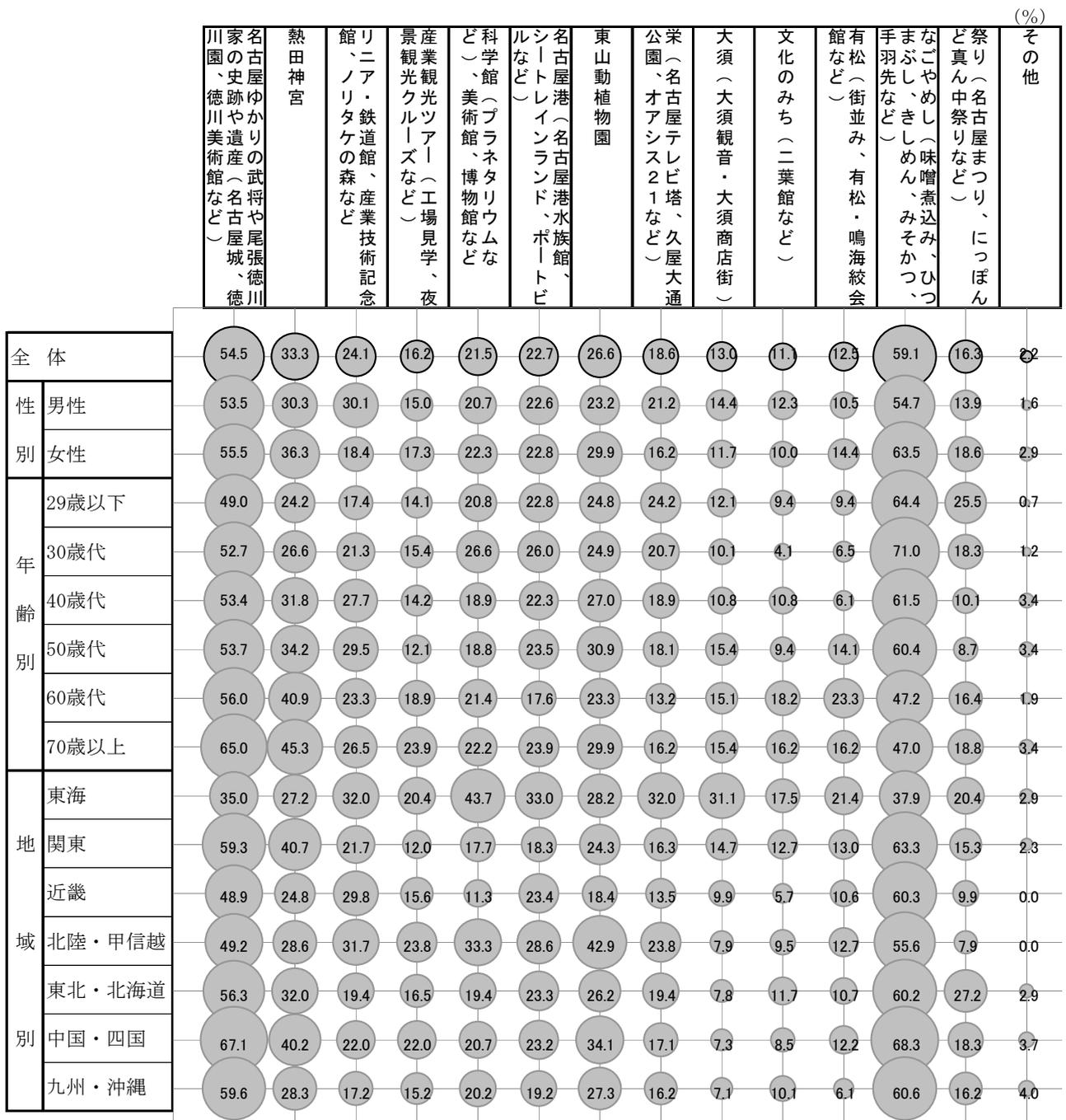


b. 訪れたい名古屋の観光資源

今後、名古屋へ訪れたいと思う方(891人)が訪問したい場所又は経験したいものとしては、「なごやめし」(59.1%)と「名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産」(54.5%)が多い。以下、「熱田神宮」(33.3%)、「東山動植物園」(26.6%)と続き、平成23年に開館した「リニア・鉄道館など」は24.1%で、「名古屋港」(22.7%)、プラネタリウムをリニューアルした「科学館など」(21.5%)が2割台で続き、新たに開館した施設や、リニューアルオープンした施設が上位に入っている。

60歳代以上では「史跡・遺産」が、地元「東海」の方では「科学館など」がそれぞれ最も高く、そのほかの階層では全て「なごやめし」がもっとも高くなっている。

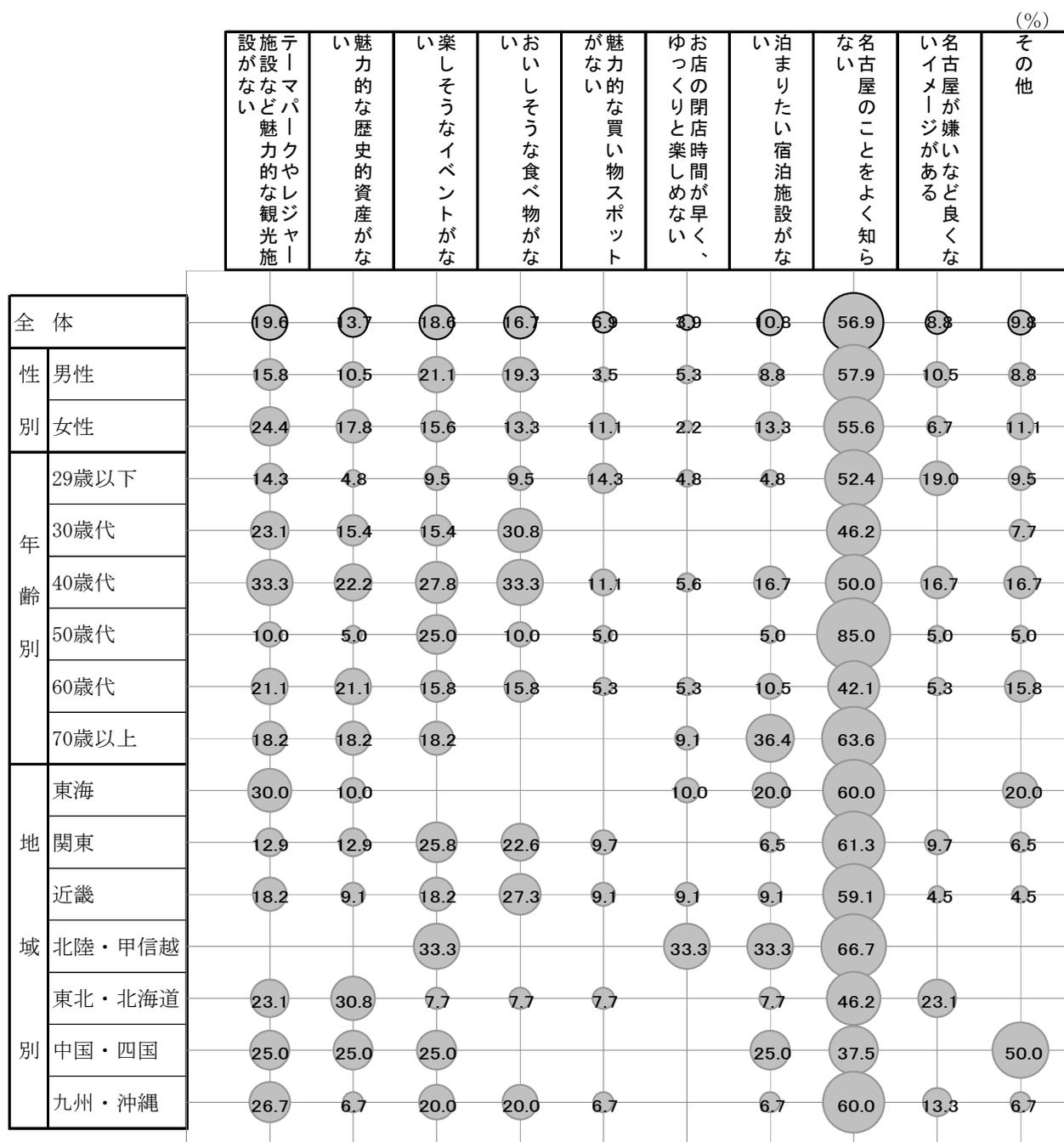
図 2-4-21 訪れたい名古屋の観光資源（複数回答）



c. 訪れたいと思わない理由

名古屋を訪れたいと思わない方（102人）の理由としては、「名古屋のことをよく知らない」を56.9%と6割弱が挙げている。そのほかの理由をみると、「テーマパークやレジャー施設など魅力的な観光施設がない」（19.6%）や「楽しそうなイベントがない」（18.6%）、「おいしそうな食べ物がない」（16.7%）など訪問意向を起こさせる観光資源がないことを挙げている。「名古屋が嫌いなど良いイメージがある」は8.8%と1割に達せず、名古屋の観光資源の周知の徹底が名古屋への訪問意向を高めることにつながるといえる。

図 2-4-22 訪れたいと思わない理由（3つまで回答）

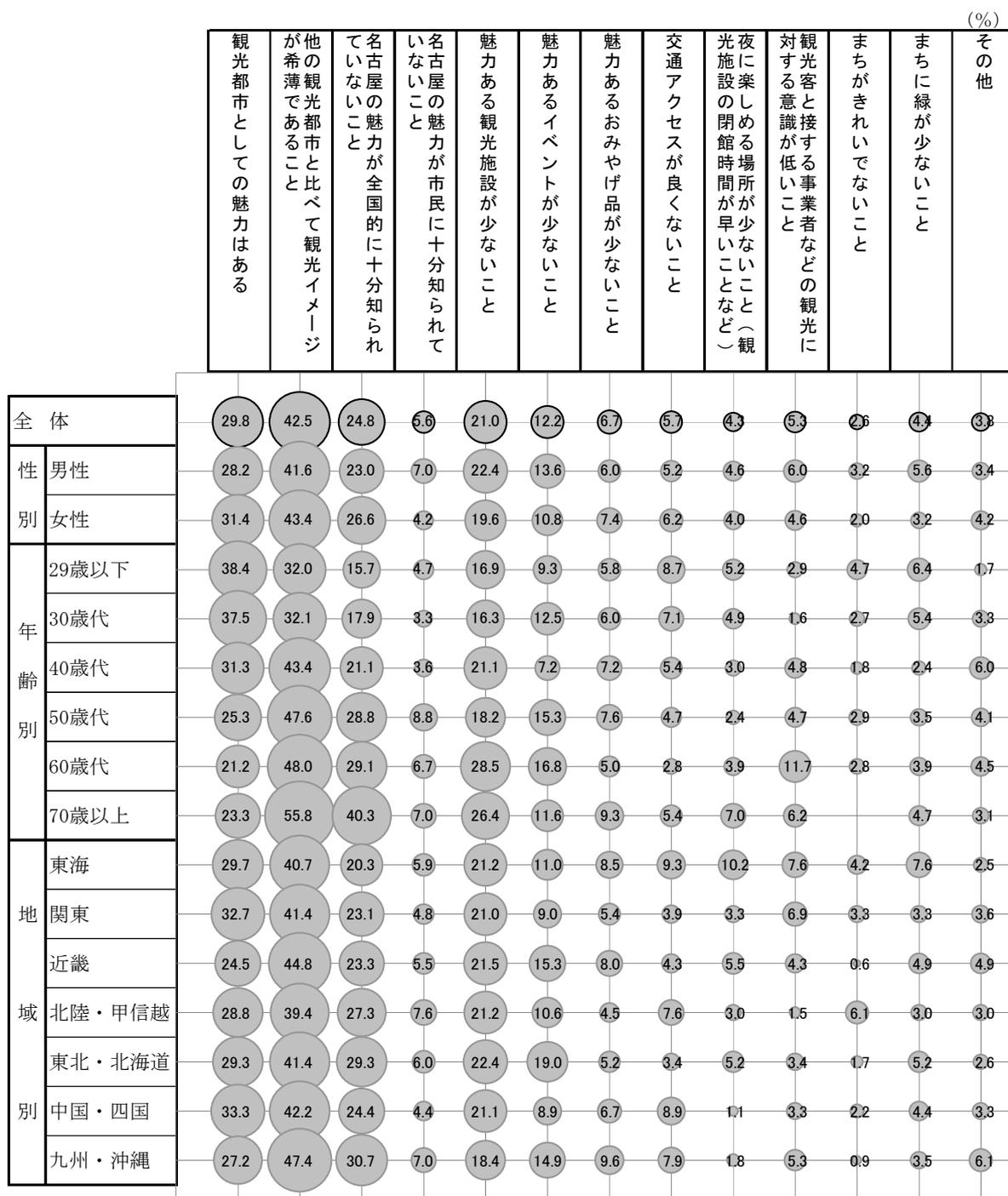


d. 名古屋の観光地としての魅力について

名古屋の観光地として「観光都市としての魅力はある」の割合は 29.8%である。一方、魅力を感じない方の理由としては、「他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること」が 42.5%と最も多く、次いで「名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと」が 24.8%、「魅力ある観光施設が少ないこと」が 21.0%となっている。

「魅力がある」の割合は、年代が若いほど高く 30 歳代以下では 4 割弱となっている。逆に、「観光イメージが希薄であること」は年代が上がるほど高くなっている。また、60 歳代以上では「魅力ある観光施設が少ないこと」も 3 割弱があげている。

図 2-4-23 名古屋の観光地としての魅力（3 つまで回答）



(4) 観光振興について

① 「名古屋おもてなし武将隊」について

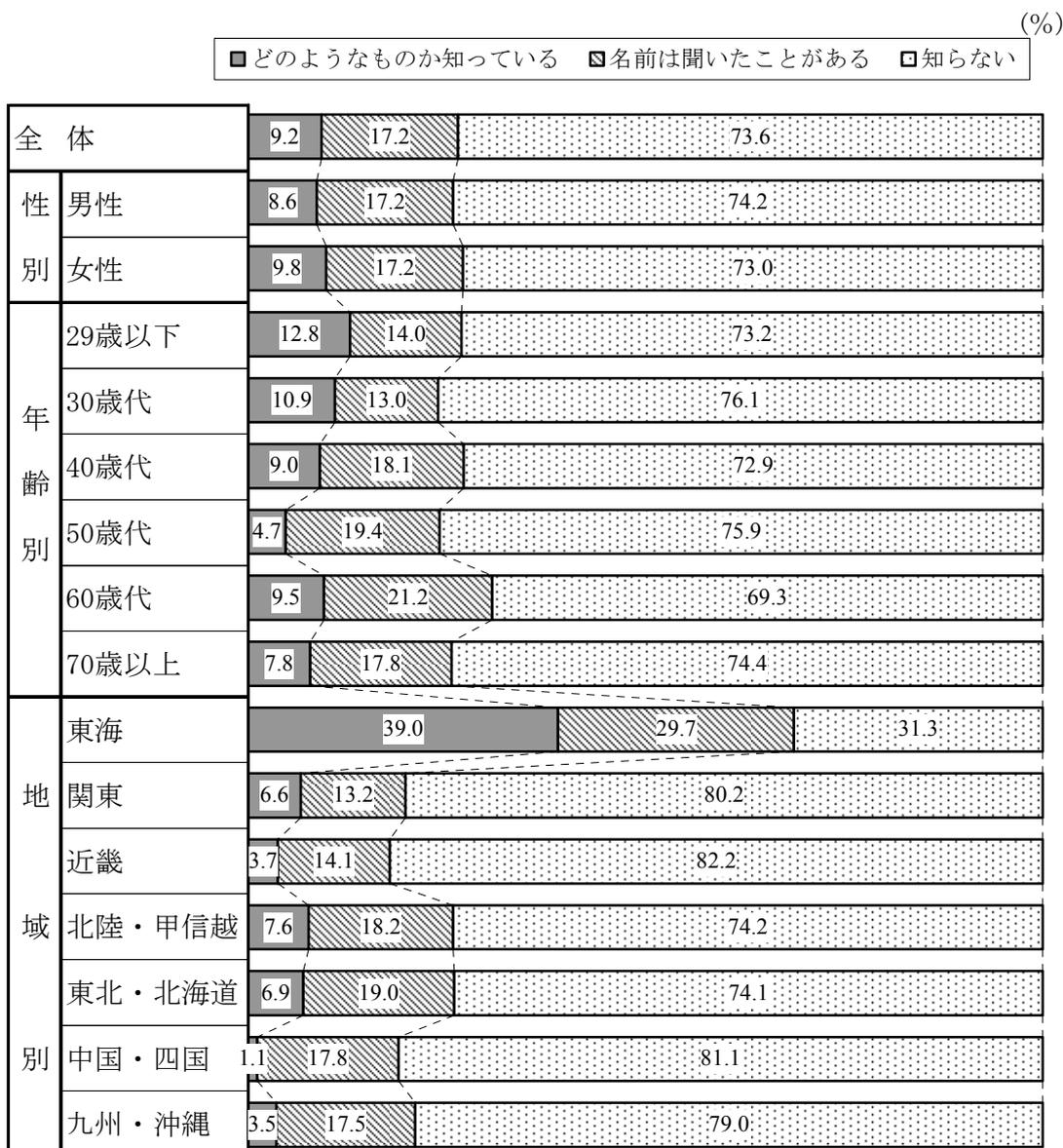
a. 「名古屋おもてなし武将隊」の認知度

平成21年11月に結成した「名古屋おもてなし武将隊」の認知状況としては、「どのようなものか知っている」は9.2%であり、「名前は聞いたことがある」は17.2%で、合わせて認知度は26.4%となっている。

性別、年齢別にみると、60歳代では認知度が30.7%と相対的にやや高いものの、特に大きな差異はみられない。

地域別にみると、認知度は「東海」では68.7%と高いものの、そのほかの地域ではまだ低く、特に「近畿」と「中国・四国」では2割未満となっている。

図2-4-24 「名古屋おもてなし武将隊」の認知度

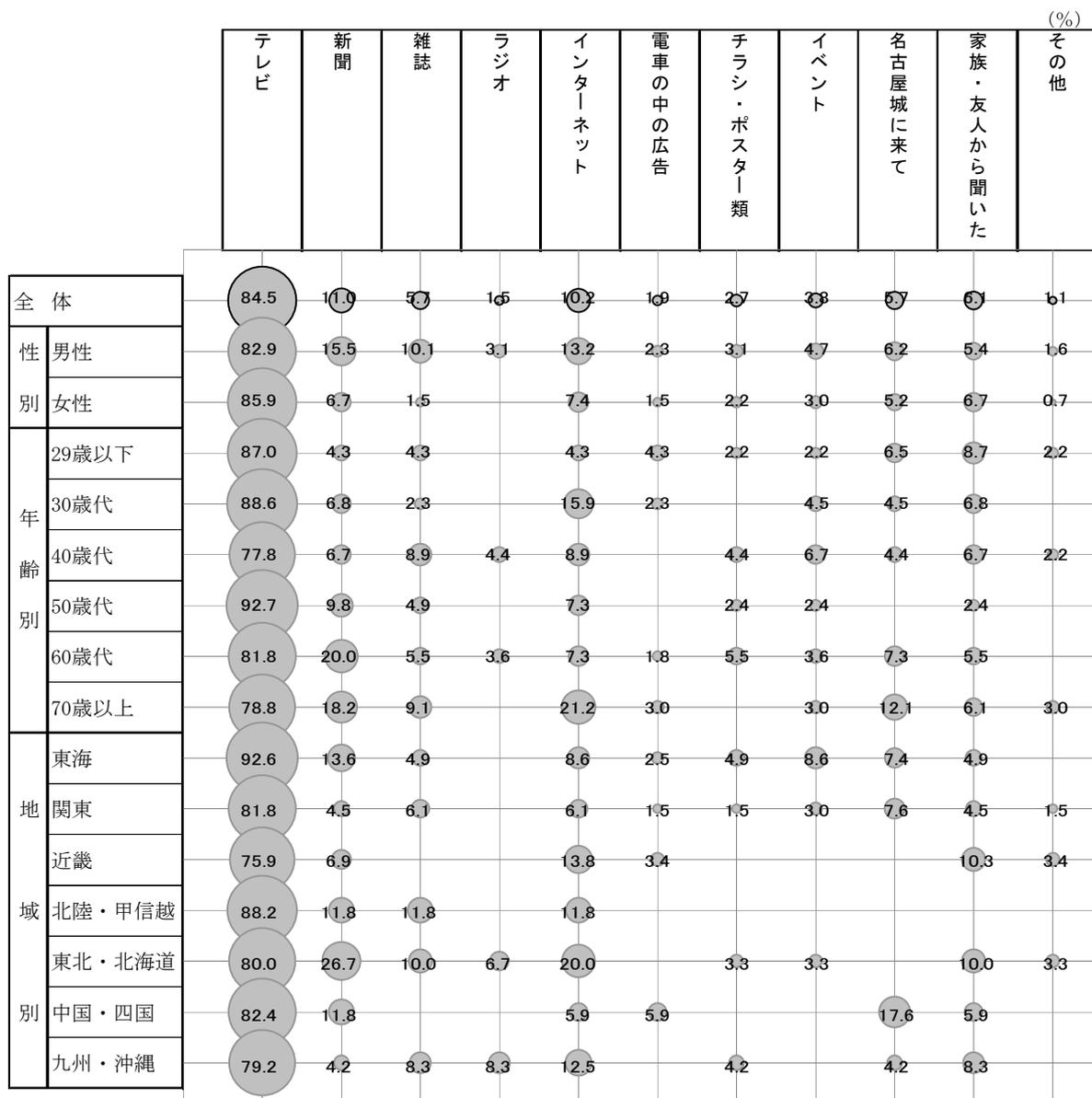


b. 「名古屋おもてなし武将隊」の認知経路

「名古屋おもてなし武将隊」を知っていた方（264人）が知ったきっかけとしては、「テレビ」が84.5%と圧倒的に高い。そのほかでは「新聞」（11.0%）と「インターネット」（10.2%）が1割で、「家族・友人から聞いた」（6.1%）、「雑誌」（5.7%）はそれぞれ数%である。

全ての階層で「テレビ」は圧倒的に高い。

図 2-4-25 「名古屋おもてなし武将隊」の認知経路



c. 「名古屋おもてなし武将隊」観覧意向

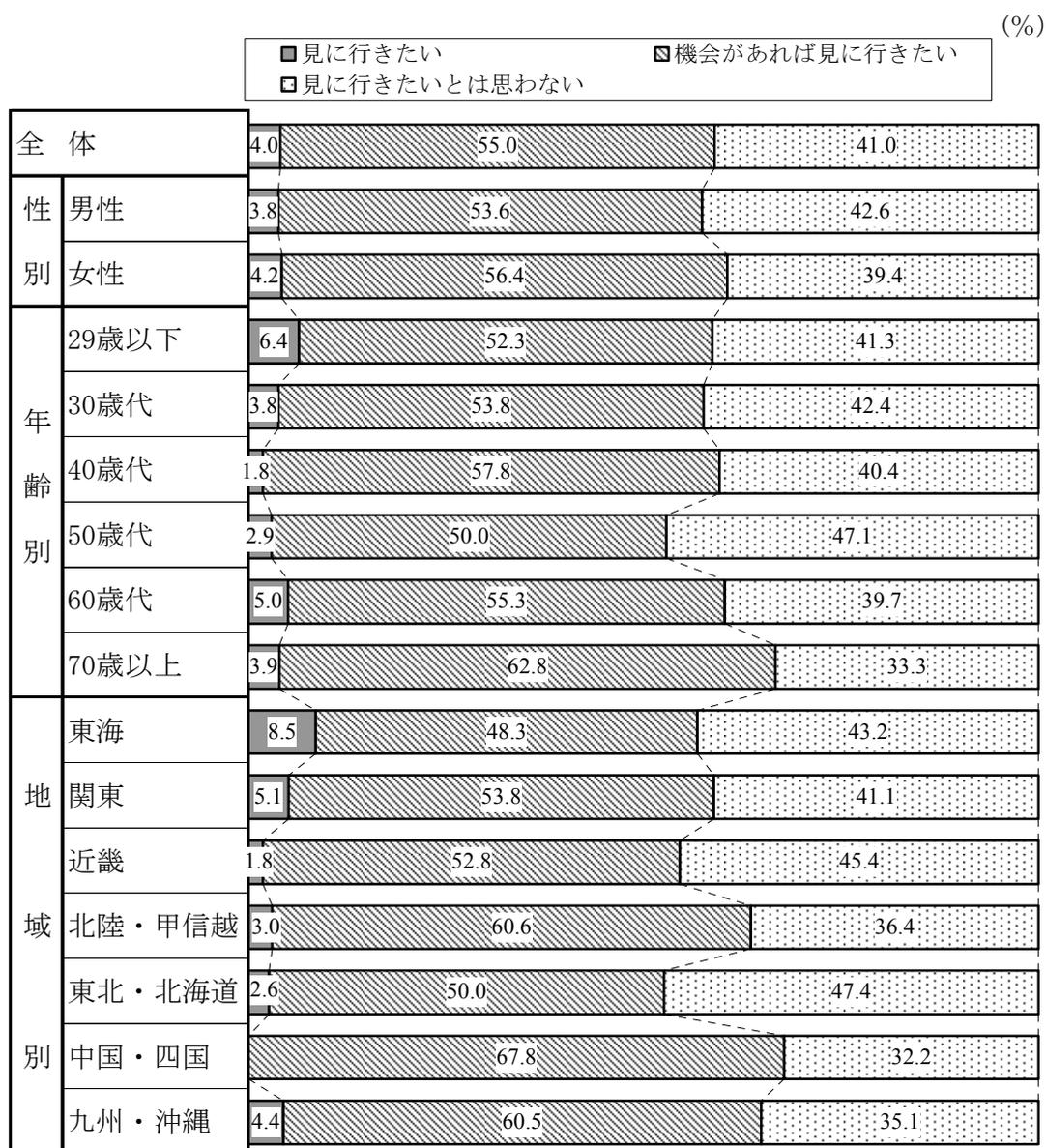
「名古屋おもてなし武将隊」を名古屋に「見に行きたい」割合は 4.0%と少ないものの、「機会があれば見に行きたい」は 55.0%と過半数を占め、合わせて 59.0%と 6 割が観覧意向を持っている。

性別にみても差異はみられない。

年齢別にみると、50 歳代では他の年代に比べやや低い観覧意向となっている。

地域別にみると、「中国・四国」、「九州・沖縄」と西日本では観覧意向が比較的高くなっている。

図 2-4-26 「名古屋おもてなし武将隊」観覧に名古屋への訪問意向



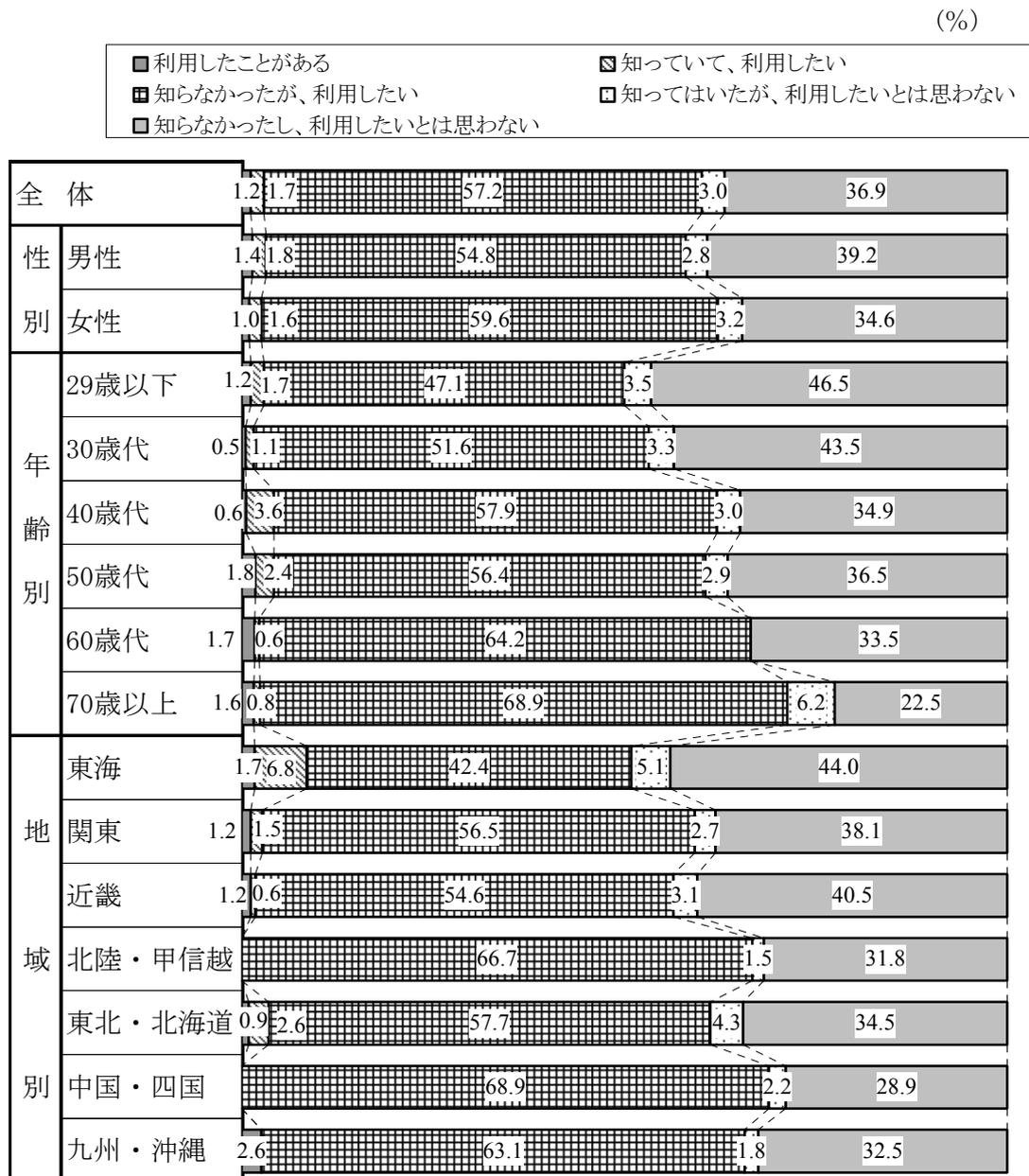
② なごや観光ルートバスの認知度・利用意向

主要観光施設等を周遊する金色の観光ルートバス「メーグル」を「利用したことがある」割合は1.2%と僅かである。「知っていて、利用したい」(1.7%)と「知ってはいたが、利用したいとは思わない」(3.0%)を合わせた認知度は5.9%と低い。また、「知っていて、利用したい」と「知らなかったが、利用したい」(57.2%)を合わせた利用意向は58.9%と6割程度を占めている。

利用意向の割合としては、女性や60歳代以上、遠方の地域で高くなっている。

認知度としては、「東海」でも13.6%と認知度は低い。

図 2-4-27 なごや観光ルートバスの認知度・利用意向



③ 名古屋城「本丸御殿」の復元

a. 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

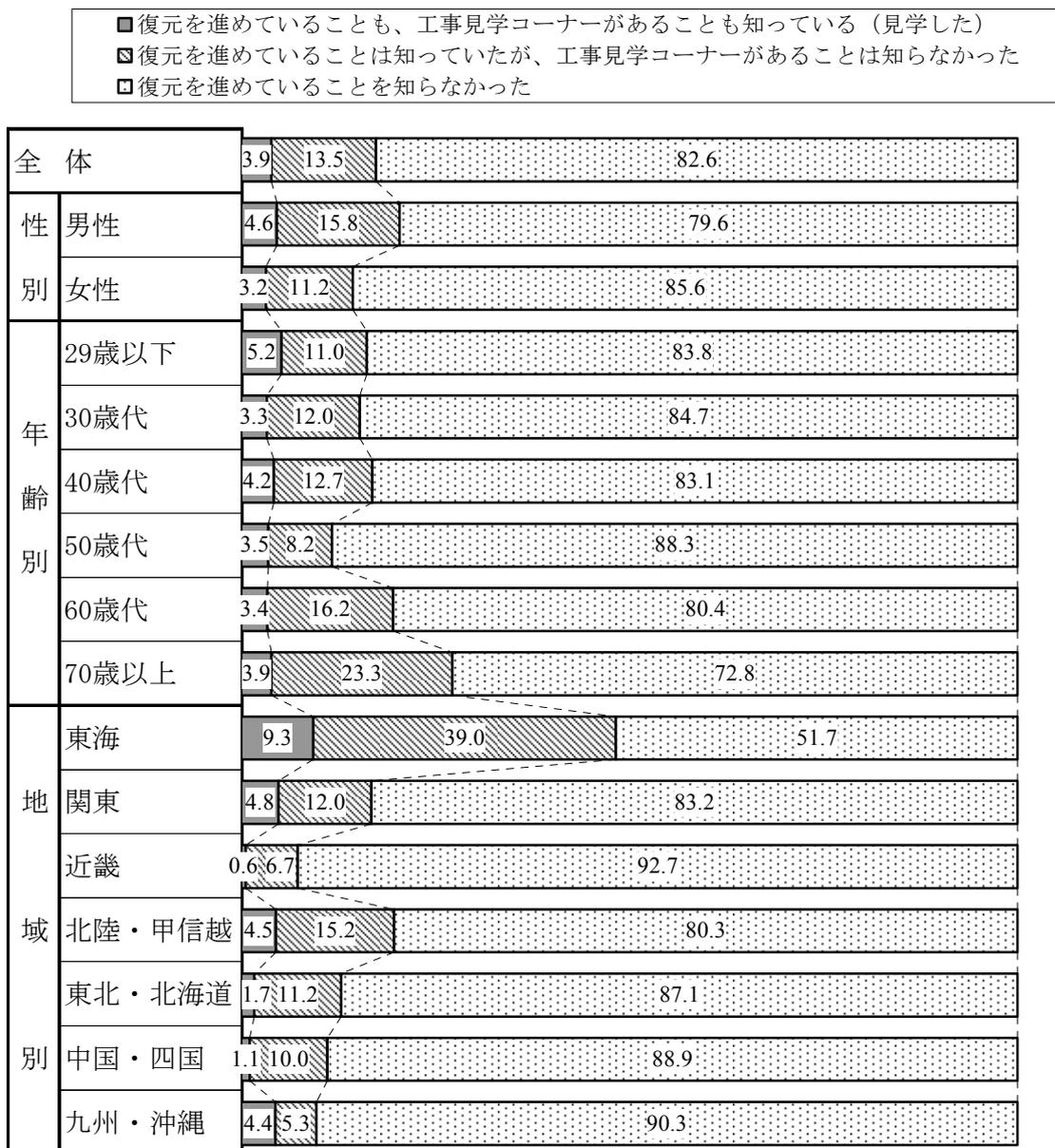
名古屋城「本丸御殿」の復元の取組みについて、「復元を進めていることも、工事見学コーナーがあることも知っている」が3.9%、「復元を進めていることは知っていたが、工事見学コーナーがあることは知らなかった」が13.5%で、合わせて17.4%が「本丸御殿」の復元を知っている。

男性や70歳以上で認知度は相対的に高くなっている。

地域別にみると、「東海」では「復元も、工事見学コーナーも知っている」が9.3%で、「復元は知っていたが、工事見学コーナーは知らなかった」と合わせ「本丸御殿」の復元を知っている割合は48.3%とほぼ半数となっている。

図 2-4-28 名古屋城「本丸御殿」復元の認知度

(%)



b. 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向

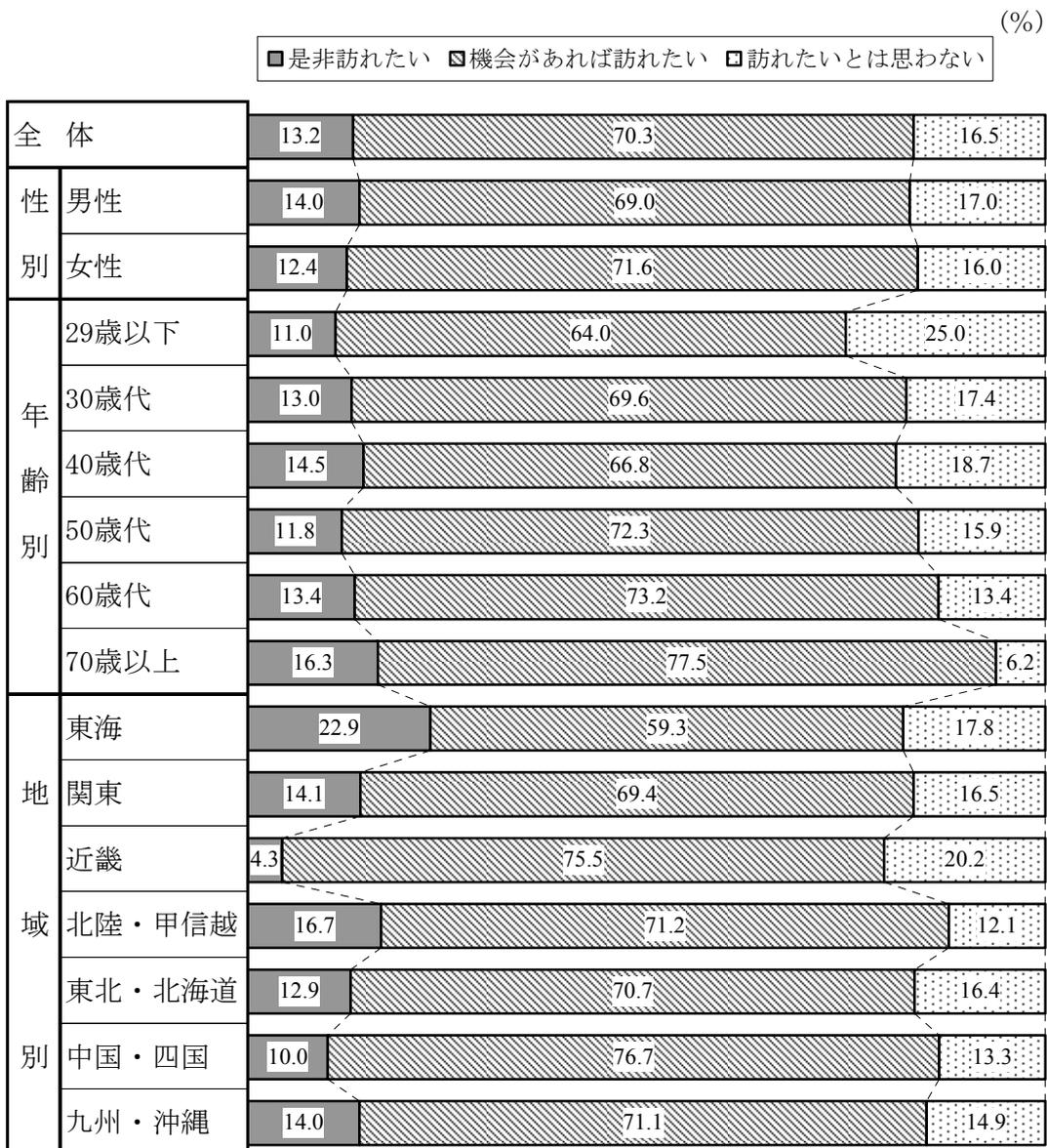
名古屋城「本丸御殿」が復元された場合、「是非訪れたい」は13.2%、「機会があれば訪れたい」(70.3%)を合わせて83.5%が訪問意向を持っている。前述の名古屋への訪問意向(P83 図2-4-20)で訪問意向が無かった方(102人)のうち、4名が「是非訪れたい」、30名が「機会があれば訪れたい」としており、この取組みが名古屋の観光振興に大きく貢献することを示唆している。

性別にみても、大きな差異はみられない。

年齢別にみると、年齢が上がるほど訪問意向の割合が高くなる傾向がみられる。

地域別にみると、訪問意向の割合に大きな差はみられないが、「是非訪れたい」という強い意向の割合は「東海」では2割を超えている。

図2-4-29 名古屋城「本丸御殿」復元後の訪問意向



3. 資料編

(1) 主要観光施設への入込動向

①名古屋市内在主要観光施設への観光入込客数の推移

平成 23 年度における名古屋市内在主要観光施設（30 施設）への入込客数は合計で約 2,206 万人であり、平成 22 年度と比較すると、入込客数は約 134 万人（6.5%）増加している。これにはリニア・鉄道館の開館が大きく寄与している。

観光入込客数を施設別にみると、熱田神宮が約 672 万人と最も多く、次いで東山動植物園（約 203 万人）、名古屋港水族館（約 179 万人）、名古屋城（約 141 万人）、名古屋市科学館（約 153 万人）、農業文化園・戸田川緑地（約 112 万人）、リニア・鉄道館（約 106 万人）となっている。

施設別に昨年度の入込客数と比較すると、プラネタリウムなどをリニューアルした名古屋市科学館、施設を無料化した農業文化園・戸田川緑地などの施設で入込客数の増加を示している。

一方、昨年度の特別展が好評であったための反動があった名古屋市美術館、改修工事による休館があったテレビ塔と名古屋市博物館において入込客数が減少している。また、東日本大震災によるイベント等の自粛や外国人団体客の減少などの影響や天候不順による影響もあった。

②名古屋市内在主要観光施設の月別観光入込客数

主要観光施設の月別入込客数を表 3-1-2 に示す。

熱田神宮は、初詣客を中心に「1 月」の入込客が圧倒的に多く、熱田まつりが開催される 6 月も入込客は多い。

花見の名所である名古屋城、東山動植物園、東谷山フルーツパーク、名古屋市農業センターなどは 3 月～4 月の入込客が多く、紅葉の名所である徳川園、白鳥庭園は 11 月に入込客が多い。また名古屋城は宵まつりが開催される 8 月も入込客は多い。

名古屋市科学館、名古屋港水族館、シートレインランド、リニア・鉄道館、でんきの科学館などは子どもが夏休みの 8 月に入込客が多い。

有松・鳴海絞会館は、絞りまつりが開催される 6 月に入込客が多い。

東山動植物園、農業文化園・戸田川緑地、ブルーボネットなど屋外の施設は全般に 5 月、10 月の行楽シーズンを中心に入込客が多く、東山動植物園は特に 4～5 月及び 10～11 月の入込客が多い。

美術館や博物館の入込客数のピークはまちまちで、時期ではなく特別展など展示内容によって入込客数は変動している。

表 3-1-1 入込客数の推移

(単位：人)

施設	年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
名古屋城		1,196,500	1,246,279	1,352,344	1,517,727	1,414,769
東山動植物園		2,319,341	2,201,822	2,284,853	2,180,296	2,025,336
東山スカイタワー		289,767	298,801	305,625	299,008	273,541
テレビ塔		293,251	285,681	277,343	270,565	201,868
熱田神宮		6,512,112	6,417,500	6,652,665	6,713,174	6,716,036
名古屋港		643,632	586,788	526,306	464,479	462,104
名古屋市科学館		618,956	607,864	606,157	481,957	1,531,854
徳川美術館		219,494	239,506	218,048	210,408	204,215
名古屋市博物館		538,476	448,153	483,413	513,426	400,384
東谷山フルーツパーク		568,804	570,675	560,584	512,211	513,454
農業文化園・戸田川緑地		691,262	938,998	1,057,523	995,286	1,116,600
でんきの科学館		353,727	360,082	349,124	412,420	336,167
名古屋市美術館		374,303	474,264	380,365	463,085	309,872
名古屋港水族館		2,116,681	1,907,127	1,725,373	1,766,343	1,785,853
産業技術記念館		263,854	270,121	226,226	273,926	249,740
白鳥庭園		91,713	93,289	104,610	119,487	113,872
市政資料館		60,143	73,362	73,312	72,313	67,622
名古屋能楽堂		186,408	194,109	187,096	183,889	166,925
愛知県美術館		803,967	682,896	868,544	732,339	711,001
名古屋市農業センター		612,259	630,033	620,193	573,718	609,918
シートレインランド		731,388	690,717	638,597	623,193	604,748
有松・鳴海絞会館		179,689	213,812	177,211	177,631	159,824
ランの館		131,262	144,427	136,039	142,530	129,967
名古屋ボストン美術館		175,661	238,153	400,667	110,126	101,878
ノリタケの森		413,566	398,606	367,569	337,468	341,939
ブルーボネット		77,968	74,364	74,261	73,587	65,831
徳川園		249,227	256,921	258,143	242,024	251,721
文化のみち二葉館		35,792	33,716	40,325	38,056	32,191
イタリア村		1,272,200	66,500	-	-	-
ロボットミュージアム		333,508	-	-	-	-
スカイプロムナード		630,000	240,000	165,000	124,553	107,124
リニア・鉄道館		-	-	-	98,961	1,057,424
合 計		22,984,911	20,884,566	21,117,516	20,724,186	22,063,778

注 1：リニア・鉄道館は平成 23 年 3 月に開館した。

注 2：名古屋港は、ポートビル展望室、名古屋海洋博物館、南極観測船ふじの入場者の合計数。ロボットミュージアムは平成 19 年 9 月、イタリア村は平成 20 年 5 月にそれぞれ閉館した。

表 3-1-2 施設別・月別入込客数

(単位：人)

施設	年月	平成 23 年 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
名古屋城		169,340	144,091	79,384	85,859	202,117	98,215	127,615	123,730
東山動植物園		298,045	308,147	113,998	73,377	176,867	149,756	261,832	224,507
東山スカイタワー		36,551	35,709	13,587	12,829	26,372	20,742	30,127	28,111
テレビ塔		19,359	25,222	16,180	18,994	31,116	19,193	19,554	19,740
熱田神宮		166,250	206,896	445,729	165,795	159,992	151,130	204,638	257,434
名古屋港		35,834	59,594	26,600	36,933	66,066	34,495	39,825	44,612
名古屋市科学館		113,719	138,879	119,155	177,577	283,861	91,165	104,799	100,374
徳川美術館		11,726	17,530	14,118	13,812	16,957	15,804	22,194	24,603
名古屋市博物館		22,915	45,648	33,426	31,168	47,768	0	10,639	53,613
東谷山フルーツパーク		151,133	58,202	24,380	22,509	24,696	29,883	60,157	35,965
農業文化園・戸田川緑地		121,361	212,627	56,275	97,375	89,867	91,115	122,376	80,749
でんきの科学館		35,040	38,125	22,975	25,400	46,880	17,964	28,002	22,516
名古屋市美術館		92,769	12,467	16,899	47,950	62,386	21,121	15,633	7,936
名古屋港水族館		112,193	201,091	109,204	176,370	366,355	132,458	131,628	104,245
産業技術記念館		17,178	22,955	17,531	19,138	30,197	18,765	28,997	26,771
白鳥庭園		12,772	11,598	6,340	3,324	4,160	8,017	10,475	25,194
市政資料館		6,758	5,612	4,445	4,356	4,578	6,179	7,754	7,740
名古屋能楽堂		16,475	12,045	15,703	15,539	9,856	14,859	14,968	16,228
愛知県美術館		49,962	47,304	41,033	73,722	90,232	48,580	43,578	47,082
名古屋市農業センター		48,139	47,849	21,908	28,545	19,718	25,481	31,888	55,049
シートレインランド		41,244	52,786	37,685	65,344	106,150	44,638	43,104	40,236
有松・鳴海絞会館		5,316	9,637	89,791	6,472	6,780	5,995	9,164	8,397
ランの館		7,579	11,941	8,913	9,303	12,656	8,295	18,300	10,912
名古屋ボストン美術館		1,736	4,478	4,746	5,629	9,147	6,720	12,603	11,571
ノリタケの森		22,037	34,816	24,398	26,024	32,108	28,232	38,366	39,243
ブルーボネット		9,990	19,051	5,757	3,779	2,089	3,877	10,617	4,615
徳川園		24,959	22,764	14,396	12,120	15,864	14,065	22,290	46,905
文化のみち二葉館		2,702	2,922	2,179	1,907	1,869	1,852	4,188	3,512
スカイプロムナード		7,076	9,726	7,386	10,045	12,521	9,969	9,004	8,376
リニア・鉄道館		110,466	119,222	90,490	97,964	150,948	75,114	81,697	77,640
全 体		1,770,624	1,938,934	1,484,611	1,369,159	2,110,173	1,193,679	1,566,012	1,557,606

◆調査対象施設の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象施設を選定しており、平成 20 年度には、1 施設（ロボットミュージアム）を除き、平成 21 年度には、1 施設（イタリア村）を除き、平成 22 年度には、1 施設（リニア・鉄道館）を加え 30 施設を調査対象とした。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上である市内観光施設を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

(単位：人)

施設	年月	平成 23 年 12 月	平成 24 年 1 月	2 月	3 月	合計	備 考
名古屋城		74,229	90,425	80,363	139,401	1,414,769	
東山動植物園		81,642	90,744	77,311	169,110	2,025,336	
東山スカイタワー		17,189	15,142	11,398	25,784	273,541	
テレビ塔		24,380	8,130	0	0	201,868	平成 24 年 1 月 10 日から休館
熱田神宮		162,978	4,430,152	188,745	176,297	6,716,036	
名古屋港		27,702	28,723	26,220	35,500	462,104	
名古屋市科学館		78,970	89,388	89,504	144,463	1,531,854	
徳川美術館		6,991	13,604	19,936	26,940	204,215	
名古屋市博物館		23,818	42,942	64,589	23,858	400,384	平成 23 年 9 月～10 月 17 日休館
東谷山フルーツパーク		18,428	20,231	24,875	42,995	513,454	
農業文化園・戸田川緑地		46,374	55,417	49,499	93,565	1,116,600	
でんきの科学館		17,958	22,610	25,861	32,836	336,167	
名古屋市美術館		8,368	1,697	9,071	13,575	309,872	
名古屋港水族館		96,815	100,683	84,738	170,073	1,785,853	
産業技術記念館		14,877	15,537	16,678	21,116	249,740	
白鳥庭園		9,039	9,094	5,149	8,710	113,872	
市政資料館		4,178	4,082	4,992	6,948	67,622	
名古屋能楽堂		14,427	15,692	9,855	11,278	166,925	
愛知県美術館		57,826	83,890	83,622	44,170	711,001	
名古屋市農業センター		15,743	16,329	33,189	266,080	609,918	
シートレインランド		48,745	37,517	33,069	54,230	604,748	
有松・鳴海絞会館		3,959	4,012	3,850	6,451	159,824	
ランの館		16,850	7,996	7,504	9,718	129,967	
名古屋ボストン美術館		8,278	14,023	15,319	7,628	101,878	
ノリタケの森		23,577	20,686	23,421	29,031	341,939	
ブルーボネット		1,363	0	238	4,455	65,831	
徳川園		17,180	16,661	19,109	25,408	251,721	
文化のみち二葉館		1,748	1,707	4,451	3,154	32,191	
スカイプロムナード		13,001	6,889	4,925	8,206	107,124	
リニア・鉄道館		41,018	60,040	57,735	95,090	1,057,424	平成 23 年 3 月開館
全 体		977,651	5,324,043	1,075,216	1,696,070	22,063,778	

(2) 名古屋のまちの印象 (自由回答より)

観光入込客、宿泊客に名古屋のまちの印象を尋ねたところ、次のような意見があげられた。

良い印象

【観光施設・観光スポット】

- ・名古屋城の中の資料館がすごく興味深かった。電車が多くどこからでも目的地に行けるのが便利だった。(女性 20代)
- ・名古屋城が大きくて良かった。本丸御殿ができればまた来てみたい。(女性 30代)
- ・名古屋城は城ではなく、博物館。名古屋は都会で道が広い。(女性 50代)
- ・本丸御殿を早く見たい。(男性 70歳以上)
- ・とても楽しいです。本丸を早く建てて下さい。武将にまつわる重要文化財を見てみたい。(女性 30代)
- ・ノリタケは都会のオアシス、安らぎがある。(女性 50代)
- ・ノリタケの森は落ち着いていてきれいだし、街で買い物もできるから満足。(女性 20代)
- ・名古屋駅からノリタケの森へ行く際、道路に方向を示すタイルが埋め込まれていて便利だった。(女性 30代)
- ・水族館がとても良かった。活気があって良い。(女性 20代)
- ・動物園や水族館は駅から近いので行きやすくてよい。(男性 20代)
- ・イルカショーがとても良かった。(女性 30代)
- ・熱田神宮の景観がよく、気持ちよかった。(女性 30代)
- ・熱田神宮に来ると厳かな気持ちになる。(男性 70歳以上)
- ・他のところに比べ綺麗。リニアがよい。名古屋城も良い。武将隊が好き。(女性 20代)
- ・リニア鉄道館では一日中遊ぶことが出来、大変よかった。(男性 10代)
- ・ポートメッセへのアクセスがよくなった。名古屋駅近辺もきれいになった。(女性 30代)
- ・久屋大通公園は広々として、歩いていて楽しかった。(男性 20代)
- ・地下鉄東山線が混むので、もう少しスムーズに乗れるといい。電車料金も安いと交通機関を使う人が増えると思う。徳川美術館のお茶室はすてきで癒された。(女性 30代)
- ・市内に多くの歴史的観光施設があり、何度も訪れたいです。(女性 40代)
- ・京都の手前ということで歴史的な価値を見過ごしていた。けっこう面白い。(女性 50代)
- ・非常に好きな街。交通の便も良いし、観光スポットがほぼ集約されているので便利。(男性 30代)
- ・名古屋は好き。もっと全国から人が集まる施設を造ってください。(男性 30代)
- ・名古屋グルメがおいしい。観光地もたくさんあり、回りきれないなので、また来たい。路上駐車が目立つ(名古屋城周辺等)せつかくの景観が損なわれていると思った。(女性 30代)
- ・レジャー施設も多く、グルメ、お土産等、他の都市と比べてすべてで満足できる。何度来ても楽しめる。(女性 30代)
- ・街づくりが素晴らしいし、観光するところも多い。(男性 50代)
- ・興味があるものが増えてきた。(男性 30代)
- ・何回来ても楽しい所。(女性 40代)

【名古屋まつりなど行・催事、イベント】

- ・武将隊を今の状態で存続させて欲しい。他の地方の武将隊とは比較にならないぐらい盛り上がっている。(女性 20代)
- ・武将隊の人気の衰えを改めて名古屋城に来ると感じる。(女性 30代)
- ・武将隊を見れて良かった。(男性 40代)

- ・ 武将隊のファンですので、もっとイベントを盛り込んでください。来年以後もおもてなし武将隊を続けてください。(男性 50代)
- ・ おもてなし武将隊が名古屋の観光発展にとっても良いと思います。(女性 50代)
- ・ 名古屋まつりが大変良かった(行列)。(女性 40代)
- ・ 名古屋祭りの行列が華やか。(男性 30代)
- ・ 郷土英傑行列が非常に良かったです。(女性 20代)
- ・ 無料開放されている施設があってよかった。土日切符が便利だった。(男性 30代)

【風景、景観】

- ・ 建物のデザインが良い。街がきれい。アーケードがほしい。(男性 50代)
- ・ 美しい町並みです。(男性 60代)
- ・ 街並みがきれいでイルミネーションが素敵だった。(女性 20代)
- ・ 栄地区の道路の広さや街灯の美しさにびっくりした。今回はコンサートで訪れたので、ぜひ観光でも訪れたい。名古屋グルメも最高。街全体が暖かい雰囲気でもた必ず来ます。(女性 40代)
- ・ 都会だなと思った。張り紙がなくてキレイでよい。グルメもおいしい。(女性 30代)
- ・ 名古屋はゴミが少なく、きれい。(男性 60代)
- ・ 都市内に公園があるのが良い。(男性 30代)
- ・ 公園がたくさんあるのが良い。(女性 50代)
- ・ 街の中でも緑が多くてよいところだと思います。(女性 40代)
- ・ 思ったより自然もあり、きれい。名古屋名物もとてもおいしかった。(女性 30代)
- ・ 街の至るところに思っていた以上に樹木が多く、とてもいいところだと思います。(女性 50代)

【歴史との融合】

- ・ 商業施設と観光名所のバランスが取れています。これからも古い物を残し、新しい物の創造を期待しています。(男性 40代)
- ・ 城や歴史的建造物があって、さらに都会的要素も満載なところなので好き。熱田神宮に来るのにJR以外を考えたが、よくわからなかった。JR、私鉄、地下鉄がまとまった路線図が構内にあると良い。(女性 20代)
- ・ 都会的な町並みと田舎風でレトロな町並みの両方あって良い。(女性 20代)
- ・ 都会の中にも名所が多い。(女性 20代)
- ・ 昔ながらの街並が残っていて、とても良い雰囲気だと思う。(女性 30代)
- ・ 古い建物があり、でも都会でとても良い所。(男性 20代)

【町の雰囲気、住みやすさ、発展性】

- ・ 名古屋は大都会だと思う。こんなに発展しているとは思わなかった。独特の食文化をもっている。(女性 50代)
- ・ 毎年、道路が整備拡張され、駅周辺が進化成長、拡大していて活気を感じる。やはり成長する大都市だと思う。(男性 60代)
- ・ 人がいっぱい居るけど静かでおだやかだった。(男性 10代)
- ・ 人が多い。特に若い人が多いと思う。科学館が楽しめた。(男性 40代)
- ・ 外国人が多く、にぎわっている。車の運転が荒い。(男性 50代)
- ・ 都会で静かな印象。(女性 40代)
- ・ 人が多すぎない所が良い。(女性 50代)

- ・にぎわっている場所と落ち着いた場所、それぞれ楽しめて満足。名古屋グルメを毎回楽しみに来ている。(女性 20代)
- ・非常に活気があり元気な街のイメージが強く残りました。(男性 30代)
- ・食べ物が美味しくて、街が華やかなイメージ。(女性 20代)
- ・公共交通が発達していて、いろんな所に行ける。街自体がコンパクトで機能的。歴史もあり、新しい施設もあり、とても楽しいところ。(女性 50代)
- ・街がきれい。せかせかしていなくて良い。(女性 50代)
- ・都会なのに排他的なところがなく、フレンドリーなところが、また来たいと思った。案内表示もわかりやすくて良かった。(女性 50代)
- ・大変活気があり、元気が出る。(男性 50代)
- ・安全な街。(女性 30代)
- ・すっかり様変わりしていてびっくり。立派な近代都市。特に名古屋駅は大きい。しかし、少し雑然、雑踏で年寄りには疲れた。駅周辺の案内が不手際でハッキリしない。何回も聞いて困った。(男性 70歳以上)
- ・中心街は高層ビルや商業施設がたくさんあり、華やかな印象。少し離れると自然が多いのでほっとする。名古屋グルメは少し味が濃かったが、独特な味わいだった。(女性 30代)
- ・自分の地元 に似ていて親近感を感じた。子供たちが落ちついたら、名古屋に住みたい。(女性 30代)
- ・これと言った名所、旧跡はないが、居心地はよい都市という印象。(男性 50代)
- ・初めての名古屋だったが、すてきな街だと思う。また必ず来たい。(女性 20代)
- ・街の美しさ、ごみごみした人の多さがなく、住んでいる人の意識の高さを感じた。住みやすい街ではないかと思う。(女性 50代)
- ・他県にない独特の派手さが好き。食事もこだわりがあっておもしろいと思う。気さくな人が多くて好き。(女性 30代)

【店舗、商店街】

- ・栄の町がおしゃれだった。駅員さんや施設の方が親切だった。(女性 30代)
- ・交通の便が良い。ショッピングスポットが多くて楽しめる。(男性 20代)
- ・地下街が迷路のよう。道路が広い。車線が多い。(男性 30代)
- ・名古屋駅の地下街がおもしろかった。(女性 10代)
- ・何でも揃っている便利な街で、ショッピングが楽しめそう。今回はマラソン中心で観光できないが、いつかゆっくり来たい。なごやごはんがおいしいので色々食べたいです。(男性 30代)
- ・駅内や地下街は店が集まり人通りが多く、商店街でご当地物を食べれる店が多いのが良い。しかし、駅を離れると人通りが少なく、景観の統一感がない。(男性 20代)
- ・観光目的では来ないけど、ショッピング、食事は満足。名古屋はものづくりで活気を増し、美観、治安を保ってほしい。(女性 60代)
- ・きれいで駄菓子屋さんがいっぱいあって、住んでみたい。ご飯が美味しい。(女性 20代)

【名古屋グルメ】

- ・モーニングサービスが良い。(女性 20代)
- ・喫茶店でコーヒーにお菓子がついてきてびっくり。(男性 30代)
- ・喫茶店が多い。(男性 20代)
- ・手羽先おいしかった。電車も便利そうで、また使いたい。(男性 20代)
- ・名古屋グルメの新たな構築を願う。(男性 40代)

- ・ ひつまぶしが大変美味しかった。名古屋は美味しいものが多い。お店の方の接客も良い所が多い。また来たいと思う。(女性 30代)
- ・ 手羽先とみそカツおいしかった。もつ煮込みは味付けが辛くて福岡とは違いおいしかった。街はさすが第3都市、都会できれい。(女性 40代)
- ・ ご飯が美味しい。名物がたくさんあるので、食べまくりました。(女性 20代)
- ・ 名古屋めしが美味しかった。急いでいる感じがあまりなく、ゆっくり2日間楽しめた。また来たい。(女性 20代)
- ・ 仕事で来ることがほとんどなので、今回は友人同士ゆっくり遊びに来たい。有名な食べ物が沢山食べられて満足でした。(女性 20代)
- ・ 名古屋のご飯がとてもおいしかった。(女性 20代)
- ・ 食べ物がおいしい。種類が多く、一度の旅行では食べきれなかった。又来たいと思った。(男性 40代)
- ・ 独特の味がするおいしいものがたくさんあり良かった。交通が便利でスムーズに移動できた。(男性 20代)
- ・ 地下鉄、タクシーも便利で親切で好印象。名古屋独自のおいしいものもあり、楽しみ。(女性 40代)

【名古屋人、気質】

- ・ タクシーの運転手さんが親切でした。(女性 70歳以上)
- ・ 移動にタクシーを利用したが、近い所でも嫌な顔せず、とても親切にしてくれた。外食でも店員さんの対応も良かった。(女性 40代)
- ・ ハイヤーの案内がやさしい。みなさん、親切。(男性 70歳以上)
- ・ 味噌カツが美味しかった。初めてナゴヤドームに行くので楽しみです。名古屋の人は良い人が多く笑顔が素敵の方がいて、初めて来たけどまた来たいと思った。(女性 20代)
- ・ 名古屋の人はやさしい。(女性 60代)
- ・ 親切な人が多い。(女性 60代)
- ・ 皆さん親切。道を聞いて美味しい店とか色々教えてくれる。(女性 30代)
- ・ 今回は新幹線が3時間遅れ、スケジュールが変わったが、お店の方や駅員の方々の接客にいやされた。また、来春来る予定だが、楽しみにしている。(女性 60代)
- ・ 街並みは美しく快適で良い。譲り合いの精神は市民が共有している財産である。(男性 60代)
- ・ とても素敵な場所が多く、名古屋グルメも大満足。駅の観光案内所の方がとても親切で大変満足。ホテルの接客もすばらしく、また名古屋にゆっくり来てみたい。(女性 30代)
- ・ 名古屋も都心で横浜にいるような気分。ホテルの近くにコンビニもあり、駅にも近くて便利で良かった。観光案内所の方も丁寧な対応で、また利用したい。(女性 40代)
- ・ 町の人が親切。道が広くきれい。横浜と比べて、ゴミや迷惑自転車が少ない。(女性 10代)

【道路・道路交通】

- ・ 道が広くて走りやすい。緑が多くて環境が良い。(男性 50代)
- ・ 道が広い。交通が便利。緑が少ない。(男性 50代)
- ・ 道路が整備されていて車の運転が楽しかった。(男性 40代)
- ・ 道路に緑が多くて景観が良い。(男性 40代)
- ・ 道路は広くてわかりやすいし、美観もよい。路上駐車が多い。(女性 70歳以上)
- ・ 道幅が広く歩きやすい。地下街がわかりにくい。東京と比べ、地下鉄構内の案内表示が少ない。(男性 50代)

- ・道路が広く、動きやすい。わかりやすい道なので、安心できる。ひつまぶし、もう少し手軽にいたただける価格だとうれしい。(女性 30代)
- ・道路や高速の幅が広く、走行しやすく感じた。(女性 40代)
- ・バスレーンがあり、感心した。(女性 40代)
- ・名古屋駅周辺でも駐車場が多く、車移動に不自由しなかった。(男性 40代)
- ・都心部にやたら自転車がも多く感じた。有料駐輪場がよく整備されている。(男性 40代)

【公共交通】

- ・観光バスの本数や時間などの案内が、分かりやすく良いと思います。(男性 20代)
- ・メーグルはとても利便性があり、親切でした。名古屋城閉門時の混雑に対する臨時メーグルには感激した。待つのが寒くてタクシーを考えていたので、臨時メーグルは嬉しかった。(女性 60代)
- ・メーグルは便利で良かった。土日の混む時間帯はもう少し臨時便を。(女性 40代)
- ・バスが便利。(男性 30代)
- ・便利、ゆったり。バス路線も充実している。(男性 50代)
- ・地下鉄が便利でわかりやすい。(女性 20代)
- ・動物園や水族館が電車ですぐ行けるのが良い。市内なので、ついでに買い物もできて良い。(女性 20代)
- ・ドニエコきっぷが便利で助かった。交通費や入園料の割引で得をした感じで、次回も使いたい。(女性 50代)
- ・地下鉄の1日乗車券が便利だった。金額設定も丁度良い。(女性 30代)
- ・公共交通が便利(わかりやすい)。(女性 10代)
- ・交通の便がよく、市外や県外からもアクセスしやすい。(男性 20代)
- ・公共交通の利便性が高い。(女性 50代)

【その他】

- ・名古屋は面白いので、また来ます。(男性 30代)
- ・煙草の禁煙がうれしい。(男性 20代)
- ・トイレがきれいな印象です。使っていて気持ち良かった。(女性 20代)
- ・名古屋に2、3泊したかった。(男性 10代)
- ・楽しい。独特の文化がある。(女性 40代)

不満な点、要望

【公共交通】

- ・地下鉄がわかりにくいので、案内所がほしい。(女性 20代)
- ・バス・地下鉄の利用の仕方がわかりにくい。もっと案内方法を考えてほしい。(男性 50代)
- ・バス路線、案内表示、バス乗り場がわかりにくい。(女性 60代)
- ・電車の乗り降りなど階段が多く、バリアフリー面ができていない。(女性 20代)
- ・地下鉄の階段が多く、荷物を運ぶのが大変。バリアフリー化を進めてほしい。(女性 50代)
- ・メーグルの本数を増やしてほしい。都会に憩いの場(ノリタケの森)があって良い。(男性 50代)
- ・メーグルの本数が少ない。メーグルで行ける所を多くしてほしい。(女性 30代)
- ・地下鉄の本数が少ない。(男性 30代)
- ・地下鉄代高い。(女性 70歳以上)
- ・バス代が高い。(男性 40代)
- ・マナカをすべての交通機関で共通にしてほしい。(男性 40代)

- ・メーグルの本数を増やして欲しい。スイカでも利用できるようにしてほしい。(男性 20代)
- ・平日に市内の観光施設を回る一日パスがあると良い。(女性 30代)
- ・バスで観光施設を回れるようにしてほしい。(女性 50代)
- ・電車の乗換が不便。(女性 10代)
- ・地下鉄の乗換が不便。地下道がわかりにくい。(男性 30代)
- ・公共交通の利便性が悪い。(男性 70歳以上)
- ・あおなみ線にお得な切符があればいいのに。(男性 20代)
- ・公共交通機関の終了時間が早い。(男性 50代)
- ・駅構内が混雑でわかりにくい。(女性 50代)
- ・名古屋駅が人が多く、ごちゃごちゃしていた。(女性 20代)

【道路、道路交通】

- ・高速の上り下りがわかりにくい。(男性 60代)
- ・高速料金がわかりにくい。(男性 30代)
- ・交通標識をわかりやすくしてほしい。(男性 60代)
- ・道がわかりにくい。(男性 50代)
- ・自動車のマナーが悪い。(男性 30代)
- ・道路工事が多い。車の運転が荒い。みそかつはおいしかった。(男性 20代)
- ・路上駐車が多い。(男性 40代)
- ・路駐が多い。信号無視が多い。グルメ最高。きれいで品のある街並み。(女性 20代)
- ・歩道を走る自転車のマナーが悪い。広い歩道があるのに自転車レーンがない。(男性 60代)
- ・バスの本数が少なくて歩いた。歩道を走る自転車がも多く、何度か危ない目にあった。自転車マナーが悪いと思った。(女性 30代)
- ・交通渋滞を何とかしてほしい。(男性 70歳以上)
- ・一般道は整備されているが、それでも渋滞が多い。(男性 30代)
- ・車の渋滞が多い。名古屋高速が複雑だった。(男性 40代)
- ・駐車場にトイレがない。駐車場がバラバラで不便。(男性 70歳以上)
- ・駐車場が少ない、高い、入れにくい。車の運転がしにくい。工事が多い。(女性 50代)
- ・駐車場探しが大変。駐車料金が高い。(男性 70歳以上)
- ・道路工事箇所が多く、車で走行しづらい。(男性 30代)
- ・名古屋高速が高い。駐車場が高い。(男性 60代)
- ・名古屋市内の道路は突然一通とかがあって運転しにくい。それ以外は満足。(女性 30代)
- ・観光案内の看板が少なくて不便。道路の白線が消えすぎ、路上駐車が多い。交差点での路上駐車は迷惑。(女性 30代)
- ・環状線の走行に慣れずに怖かった。インターの入口で合流等についてのわかりやすい地図をもらえると良かった。(女性 40代)
- ・自動車中心で形成されて来た街なのに、駐車違反をきびしくしすぎる。(男性 60代)
- ・道路でタクシーがひろえない。信号待ちが長い。(女性 60代)

【案内、表示】

- ・名古屋駅から名古屋城までの道のりが分かりにくい。(女性 10代)
- ・あまり使ったことがなかったので、名古屋駅の地下が分かりにくかった。綺麗に掃除してあった。(女性 10代)
- ・駅の案内板がわかりにくい。(女性 40代)

- ・ 駅からノリタケの案内表示がわかりにくい。(女性 60代)
- ・ 道路案内がわかりづらい。(男性 30代)
- ・ 人が暖かい。名駅がわかりにくい。観光案内所がわかりにくい。(男性 20代)
- ・ 地下鉄等の表示をわかりやすくしてほしい。(男性 30代)
- ・ 名古屋駅構内がわかりにくい。(女性 50代)
- ・ 駐車場やお店の場所がわかりづらい。HPや現地にわかりやすい表示をつけてほしい。モバイルツールなどを用いるなど、やり方はいくらでもあると思う。そうすれば、もっと魅力ある街になると思う。(男性 40代)
- ・ 地下につながる標識がわかりづらい。自動車で来ると、駐車場の位置があらかじめわかるとありがたい。平和でいい町。東京より明るいと思う。(女性 40代)
- ・ 駅の出口、駅前がわかりづらく不便。もう少しわかりやすくしてほしい。(男性 30代)
- ・ 観光案内所をもっと設置してほしい。(男性 20代)
- ・ 道案内の看板をもっとあると良い。(女性 30代)
- ・ 綺麗になった。外国人用の案内板少ないので、増やした方が良い。(男性 60代)
- ・ メーグル乗車時に観光施設の案内がない。名古屋駅内の案内人の場所・知識のなさが残念。(女性 60代)
- ・ 名古屋駅前をもっと観光しやすいように整備した方がよい。(男性 40代)
- ・ 東京と比べ、明るいし人も親切。道の案内板が少なく不便だった。名古屋駅構内がわかりにくい。新幹線改札口あたりに駅全体がわかるものがあると良いと思う。(女性 60代)
- ・ リニア館へ行くのに標識が少ない。全体的に観光スポットになる物の標識が少ない。市バスに乗ってから、ドニチエコキップを知ったので、バス停にも案内を入れるべき。(女性 30代)

【宣伝、告知】

- ・ 名古屋のPRをもっとした方がよい。(男性 20代)
- ・ 観光PRが少ない。観光施設への交通手段がわかりづらい。(女性 50代)
- ・ 名古屋グルメのPRを全国にしてほしい。(男性 40代)
- ・ 名古屋のイメージは特徴のない町の印象が強く、町のプロモーションがうまくない。食のイメージはあるが、歴史があるのに活かされてない。徳川幕府に関するアピールを全国的にアイデア商品を使って実施するとか。頑張してほしい町です。(男性 40代)
- ・ 地下鉄の乗換に手間取った。道路の広さに驚いた。名古屋めし満喫できた。古い街並、寺町等あったら、宣伝してほしい。(女性 50代)
- ・ 街並みが美しい。以前観光で来たとき、歴史的施設がよく分らなかった。ボランティアなどの説明者が欲しい。(女性 60代)

【観光資源】

- ・ 名古屋城内に休憩場(カフェ等)がもう少しあるといい。(女性 30代)
- ・ 名古屋城付近の美化を徹底してほしい。その上で時代村のような施設を作してほしい。名古屋めしを全国へ広げてもらいたい。(男性 20代)
- ・ 名古屋は大都市。名古屋城周辺に路駐が多かった。(女性 30代)
- ・ 水族館の入場料が高すぎる。(女性 60代)
- ・ 水族館の水槽が見にくい。イスを置くなどして皆が見れるようにしてほしい。(女性 60代)
- ・ 水族館の閉館が早すぎる。(男性 40代)
- ・ 科学館が混んでいて入れなかったの、なんとかしてほしい。(女性 40代)

- ・ 観光地から観光地まで、地下鉄やバスで割りに簡単に行けるところは魅力ですが、去年から出た「武将都市」というフレーズに当てはめるには少しポイントが弱く、市内で武将隊と絡めた施設やイベントがもう少しあると良いと思います。(女性 20代)
- ・ 東京より電車の本数が多くて便利、分かりやすい。観光地が離れすぎていて、1日に回れる施設が少なくなってしまう。(女性 20代)
- ・ 駅から歩いて行ける観光名所があるといいです。(女性 20代)
- ・ レジャー施設が少ない。(女性 20代)
- ・ おかげ横丁を早く造ってほしい。徳川美術館のアクセス(駐車場等)をよくしてほしい。(男性 50代)
- ・ 産業の観光施設を増やしてほしい。(女性 40代)
- ・ これが名古屋だという観光スポットがほしい。名古屋のここに行ったら元気がもらえる場所がほしい。(男性 30代)
- ・ 武将隊の方々のライブをもっとやってほしい。(男性 70歳以上)
- ・ リニモ方面に遊び場をたくさん作ってほしい。あおなみ線の料金が高い。(女性 30代)
- ・ 海外からの観光客にも楽しめる施設を作ってほしい。(男性 60代)
- ・ 観光施設の料金を多くの方が利用しやすく、安くするべき。(女性 20代)
- ・ 水族館は好きだが、港周辺の施設、ショッピング、食事など見所があると良い。(女性 20代)
- ・ 子供が遊べる場所を充実してほしい。(男性 30代)
- ・ 名古屋駅周辺のホテルの競争がほとんどない。宿泊費もこの値段を出せば、東京、大阪なら相当ランクが上のホテルに泊まれるので、お得感がない。駅近辺にもっと高級ホテルがあれば活気づくと思う。県外からのお客様をどこに連れて行けば喜んでもらえるのかわからず困る。名古屋にも目玉施設がほしい。交通の便のよいところに観光の目玉をと切に願う。(女性 30代)
- ・ 温泉付のホテルが市内にあれば良いと思う。食事は満足。(女性 40代)
- ・ グルメは豊富だが、観光の目玉は少ない。(女性 20代)
- ・ 名古屋は観光よりビジネスというイメージが強い。おもてなし武将隊、名古屋めしもいい観光資源だと思うが、もっと魅力的な観光スポットがあると良いと思う。(男性 20代)
- ・ 東京から来た友人に名古屋は観るところがないと言われる。大須をもっと観光地化してほしい。(男性 30代)
- ・ 遠方から来ているので、ウィメンズマラソンの参加者に市内の格安チケットやお土産の割引等のサービスがあるとうれしい。(女性 50代)

【まちづくり、町並み】

- ・ 階段が多い。バリアフリーにしてほしい。(女性 50代)
- ・ 大須に子連れで行くと、お弁当を食べる場所やトイレに困ります。(女性 30代)
- ・ 市役所付近をもっときれいにしてほしい。(男性 60代)
- ・ 車の量が多い。神社の周りにビルが多く、落ち着かない。(男性 60代)
- ・ 遊ぶ施設が少ない。地下は発達しているが、地上が寂しい。名鉄、地下鉄料金が高い。公共交通機関は便利。(男性 20代)
- ・ 特徴がなく、日本中どこにでもある街並みが巨大化しただけのように感じられる。城で持つ言葉があるのだから、どこからでも城を意識できる街づくりをしてはどうでしょう。(男性 30代)
- ・ もっと路上禁煙地域を増やしてほしい。名古屋市科学館のプラネタリウムの整理券を増やしてほしい。(女性 20代)
- ・ 住所番地表示が明らかでない。駅内通路が無駄に広くて、有効活用されていない。バリアフリー視点が欠けている。(女性 50代)

- ・ 駅西地区の格安ホテルは大変嬉しいが、治安に問題がある。客引きは大阪では禁止されているが名古屋は放置されているのに驚き。(男性 40代)
- ・ 外国人の呼び込みが多く、不安を感じる。名鉄名古屋駅は何度利用しても行き先、方面がややこしく、旅行者には難しい。(男性 30代)
- ・ 繁華街の呼び込みの規制をしてほしい。(男性 30代)

【店舗、商店】

- ・ 買い物する時に店員に言葉が通じないので、外国人の店員を雇ってほしい。(男性 50代)
- ・ 街がきれい。店が閉まるのが早い。(男性 50代)
- ・ ショッピング施設が早く閉まりすぎ(地下街)。(男性 30代)
- ・ 名古屋駅周辺のお店の閉店時間が早かった。(男性 60代)

【人、マナー】

- ・ 煙草のポイ捨て、タクシーのマナー違反が多い。(男性 20代)
- ・ 子供連れで荷物が重い状況でホテルまでの地理がわからずタクシーを利用したら、近すぎると態度が悪かった。観光やホテルは満足したのに残念。(女性 30代)
- ・ 首都圏に比べ、タクシーのマナーが良くない。交差点で客を降ろしているのをたくさん見た。路上駐車も多く、左側車線は使えなかった。(男性 40代)
- ・ 道路にゴミが多い(吸い殻)。(女性 50代)
- ・ タバコのポイ捨てが気になりました。(男性 20代)
- ・ 新しい建物が多い。人ごみを歩く人に規則性がなく、歩きにくい。(女性 30代)
- ・ 歩道が広く歩きやすい。名古屋駅構内を自転車が走っていたが危険を感じる。(男性 60代)

【その他】

- ・ 自転車のレンタルがもっと簡単に出来ると良い。(女性 30代)
- ・ 公共のトイレをきれいにしてほしい。(男性 10代)
- ・ トイレのトイレットペーパーが無い所があつてちょっと不便でした。後は結構素敵な街でした。(女性 20代)
- ・ ゴミ箱が少ない。(女性 30代)
- ・ 名古屋城の周辺の歩道にたくさんゴミが落ちている。ウォーキングコースに推奨していることでもあり、もっと美化に努めるべき。国際観光都市名古屋というにはちょっと悲しい。(男性 40代)
- ・ 公共施設の月曜休みはやめてほしい。(女性 40代)
- ・ 無料でひと休みする場所が少ないと思う。(女性 60代)
- ・ 食事の味が濃い。きしめんが不味かった。(女性 60代)
- ・ 公共交通…地下鉄にエスカレーターがほとんどない。案内も少ない。バスの乗り場がわかりにくい。名古屋城…おもしろかった。復元待ってます。市役所駅から城までの案内が少なくわかりにくい。美観…タバコの規制良い。食事…名古屋名物が基本的に高く手を出しにくい。(女性 20代)
- ・ あまり良いところがない。(男性 40代)

調査場所:

お楽しみどころ恐れ入りますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

問1 どこからお越しになりましたか(出発地はどちらですか)。1つに○印をつけてください。

- | | | | | | | | |
|---|-------|---|----------------|---|-----|---|-----|
| 1 | 名古屋市内 | 2 | 名古屋を除く愛知県 | 3 | 岐阜県 | 4 | 三重県 |
| 5 | 静岡県 | 6 | その他の都道府県(具体的に) | | | | |

問2 今回、名古屋を訪れた(今回の名古屋への旅行)主な目的は何ですか。1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------------|----|------------------------------|
| 1 | 観光施設の見学 | 2 | ショッピング(非日常の買物、ウインドショッピングを含む) |
| 3 | 観劇・コンサート | 4 | イベント(参加・鑑賞) |
| 5 | 飲食 | 6 | その他の娯楽行為(具体的に) |
| 7 | 商用・公用 | 8 | 帰省・冠婚葬祭 |
| 9 | 大会・学会・国際会議への出席・参加 | 10 | その他(具体的に) |

問3 問2で「1」から「6」を選んだ方にお伺いします。観光・娯楽の目的地として、名古屋を選んだきっかけは何ですか。該当するものすべてに○印をつけてください。

- | | | | |
|---|----------------|---|--------------------|
| 1 | 雑誌・新聞をみて | 2 | 旅行代理店の紹介や店頭チラシをみて |
| 3 | テレビやラジオ番組の情報から | 4 | インターネットホームページの情報から |
| 5 | 友人・知人に薦められたから | 6 | 前に来たことがあり良かったから |
| 7 | 駅や電車内のポスター・広告 | 8 | 特になし |
| 9 | その他() | | |

問4 今回の訪問(今日のお出かけ)で、訪れたところ、またはこれから訪れる施設に○印をつけてください。

- | | | | |
|----|------------|----|-----------------------|
| 1 | 名古屋城 | 2 | 産業技術記念館(トヨタテクノミュージアム) |
| 3 | ノリタケの森 | 4 | 徳川美術館 |
| 5 | 徳川園 | 6 | 熱田神宮 |
| 7 | 白鳥庭園 | 8 | 東山動植物園 |
| 9 | 東山スカイタワー | 10 | テレビ塔 |
| 11 | 名古屋美術館 | 12 | 愛知県美術館 |
| 13 | 名古屋ボストン美術館 | 14 | 名古屋科学館 |
| 15 | でんきの科学館 | 16 | 名古屋博物館 |
| 17 | ランの館 | 18 | 名古屋水族館 |
| 19 | 名古屋港 | 20 | シートレインランド |
| 21 | 有松・鳴海絞会館 | 22 | ミッドランドスクエアなどの高層建築物 |
| 23 | リニア・鉄道館 | 24 | その他() |

問5 今回の名古屋訪問(名古屋への旅行)はパッケージ旅行ですか。どちらかに○印をつけてください。

- | | | | |
|---|---------|---|-------------|
| 1 | パッケージ旅行 | 2 | パッケージ旅行ではない |
|---|---------|---|-------------|

問6 今回の名古屋訪問(今回の名古屋への旅行)における1人あたりのご予算をお教えください。

①1人あたりのご旅行の予算(パッケージ旅行の方はパッケージ料金を含みます)。1つに○印をつけてください。

- | | | | | | |
|---|------------------|---|-----------------|---|------------------|
| 1 | 5,000円未満 | 2 | 5,000~10,000円未満 | 3 | 10,000~30,000円未満 |
| 4 | 30,000~50,000円未満 | 5 | 50,000円以上 | | |

②現金、カードの使用を含めて、名古屋市内で使うお金(パッケージ旅行の方はパッケージ料金を除きます。)は、1人あたりいくらほどになりますか

およそ()円くらい

③市内での交通費(都市高速道路通行料や駐車場代金を含みます)。1つに○印をつけてください。

- | | | | | | |
|---|----------------|---|----------|---|----------------|
| 1 | 交通費はかからない | 2 | 1,000円未満 | 3 | 1,000~3,000円未満 |
| 4 | 3,000~5,000円未満 | 5 | 5,000円以上 | 6 | パック旅行のため不明 |

④市内でのおみやげ代、1つに○印をつけてください。

- | | | | | | |
|---|-----------------|---|-----------|---|----------------|
| 1 | 購入予定なし | 2 | 2,000円未満 | 3 | 2,000~5,000円未満 |
| 4 | 5,000~10,000円未満 | 5 | 10,000円以上 | | |

⑤市内での食事代(パッケージ旅行の方はパッケージ料金に含まれていない食事代の合計額)。1つに○印をつけてください。

- | | | | |
|---|-------------------|---|-----------------|
| 1 | お弁当持参で飲み物類を購入する程度 | 2 | 2,000円未満 |
| 3 | 2,000~5,000円未満 | 4 | 5,000~10,000円未満 |
| 5 | 10,000~30,000円未満 | 6 | 30,000円以上 |

⑥市内での宿泊代(市内の宿泊施設に宿泊される方は1泊の概ねの平均額)。1つに○印をつけてください。

- | | | | | | |
|---|-------------------------|---|-----------------|---|------------------|
| 1 | 5,000円未満 | 2 | 5,000~15,000円未満 | 3 | 15,000~30,000円未満 |
| 4 | 30,000円以上 | 5 | パック旅行のため不明 | | |
| 6 | 友人、知人の家に宿泊するので、費用はかからない | 7 | 名古屋市内には宿泊しない | | |

問7 今回の訪問(旅行)での、名古屋の印象・旅行の満足度についてお伺いします。該当するもの1つに○印をつけてください。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|------|---|----|---|------|---|----|
| 1 | 大変満足 | 2 | ほぼ満足 | 3 | 普通 | 4 | やや不満 | 5 | 不満 |
|---|------|---|------|---|----|---|------|---|----|

裏面にも質問が続きます。

問8から問13については、名古屋市外からお越しの方のみお答えください。

問8 名古屋市内に訪れたのは、今回で何回目ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 はじめて 2 2回目 3 3回目 4 4～9回目 5 10回目以上

問9 今回の訪問（旅行）において、名古屋までの主な交通手段に○印をつけてください。

- 1 JR 2 名鉄電車 3 近鉄電車 4 自家用車
5 航空機 6 路線バス 7 観光バス 8 その他（ ）

問10 今回の訪問（旅行）で、訪れる予定、もしくは既に訪れたところ（地域）すべてに○印をつけてください。

- 1 名古屋市内のみ 2 長久手・刈谷・トヨタ方面 3 明治村・犬山方面
4 瀬戸・小原方面 5 知多・常滑・セト/ア方面 6 豊田・岡崎・足助方面
7 蒲郡・西浦・三谷方面 8 豊川・鳳来寺方面 9 豊橋・伊良湖方面
10 岐阜・関ヶ原方面 11 多治見・恵那・中津川方面 12 下呂・高山方面
13 長島温泉・湯の山・鈴鹿方面 14 伊勢・志摩方面
15 その他（ ）

問11 今回の訪問（旅行）での、名古屋の観光資源についてお伺いします。① 今回の訪問で満足されたもの、② 不満を感じたもの、③ 次回訪れてみたいものをそれぞれ教えてください。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 歴史的な施設（名古屋城、徳川美術館、熱田神宮等）
2 産業観光・ものづくりの施設（産業記念館・ノリタケの森等） 3 レジャー施設（動植物園・水族館等）
4 都心部でのショッピングや街歩き（名古屋駅、栄、大須） 5 グルメ・なごやめし
6 お祭り・イベント 7 コンサートや観劇などの鑑賞
8 スポーツ観戦（野球・サッカー等） 9 その他（具体的に ）

① 今回の訪問で、満足されたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

② 今回の訪問で、不満を感じたものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

③ 次回訪れてみたいものはなんですか。該当する番号すべてに○印をつけてください。

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9（具体的に ） 10 特になし

問12 今回の訪問（旅行）は何日間の予定ですか。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 日帰り 2 2日間 3 3日間 4 4日間 5 5日以上

問13 問12で回答が2日間以上のご旅行の方の方に伺います。

名古屋市内に宿泊される日数（予定も含む）をお教えてください。該当するもの1つに○印をつけてください。

- 1 1泊 2 2泊 3 3泊 4 4泊以上

5 名古屋市内には宿泊しない

あなたご自身（回答者）についてご質問します。

問14 あなたの性別・年齢をお教えてください。（○は一つずつ）

①性別

- 1 男
2 女

②年齢

- 1 10～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳
4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～69歳
7 70歳以上

問15 本日の名古屋訪問（名古屋への旅行）で同行されている方をお教えてください。（○は一つだけ）

- 1 ひとり（同行者なし） 2 友人・知人
3 幼児や小学生連れの家族 4 夫婦
5 家族（「3」「4」以外） 6 団体旅行
7 修学旅行 8 その他（ ）

【自由意見】 名古屋のまちの印象をお聞かせください。

町並み、にぎわい、公共交通の利便性、道路や施設の案内表示、街の美観や治安、観光施設、名古屋グルメなど、何でも結構です。

質問は以上で終了です。お忙しいところ、調査に協力いただき、誠にありがとうございました。この調査結果は、統計的に処理し、有用な資料として活用させていただきます。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（宿泊施設）[対象年次：平成23年度]

○貴施設の名称、所在地、電話番号について変更などあるかご確認ください。また、差し支えなければ、この調査票の記入者の氏名等をご記入ください。

貴施設の名称	
貴施設所在地	〒 名古屋市
電話番号	
ご記入者	(ご所属) (ご氏名)

問1 貴施設のタイプについて、次のいずれか1つに○印をお付けください。

1 ホテル	2 旅館	3 簡易宿所	4 下宿
-------	------	--------	------

問2 貴施設の平成24年3月末時点の室数および収容可能人数をご確認ください。変更などがあれば、修正をお願いします。

和室数	和室収容人数	洋室		合計	
		室数	収容人数	室数	収容人数
室	人	室	人	室	人

問3 貴施設の平成23年4月から平成24年3月までの宿泊客数(月別・合計)をご記入ください。
※月別で把握できない場合や正確な記録がない場合でも、ご記入頂ける範囲でご回答ください。

	23年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
23年11月 12月 24年1月 2月 3月 合計							
①実人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人
②延人数	人	人	人	人	人	人	人
うち外国人	人	人	人	人	人	人	人

注：連泊客の数え方

- ①実人数は、連泊客が2泊以上宿泊しても「1人」と数えてください。
- ②延人数は、連泊客が同一の方であれば1泊で「1人」、2泊で「2人」と数えてください。

問4 貴施設では、外国からの宿泊客が、年間での国(地域)から何人ありますか。なお、宿泊客数は実人数でご記入下さい。(概数でも結構です)

国名	宿泊客数	国名	宿泊客数	国名	宿泊客数
中国	人	インドネシア	人		人
香港	人	ベトナム	人		人
台湾	人	英国	人		人
韓国	人	ドイツ	人		人
米国	人	フランス	人		人
タイ	人	オーストラリア	人		人
シンガポール	人	カナダ	人		人

問5 貴施設では、これまでに修学旅行団体(小・中・高校など)を受入れたことがありますか。また今後受入れることはできますか。次のいずれか1つに○印をお付けください。

- 平成23年度、受入れた。
- 平成23年度受入れなかったが、これまでに受入れたことはある。
- 実績はないが受入れ可能。
- 受入れられない。

問6 問5で「1 平成23年度、受入れた。」と回答した施設にお聞きします。貴施設が平成23年4月1日から平成24年3月末までに受入れた修学旅行団体の所在地(都道府県名)、学校数、宿泊客数を下記の例にしたがってご記入ください。

〈例〉「京都府の小学校が2校で400人、中学校が1校100人」の場合

都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
京都府	2校 400人	1校 100人	校 人	校 人
都道府県名	小学校	中学校	高等学校	その他
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人
	校 人	校 人	校 人	校 人

問7 問5で「1」以外を回答した施設にお聞きします。貴施設が平成23年度に修学旅行団体を受入れなかった理由についてご記入ください。

[]

ご多忙中、ご協力いただきましてありがとうございますとございました。

名古屋の観光に関する全国インターネット調査

■調査項目

番号	条件	内容	区分
Q1	必須回答	過去5年以内(愛知万博後)に名古屋に何回訪れたことがありますか。	SA
1		1回	
2		2回	
3		3～5回	
4		6～10回	
5		11回以上	
6		訪れていない	
Q2	必須回答	名古屋に訪れる場合の主な交通手段をお選びください。名古屋に訪れたことがない方も、名古屋に訪れることを想定してお答えください。	MA
1		新幹線	
2		鉄道(新幹線以外)	
3		航空機	
4		長距離バス	
5		観光バス	
6		自家用車	
7		フェリー	
8		その他	FA付
Q3	必須回答: Q1 = 1～5	名古屋を訪れた目的は何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設の見学	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング	
6		仕事	
7		友人・親戚への訪問	
8		その他	FA付
Q4	必須回答: Q3 = 1～5	観光、娯楽、ショッピングが目的で訪れた直近の名古屋訪問についてQ4～Q8をお答えします。その訪問(旅行)は合計何泊でしたか。	SA
1		日帰り	
2		1泊	
3		2泊	
4		3泊	
5		4泊以上	
Q5	必須回答: Q4 = 2～5	その名古屋訪問(旅行)では、うち名古屋市内に何泊しましたか。	SA
1		1泊	
2		2泊	
3		3泊	
4		4泊以上	
5		名古屋市内には宿泊しない	
Q6	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)で同行された方を教えてください。	SA
1		ひとり(同行者なし)	
2		友人・知人	
3		幼児や小学生連れの家族	
4		未婚のみ	
5		家族(13・14以外)	
6		団体旅行	
7		修学旅行	
8		その他	FA付

Q7	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)であわせて名古屋以外に訪問したところ(地域)はどこですか。	MA
1		名古屋市内のみ	
2		明治村・犬山方面	
3		瀬戸・小原方面	
4		長久手・愛・地球博記念公園(モリコロパーク)方面	
5		知多・常滑・セントレア方面	
6		豊田・岡崎・足助方面	
7		蒲郡・西浦・三谷方面	
8		豊川・鳳来寺方面	
9		豊橋・伊良湖方面	
10		岐阜・関ヶ原方面	
11		多治見・恵那・中津川方面	
12		下呂・高山方面	
13		長島温泉・湯の山・鈴鹿方面	
14		伊勢・志摩方面	FA付
15		その他	MA
Q8	必須回答: Q3 = 1～5	その名古屋訪問(旅行)のきっかけは何ですか。	MA
1		以前から訪れたいと思っていたから	
2		知人に薦められたから・知人に案内されたから	
3		ガイドブックやパンフレットを見て	
4		テレビ番組等を見て	
5		ホームページを見て	
6		団体の訪問コースに組み込まれていたから	
7		興味のある催事が開催されていたから	
8		その他	FA付
Q9	必須回答: Q3 = 6	仕事が目的で訪れた直近の名古屋訪問についてお聞きします。その訪問(旅行)のとき、あわせて訪問した場所又は経験したものは何ですか。	MA
1		名古屋城、徳川美術館、名古屋港水族館など観光施設	
2		観劇・コンサート	
3		スポーツ観戦(野球、サッカー、相撲等)	
4		まつり・イベント	
5		ショッピング(駅でのおみやげ品の購入は除く。)	
6		その他	FA付
7		訪問した場所又は経験したものはない	
Q10	必須回答	名古屋には、以下に示すような観光資源があります。この中で、知っているものをお答えください。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		リニア・鉄道館、産業技術記念館、リタケの森など	
4		科学館(プラネタリウムなど)、美術館、博物館など	
5		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
6		東山動物園	
7		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
8		大須(大須鞆首・大須商店街)	
9		文化のみち(二葉館など)	
10		有松(街並み、有松・鳴海軟金館など)	
11		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きめん、みそかつ、手羽先など)	
12		祭り(名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど)	
13		その他	FA付
14		知っているものはない	

Q11	必須回答: Q1 = 1~5	名古屋の観光資源の中で、過去5年以内二訪問した場所又は経験したものをお答えください。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		リニア・鉄道館、産業技術記念館、リタケの森など	
4		産業観光ツアー(工場見学、夜景観光クルーズなど)	
5		科学館(プラネタリウムなど)、美術館、博物館など	
6		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
7		東山動植物園	
8		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
9		大須(大須観音・大須商店街)	
10		文化のみち(二葉館など)	
11		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
12		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
13		祭り(名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど)	
14		その他	FA付
15		訪問した場所又は経験したものは無い	
Q12	必須回答: Q1 = 1~5	名古屋を訪れた感想(良かった点、悪かった点など)について自由に記入してください。	FA
Q13	必須回答: Q1 = 1~5	名古屋に訪れた時に、どのように感じましたか。あてはまるものをお選びください。	SAマトリクス
Q13M001		観光施設等	
Q13M002		係員、店員の親切さ、親しみやすさ	
Q13M003		市民の親切さ、親しみやすさ	
Q13M004		おみやげ品	
Q13M005		なごやめしなどの食事	
Q13M006		案内表示等のわかりやすさ	
Q13M007		総合的な魅力	
1		満足	
2		やや満足	
3		どちらともいえない	
4		やや不満	
5		不満	
6		体験していない/分からない	
Q14	必須回答	今後、名古屋を訪れたいと思いますか。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
4		その他	FA付
Q15	必須回答: Q14 = 1,2	名古屋の観光資源の中で、今後、訪問してみたい場所又は経験してみたものは何ですか。	MA
1		名古屋ゆかりの武将や尾張徳川家の史跡や遺産(名古屋城、徳川園、徳川美術館など)	
2		熱田神宮	
3		リニア・鉄道館、産業技術記念館、リタケの森など	
4		産業観光ツアー(工場見学、夜景観光クルーズなど)	
5		科学館(プラネタリウムなど)、美術館、博物館など	
6		名古屋港(名古屋港水族館、シートレインランド、ポートビルなど)	
7		東山動植物園	
8		栄(名古屋テレビ塔、久屋大通公園、オアシス21など)	
9		大須(大須観音・大須商店街)	
10		文化のみち(二葉館など)	
11		有松(街並み、有松・鳴海絞会館など)	
12		なごやめし(味噌煮込み、ひつまぶし、きしめん、みそかつ、手羽先など)	
13		祭り(名古屋まつり、につぼんど真ん中祭りなど)	
14		その他	FA付

Q16	必須回答: Q14 = 3	名古屋を訪れたいと思わない理由は何ですか。主なものを3つまで選んでください。	3A
1		テーマパークやレジャー施設など魅力的な観光施設がない	
2		魅力的な歴史的資産がない	
3		楽しそうなおイベントがない	
4		おいしいような食べ物が無い	
5		魅力的な買い物スポットがない	
6		お店の閉店時間が早く、ゆっくりと楽しめない	
7		泊まりたい宿泊施設がない	
8		名古屋のことをよく知らない	
9		名古屋が嫌いなど良くないイメージがある	
10		その他	FA付
Q17	必須回答	名古屋の観光地としての魅力を感じますか。また、魅力を感じない場合、その理由は何だと思いますか。あてはまるものを3つまでお選びください。	3A
1		観光都市としての魅力はある	
2		他の観光都市と比べて観光イメージが希薄であること	
3		名古屋の魅力が全国的に十分知られていないこと	
4		名古屋の観光力が市民に十分知られていないこと	
5		魅力ある観光施設が少ないこと	
6		魅力あるイベントが少ないこと	
7		魅力あるおみやげ品が少ないこと	
8		交通アクセスが良くないこと	
9		夜に楽しめる場所が少ないこと(観光施設の閉館時間が早いことなど)	
10		観光客と接する事業者などの観光に対する意識が低いこと	
11		まちがきれいではないこと	
12		まさに緑が少ないこと	
13		その他	FA付
Q18	必須回答	名古屋ゆかりの武将(にちなんで、平成21年11月に結成された「名古屋おもてなし武将隊」をご存知ですか？	SA
1		どのようなものか知っている	
2		名前は聞いたことがある	
3		知らない	
Q19	必須回答: Q18 = 1,2	「名古屋おもてなし武将隊」を知ったきっかけは何ですか？	MA
1		テレビ	
2		新聞	
3		雑誌	
4		ラジオ	
5		インターネット	
6		電車の中の広告	
7		チラシ・ポスター類	
8		イベント	
9		名古屋城に来て	
10		家族・友人から聞いた	
11		その他	FA付

Q20	必須回答	「名古屋おもてなし武将隊」は、名古屋城で観光客をお迎えし、おもてなしや酒武(パフォーマンズ)を行っています。「名古屋おもてなし武将隊」を見に名古屋へ行きたいと思いませんか?あてはまるものをお選びください。	SA
1		見に行きたい	
2		機会があれば見に行きたい	
3		見に行きたいとは思わない	
Q21	必須回答	名古屋市では、平成19年7月から、主要観光施設等を周遊する金色の観光ルート「バス・ターゲル」を運行しています。このバスをご存知でしたか。また利用したいと思いませんか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		利用したことがある	
2		知っていて、利用したい	
3		知らなかったが、利用したい	
4		知ってはいしたが、利用したいとは思わない	
5		知らなかったし、利用したいとは思わない	
Q22	必須回答	かつて名古屋城には「本丸御殿」がありました。本丸御殿は、日本建築史・絵画史・工芸史上、近世城郭御殿の最高傑作でしたが、惜しくも焼失しました。名古屋は、「ものづくりの技、文化、自然の大切さ」を後世に伝える象徴として、名古屋城「本丸御殿」の復元を進めており、現在は工事見学コーナーを設けるなど公開しています。この取組みについてご存知でしたか。	SA
1		復元を進めていることも、工事見学コーナーがあることも知っている(見学した)	
2		復元を進めていることは知っていたが、工事見学コーナーがあることは知らなかった	
3		復元を進めていることを知らなかった	
Q23	必須回答	名古屋城「本丸御殿」が復元されれば訪れたいと思いませんか。あてはまるものをお選びください。	SA
1		是非訪れたい	
2		機会があれば訪れたい	
3		訪れたいとは思わない	
Q24	必須回答	「名古屋」のイメージを一言でお願いします。	FA
Q25	必須回答	名古屋の観光に対するご意見、ご感想や、名古屋を訪れたいくなるような魅力のある都市となるため、今後取り組んだりしたいと思うことがありましたらご自由にお書きください。	FA
F1	必須回答	あなたの性別をお答えください。	SA
1		男性	
2		女性	
F2	必須回答	あなたの年齢をお答えください。	SA
1		20歳未満	
2		20歳代	
3		30歳代	
4		40歳代	
5		50歳代	
6		60歳代	
7		70歳以上	

F3	必須回答	お住まいの地域(都道府県)をお答えください。	SA
1		北海道	
2		青森県	
3		岩手県	
4		宮城県	
5		秋田県	
6		山形県	
7		福島県	
8		茨城県	
9		栃木県	
10		群馬県	
11		埼玉県	
12		千葉県	
13		東京都	
14		神奈川県	
15		山梨県	
16		長野県	
17		新潟県	
18		富山県	
19		石川県	
20		福井県	
21		岐阜県	
22		静岡県	
23		愛知県	
24		三重県	
25		滋賀県	
26		京都府	
27		大阪府	
28		兵庫県	
29		奈良県	
30		和歌山県	
31		鳥取県	
32		島根県	
33		岡山県	
34		広島県	
35		山口県	
36		徳島県	
37		香川県	
38		愛媛県	
39		高知県	
40		福岡県	
41		佐賀県	
42		長崎県	
43		熊本県	
44		大分県	
45		宮崎県	
46		鹿児島県	
47		沖縄県	
F4	必須回答	お住まいの、市区町村をお答えください。	FA

※調査票の条件欄について
「Q1=1」は、「Q1で選択肢「1」を選択している人が対象」を意味します。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査
(平成23年度)

平成24年10月発行

発行 名古屋市市民経済局
業務委託先 株式会社 綜研名古屋